



**第2期
三豊市
スポーツ推進計画
(令和7年度▶▶令和11年度)**

**令和7年3月
三豊市教育委員会**

目 次

1	計画の基本的な考え方	1
(1)	計画策定の趣旨	1
(2)	計画の位置づけ	1
(3)	計画期間	2
(4)	本計画におけるスポーツの定義	2
(5)	前回計画期間の取組とアンケート調査結果から見た今後の課題	3
	【基本方針1】各世代でのスポーツの推進	3
	【基本方針2】スポーツを通じた交流の促進と地域活性化	5
	【基本方針3】スポーツ推進体制の充実	7
2	計画の基本方針と目標	9
(1)	各世代でのスポーツの推進	9
(2)	スポーツを通じた交流の促進と地域活性化	9
(3)	スポーツ推進体制の充実	9
3	第2期三豊市スポーツ推進計画の体系	10
	主要施策の展開	11
	【基本方針1】各世代でのスポーツの推進	11
(1)	学校体育の充実	11
(2)	社会体育の充実	11
(3)	市民スポーツの推進	12
(4)	高齢者スポーツの推進	12
(5)	障がい者スポーツの推進	13
(6)	ニュースポーツ等の推進	13
	【基本方針2】スポーツを通じた交流の促進と地域活性化	14
(1)	スポーツ人口の拡大	14
(2)	スポーツイベントの充実に向けた支援	14
(3)	トップアスリートの育成体制の整備	15
(4)	スポーツ情報の充実	15
(5)	地域密着型トップスポーツチームを活用した地域活性化	16
(6)	地域資源を生かしたスポーツツーリズムの促進	16

【基本方針3】スポーツ推進体制の充実	17
（1） スポーツ団体への支援.....	17
（2） 激励会・表彰制度等の充実.....	17
（3） スポーツ指導者の育成・確保.....	17
（4） スポーツ施設の計画的な維持管理と利用促進	18
（5） 学校施設開放の推進	18
（6） スポーツ施設の再配置（統廃合）	19
4 計画の進行管理	20
5 スポーツに関するアンケート調査結果.....	21
6 参考資料	92
【三豊市スポーツ施設一覧】	92
【三豊市スポーツ推進条例】	94
【三豊市スポーツ推進審議会条例】	97
【三豊市スポーツ推進審議会委員名簿】	99
【第2期三豊市スポーツ推進計画の策定経過】	100

1 計画の基本的な考え方

(1) 計画策定の趣旨

平成23年8月、国はスポーツ立国の実現を目指し、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）を施行し、平成27年10月には、スポーツに関する施策を総合的に推進するため、スポーツ庁が設置されました。

その後、令和4年3月には、スポーツ基本法の理念の実現に向け、国、地方公共団体、スポーツ団体等が一体となって施策を推進していくため、「第3期スポーツ基本計画」が策定されました。この計画では、第2期計画で掲げられた「スポーツで『人生』が変わる!」、「スポーツで『社会』を変える!」、「スポーツで『世界』とつながる!」、「スポーツで『未来』を創る!」という中長期的な基本方針は今後も踏襲するとして、国民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すには、「つくる/はぐくむ」、「あつまり、ともに、つながる」、「誰もがアクセスできる」という3つの新たな視点が必要であるとしています。

こうした動向を踏まえ、本市では令和2年3月に「三豊市スポーツ推進計画」を策定し、三豊市第2次総合計画に掲げる「One MITOYO（ワンみとよ）～心つながる豊かさ実感都市～」の実現、すなわち、様々な立場にある人々が、ともに活動し、つながりを感じながらスポーツを楽しめる社会の実現を目指し、スポーツに関する施策を推進してきました。

この度、推進計画期間が終了することから、取組内容及び課題を整理・検証するとともに、本市の実情に即した見直しを行い、今後のスポーツ施策を総合的かつ計画的に推進するため、新たに令和7年度から令和11年度における「第2期三豊市スポーツ推進計画」を策定するものです。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条第1項及び三豊市スポーツ推進条例第8条の規定に基づく、本市におけるスポーツの推進のための計画であり、本市の最上位計画である三豊市第2次総合計画に掲げる施策（「スポーツの振興」、「スポーツ施設の充実」、「アスリートの育成支援」）を実現するための分野別計画として位置づけるものです。

(3) 計画期間

本計画の計画期間は、令和7年度から令和11年度までの5か年とします。
ただし、計画を推進する過程において、社会情勢・経済状況などの環境の変化等により、適宜、必要な見直しを行います。

(4) スポーツの定義

本計画において、「スポーツ」とは、勝敗や記録を競う運動、いわゆる「競技スポーツ」だけではなく、趣味や健康を目的とする運動、あるいは自然に親しむ野外活動、レクリエーションなどの心身の健康を意識して体を動かす活動と定義しています。

健康のために行う散歩やラジオ体操なども「スポーツ」と捉えます。



(5) 前回計画期間の取組とアンケート調査結果から見た今後の課題

【基本方針1】各世代でのスポーツの推進

主要施策	施策の目的	前回計画期間の取組	アンケート結果				今後の課題
			調査対象	アンケート内容と回答	R1	R6	
学校体育の充実	すべての子どもが運動の楽しさを感じ、自分にあったスポーツを見つけることができ、自発的・自主的にスポーツに取り組むことができる環境づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ選手等による講演や授業の実施 ・中学校部活動の地域移行に向けた取組の開始 	小学生	○中学校進学後の部活動で不安に感じること			
				仲間とうまくやっていけるか	—	45.2%	—
				練習がきつくないか	—	41.0%	—
				指導者がやさしくおしえてくれるか	—	36.9%	—
				○部活動で運動部に入室しているか			
			している	78.5%	73.3%	-5.2pt	
			していない	20.5%	25.8%	5.3pt	
			○希望した種目の部活動に入ることができたか				
			入ることができた	89.3%	93.5%	4.2pt	
			入ることができなかった	7.3%	6.1%	-1.2pt	
中学生	○地域クラブについて望むこと						
	勝ち負けにこだわらず楽しく活動したい	—	40.9%	—			
	学校より専門的な指導を受けたい	—	36.9%	—			
	学校の部活で活動している仲間と活動したい	—	28.1%	—			
	○地域クラブへの移行で不安に感じること						
	他校の生徒と仲良くできるか	—	45.2%	—			
	練習がきつくないか	—	29.8%	—			
活動場所まで通うことができるか	—	29.3%	—				
社会体育の充実	スポーツ少年団や地域密着型トップスポーツチーム等との連携により、子どもたちが仲間とともにスポーツに触れ合う機会を創出する。	<ul style="list-style-type: none"> ・たくまシーマックスや総合体育館における各種教室の実施 ・地域密着型トップスポーツチームの試合での市民無料招待イベントの実施 					
市民スポーツの推進	すべての市民がスポーツ活動に取り組むことができるようスポーツ機会や環境の改善・整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員によるウォーキングイベントの実施 ・市長杯や地区体育祭の開催、スポーツ協会活動への支援 	市民	○三豊市のスポーツイベントに参加したことがあるか			
				ある	33.7%	27.1%	-6.6pt
				ない	62.3%	71.9%	9.6pt
				○どこか実施しているイベントに参加したか			
				三豊市・香川県	36.7%	46.8%	10.1pt
			スポーツ協会	45.1%	39.6%	-5.5pt	
			公民館	23.8%	24.7%	0.9pt	
			○今後、参加してみたいスポーツイベント				
			健康づくりを中心としたもの	47.7%	46.2%	-1.5pt	
			初心者を対象としたもの	23.8%	30.6%	6.8pt	
○運動・スポーツの頻度（週1日以上）	53.5%	41.4%	-12.1pt				
高齢者スポーツの推進	高齢者の健康づくりや生きがいづくり、社会参加のきっかけとなる取組を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室など高齢者向けの教室、講座等の開催 ・市内老人クラブにおける運動会など 	市民（70歳以上）	○スポーツをしている理由			
健康、体力づくり	65.5%	60.2%		-5.3pt			
運動不足の解消	59.5%	42.6%		-16.9pt			
障がい者スポーツの推進	障がいのある人がスポーツをはじめのきっかけづくりや障がいの有無にかかわらずスポーツを楽しむことができるような環境整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回、リハビリテーションセンター主催でイベントを実施し、スポーツ推進委員も支援 ・障がい者スポーツ体験会の実施 	市民	○障がいのある方がスポーツを行う場合に重視すること			
				自分のペースに合わせてできる	—	63.2%	—
				自宅でする	—	21.1%	—
				短い時間でできる	—	18.4%	—
				○障がいのある方がスポーツをしやすい環境づくりのために必要な取組			
				参加できる教室・イベントなどの機会の充実	—	42.1%	—
				周りの参加者・スタッフの知識と理解	—	28.9%	—
				施設のバリアフリー化・アクセスの向上	—	26.3%	—
				○障がいのある方のスポーツをサポートしたいか			
				サポートしてみたいが方法がわからない	27.1%	26.0%	-1.1pt
ボランティアとしてサポートしたい	8.0%	12.3%	4.3pt				
ニュースポーツ等の推進	イベントの開催等により、誰もが簡単にできるレクリエーション的要素のあるニュースポーツの普及を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども広場イベント時にスポーツ推進委員が体験会を実施 					<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ活動団体との連携

【基本方針2】 スポーツを通じた交流の促進と地域活性化

主要施策	施策の目的	前回計画期間の取組	アンケート結果				今後の課題
			調査対象	R1	R6	増減	
スポーツ人口の拡大	スポーツ人口の拡大を図ることで、市民活動の活性化と健やかで活力あるまちづくりを目指す。	・スポーツ協会やスポーツ少年団における初心者向けの教室や体験会の開催	○運動・スポーツの頻度（週1日以上運動する）				・子どものスポーツ人口が減少傾向である。三豊市放課後改革を推進して、子どもたちがやりたいスポーツに取り組みできるように、できるだけ多くの選択肢を提供し、夢や希望に向かってチャレンジできる環境づくりが必要である。
			市民	41.1%	43.8%	2.4pt	
			中学生	79.7%	75.4%	-4.3pt	
			小学生	92.1%	89.2%	-2.9pt	
スポーツイベントの充実に向けた支援	各種団体が主催するスポーツイベントがより充実した内容となるよう支援する。	・スポーツ協会への活動支援 ・三豊市文化・スポーツ振興事業団（R5年2月設立）によるイベント開催	○市のスポーツイベントの参加経験（ある）				・スポーツイベントへの参加者が減少傾向である。 ・健康づくりや気軽に楽しめるスポーツを希望する人が多いなかで、スポーツ推進委員会、スポーツ協会と連携して利用者のニーズに沿ったイベントを開催する必要がある。 ・三豊市文化・スポーツ振興事業団において新たなスポーツイベントを開催する。
			市民	33.7%	27.1%	-6.6pt	
			○参加してみたいスポーツイベント				
			健康づくり	47.6%	46.2%	-1.4pt	
			初心者対象	23.8%	30.6%	6.8pt	
			勝敗を目的とせず	25.0%	23.7%	-1.3pt	
			○してみたい運動・スポーツ				
			1位	ウォーキング	ウォーキング	—	
			2位	ヨガ・ピラティス	筋肉トレーニング	—	
			トップアスリートの育成体制の整備	スポーツに対する興味や関心、未来のトップアスリートを目指すきっかけづくりを目指す。	・地域密着型トップスポーツチームの試合での市民無料招待イベントの実施 ・子どもとプロ選手とのふれあいの機会創出	○地域密着型スポーツチームの試合観戦状況（中学生）	
カマタマーレ讃岐	23.4%	24.1%				0.7pt	
ファイアアローズ	12.5%	11.3%				-1.2pt	
オリーブガイナース	10.7%	10.9%				0.2pt	
スポーツ情報の充実	市ホームページや広報紙等でスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」スポーツの情報を提供し、イベント等の参加者増を目指す。	・宝山湖公園に関することや地域密着型トップスポーツチームの試合等について広報、市HP、市LINEにより随時発信	○不足しているスポーツ関連の情報				・市民が知りたい情報を広報紙、市ホームページ及びLINEなどを活用し、積極的に情報提供する。 ・施設の空き状況・利用状況の情報提供を求める意見が前回と比べて大きく増加している。
			健康・体カづくり	32.2%	33.9%	1.7pt	
			スポーツイベント・大会	23.5%	32.7%	9.2pt	
			施設の利用方法	25.6%	31.5%	5.9pt	
			空き状況・予約状況	16.4%	27.2%	10.8pt	
地域密着型トップスポーツチームを活用した地域活性化	地域のトップスポーツチームを地域ぐるみで盛り上げる機運の醸成を図る。	・カマタマーレ讃岐と地域活性化協定を締結し、練習拠点を誘致した。 ・三豊市又は近隣で開催される試合において三豊市ホームタウンデーというイベントを実施し、市民を一定数無料招待するとともに、三豊市の特産品が当たるガラホン抽選会を実施した。	○地域密着型スポーツチームの試合観戦状況（市民）				・地域密着型トップスポーツチームの試合の観戦状況はまだ低い。所属選手と交流する機会を創出し、地域でチームを応援する機運の醸成を図る。 ・宝山湖公園を練習拠点としているカマタマーレ讃岐と連携して、地域の活性化を目指す。
			カマタマーレ讃岐	9.1%	13.4%	4.3pt	
			オリーブガイナース	8.4%	10.2%	1.8pt	
			ファイアアローズ	5.2%	6.3%	1.1pt	
地域資源を生かしたスポーツツーリズムの促進	地域資源を生かしたマリンスポーツ体験などを活用し、観光とスポーツを組み合わせたスポーツツーリズムやスポーツ合宿の誘致活動を行い、地域振興を図る。	・令和5年4月より合宿誘致促進事業補助金交付要綱を定め、スポーツ合宿の誘致活動を行った。令和5年度実績は3件であり、交流人口の増加が図れた。	・周辺市町との広域的な観光連携も視野に、市の観光資源を活用した観光とスポーツを組み合わせたスポーツツーリズムを促進する。				

【基本方針3】スポーツ推進体制の充実

主要施策	施策の目的	前回計画期間の取組	アンケート結果				今後の課題
			調査対象	R1	R6	増減	
スポーツ団体への支援	地域のスポーツ関係団体を育成・支援し、市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりを目指す。	・各地域のスポーツ協会やスポーツ少年団と連携し、活動資金の補助や施設修繕の対応を行った。	○スポーツ協会等の加入状況				・スポーツ協会などのスポーツ団体に加入している人は減少傾向にあるが、スポーツ協会、スポーツ少年団及びスポーツ推進委員会の相互連携を強化し、地域のスポーツ団体の育成と支援に努める。
			加入している	19.9%	14.1%	-5.8pt	
			○どのような団体に加入しているか				
			地域クラブ・同好会	40.2%	41.3%	1.1pt	
			スポーツ協会・少年団	34.3%	38.8%	4.5pt	
			会員制スポーツクラブ	24.3%	26.3%	2.0pt	
激励会・表彰制度等の充実	全国大会や国際大会等に出場する選手や団体に対し、激励金の支給や表彰を行うことでアスリートの支援体制の充実を目指す。	・全国大会出場者への激励金の支給 ・日本一などへの「三豊市特別表彰」の実施	/				
スポーツ指導者の育成・確保	市民のスポーツ活動を支える指導者の育成・支援を行い、市民スポーツ活動の継続を目指す。	・スポーツ少年団における指導者資格の助成の取組 ・三豊市文化・スポーツ振興事業団による指導者人材バンクの開設、運営	○三豊市のスポーツ振興に対し期待すること				・三豊市文化・スポーツ振興事業団による指導者人材バンクの運営と指導者向け研修会の実施により、人材の確保と育成を図る。
			指導者の育成・確保	15.3%	12.8%	-2.5pt	
			○子どもたちのスポーツ環境づくりに必要なこと				
			専門の指導者の確保	—	64.7%	—	
スポーツ施設の計画的な維持管理と利用促進	適切な時期での修繕等により、各スポーツ施設の安全性や利便性などの機能を継続させ、利用者からの意見を反映し、利用者満足度の向上を目指す。	・代表的スポーツ施設である総合体育館の改修（アリーナ空調、照明LED化、エレベーター設置等）、宝山湖公園改修などにより施設の充実を図った。ほかの施設においても利用者の意見を反映した修繕等を適宜実施した。	○身近な体育施設の状況について				・各施設の老朽化が進んでおり、適正な維持管理と計画的な修繕・改修を行う必要がある。 ・各施設のユニバーサルデザイン導入やバリアフリー化を進めていく必要がある。 ・利用者の更なる利便性の向上のため、施設予約システムを導入する必要がある。
			きれいで安全	32.0%	30.8%	-1.2pt	
			危険・不便	9.0%	7.9%	-1.1pt	
			○整備・充実する必要がある公共スポーツ施設				
			室内トレーニング施設	28.1%	32.3%	4.2pt	
			ランニング・ウォーキングコース	25.7%	31.3%	5.6pt	
			多目的運動場	15.3%	20.9%	5.6pt	
○障がい者の方が運動・スポーツをするために必要な取組							
			バリアフリー化	—	26.3%	—	
学校施設開放の促進	学校との連携により、多くの市民が、市内小中学校の学校体育施設を身近なスポーツの場として活用できるようにする。	・できる限り多くの利用希望者の希望に添えるよう学校・利用希望団体と利用調整を行ってきた。	○どこで運動・スポーツをしているか				・学校施設の利用は減少傾向にあるが、地域のスポーツ活動を担う場所でもあるため、引き続き適正な維持管理に努める必要がある。 ・老朽化した備品等も多く、利用者ニーズに沿った整備が必要である。
			学校施設	11.0%	9.1%	-1.9pt	
			○主に利用している三豊市のスポーツ施設				
			学校の体育館	33.9%	19.6%	-14.3pt	
			学校の運動場	30.5%	8.6%	-21.9pt	

2 計画の基本方針

三豊市第2次総合計画に掲げる施策を実現するため、第1期計画の3つの基本方針を踏襲したうえで、これに基づく主要施策を展開していきます。

(1) 各世代でのスポーツの推進

国の第3期スポーツ基本計画では、「成人（計画時20歳以上）の週1回以上のスポーツ実施率を70%にすること」を基本目標としています。本市においては、令和6年9月に実施した市民アンケートで、20歳以上における週1日以上スポーツ実施率が「41.9%」であったことから、令和11年においては、国と同様に「70%」を目標とし、市民スポーツの推進に取り組みます。

さらに、スポーツを「する」だけでなく、「みる」「ささえる」という様々な形でスポーツに参画する人口の増加にも取り組みます。

また、運動好きな子どもや日常から運動に親しむ子どもを増やし、心身共に健康な生活を営むことができる資質や能力の育成を図るため、令和11年における「週3日以上スポーツ実施率」の目標を小学生（5・6年生）で「80%」（現状66.3%）、中学生（3年生）で「70%」（現状54.1%）とします。

目標達成のための手段として、アンケートでも上位であった、健康づくりを目的としたり、初心者を対象としたスポーツイベントの実施や各年代のニーズに応じたイベント・教室などの情報発信に取り組みます。

【各世代のスポーツ実施率の目標】

世代	頻度	現状（R6）	目標（R11）
20歳以上	週1日以上	41.9%	70%
小学生（5・6年生）	週3日以上	66.3%	80%
中学生（3年生）	週3日以上	54.1%	70%

(2) スポーツを通じた交流の促進と地域活性化

幅広い世代にスポーツの楽しさや感動を与え、地域の賑わいづくりや交流を深めるため、地域密着型トップスポーツチーム等との連携を強化します。

また、県外からのスポーツ団体による大会や合宿を誘致することで、世代・地域を超えたスポーツ交流を促し、スポーツ人口の拡大を目指します。

(3) スポーツ推進体制の充実

一人ひとりが自分のライフスタイルや趣味・志向に応じたスポーツを実践していくための「環境づくり」として、市内のスポーツ活動団体の充実や指導者の育成、スポーツ施設・設備の充実等に取り組み、市民スポーツを「ささえる」体制の充実を目指します。

第2期三豊市スポーツ推進計画の体系

三豊市第2次総合計画に掲げる施策

(「スポーツの振興」、「スポーツ施設の充実」、「アスリートの育成支援」)

主要施策

【基本方針1】各世代でのスポーツの推進

- ➡ 【主要施策1】学校体育の充実
- ➡ 【主要施策2】社会体育の充実
- ➡ 【主要施策3】市民スポーツの推進
- ➡ 【主要施策4】高齢者スポーツの推進
- ➡ 【主要施策5】障がい者スポーツの推進
- ➡ 【主要施策6】ニュースポーツ等の推進

【基本方針2】スポーツを通じた交流の促進と地域活性化

- ➡ 【主要施策1】スポーツ人口の拡大
- ➡ 【主要施策2】スポーツイベントの充実に向けた支援
- ➡ 【主要施策3】トップアスリートの育成体制の整備
- ➡ 【主要施策4】スポーツ情報の充実
- ➡ 【主要施策5】地域密着型トップスポーツチームを活用した地域活性化
- ➡ 【主要施策6】地域資源を生かしたスポーツツーリズムの促進

【基本方針3】スポーツ推進体制の充実

- ➡ 【主要施策1】スポーツ団体への支援
- ➡ 【主要施策2】激励会・表彰制度等の充実
- ➡ 【主要施策3】スポーツ指導者の育成・確保
- ➡ 【主要施策4】スポーツ施設の計画的な維持管理と利用促進
- ➡ 【主要施策5】学校施設開放の推進
- ➡ 【主要施策6】スポーツ施設の再配置（統廃合）

3 主要施策の展開

【基本方針1】各世代でのスポーツの推進

(1) 学校体育の充実

全国的な少子化や趣味の多様化により、近年、子どもたちが仲間とともに、スポーツに触れ合う機会が減ってきています。

すべての子どもが運動の楽しさを感じ、自分にあったスポーツを見つけることができるよう、外部指導員や各種事業等を活用し、運動習慣の確保に取り組みます。

また、特に幼少期からの運動習慣づけのため、保護者に対して、幼少期の運動習慣の重要性を啓発するとともに、親子で取り組める運動遊びやスポーツ等のイベントを開催します。

中学校部活動においては、生徒にとって望ましいスポーツ環境となるよう、学校部活動と地域クラブ等との連携を図ります。

(主な取組)

- 外部指導員の積極的活用
- 部活動指導員制度の活用
- 子どものスポーツ活動に対する保護者の理解の促進
- 親子で参加できるイベントやスポーツ教室の充実

(2) 社会体育の充実

新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響もあり、スポーツの実施頻度が低下しています。

このような状況を補うため、各種スポーツ団体の育成を図るとともに、指定管理施設である三豊市総合体育館やたくまシーマックスでの教室等を活用し、切れ目のない社会体育の充実を目指します。

また、中学校部活動の地域移行に向けては、地域や学校の実情に十分に配慮するとともに、受け皿となる地域クラブの育成及び連携を図り、生徒のスポーツの選択肢の維持・拡充に取り組みます。

(主な取組)

- 活動母体となるスポーツ協会、スポーツ少年団などのスポーツ団体の育成
- 三豊市総合体育館やたくまシーマックスでの各種教室等の実施
- 中学校部活動の地域移行に向けた実証事業の実施や体制整備

(3) 市民スポーツの推進

アンケート調査の結果からも、スポーツを行う理由として、心身の健康の保持増進のためにスポーツを実施する市民が多いことから、健康づくりを中心としたスポーツイベントやスポーツ教室を開催し、市民がスポーツに触れる機会の充実を目指します。

(主な取組)

- スポーツ推進委員会やスポーツ協会との連携による各年代のニーズに即したスポーツ大会やスポーツ体験会の開催
- スポーツ施設の無料開放日の実施
- スポーツ施設における用具の貸し出し等の実施
- 市やスポーツ協会、三豊市文化・スポーツ振興事業団等によるホームページや広報紙その他 SNS を活用した積極的なスポーツ情報の提供

(4) 高齢者スポーツの推進

高齢者の健康づくりや生きがいづくり、社会参加のきっかけづくりを目的に、スポーツ大会やスポーツ教室の開催等、高齢者も気軽にスポーツに取り組むことができるイベントの提供や環境の整備に努めます。

(主な取組)

- 生活習慣病を予防する運動習慣獲得へのきっかけづくりへの支援
- 介護予防教室の開催
- 社会福祉協議会や老人クラブ連合会との連携
- 交通弱者のため、身近な公民館等でスポーツができる環境づくり（たくまシーマックスによる出前講座等）
- スポーツ推進委員会等と連携したスポーツイベント等の実施の検討



地域移行に向けた実証事業
(中学校ソフトテニス部)



スポーツ推進委員会主催の
ウォーキングイベント

(5) 障がい者スポーツの推進

障がいのある人が住み慣れた地域でいきいきと生活し、体力の維持増進を図る活動が継続できるよう、スポーツをはじめのきっかけとなる教室やイベントの開催や、障がいのある人もない人も、共にスポーツを楽しむことができるような環境整備を推進します。

また、関係機関や関係団体との連携・協力体制を構築し、障がいのある人への正しい理解と認識を深め、障がいのある人の社会参加を促進する取組を支援します。

さらには、誰もが利用しやすい施設となるよう、ユニバーサルデザインの導入やバリアフリー化に努めます。

(主な取組)

- ・障がい者スポーツ教室の開催
- ・障がい者スポーツ大会の開催
- ・スポーツ推進委員会による障がい者スポーツの普及・啓発（体験会等）
- ・香川県障害者スポーツ協会をはじめ、かがわ総合リハビリテーション福祉センター、スポーツ推進委員会、スポーツ協会等の関係団体が連携した支援体制づくりへの協力
- ・スポーツ施設へのユニバーサルデザインの導入やバリアフリー化

(6) ニュースポーツ等の推進

ニュースポーツは、誰もが簡単に行えるレクリエーション的要素のあるスポーツであるとともに、特別な技術や体力を必要としないものであり、三豊市スポーツ協会や三豊市スポーツ推進委員会が指導・普及に努めています。

各種団体・地区でのイベントの開催、指導者の派遣、用具の貸し出し等を通じて、ニュースポーツ等の推進を支援します。

(主な取組)

- ・スポーツ推進委員会による出前教室の実施
- ・スポーツ協会によるニュースポーツの大会等の開催
- ・ニュースポーツを体験してもらうための各種イベント等での用具の貸し出しの実施



車いす卓球体験会



宝山湖公園でのパークールイベント

【基本方針2】スポーツを通じた交流の促進と地域活性化

(1) スポーツ人口の拡大

現役世代を中心に運動不足を感じる人が多く、日常的にスポーツを行う人の割合も低い状況です。スポーツ推進委員会やスポーツ協会等と連携し、スポーツイベントや初心者教室の開催等によりスポーツ人口の拡大を図ります。

市民の生活習慣病の予防は、本市においても大きな課題であるため、関係部局と連携し、健康づくりとスポーツ人口の拡大を一体的に推進することを目指します。

(主な取組)

- 健康づくりへの意識啓発とスポーツイベント・教室の一体的な情報提供及び実施
- 子どもたちの体力増進やスポーツへの関心を高めるイベント等の開催

(2) スポーツイベントの充実に向けた支援

三豊市スポーツ推進委員会、三豊市スポーツ協会や各種団体により実施されるイベントについては、より充実した内容になるよう連携を図ります。

(主な取組)

- スポーツイベントの内容検討（イベント開催時におけるアンケートの実施やニーズの把握、イベント内容の検討）
- 三豊市文化・スポーツ振興事業団によるスポーツイベントの開催



スポーツ協会主催のアクティブチャイルドプログラム

(3) トップアスリートの育成体制の整備

スポーツに対する興味や関心、未来のトップアスリートを目指すきっかけづくりにつなげていくため、トップアスリートを招き、触れ合える機会を提供します。

また、トップレベルの試合を実際に観戦できる環境づくりに取り組むことにより、スポーツを「みる」楽しさを体感し、「する」喜びにつなげる機会を提供します。

(主な取組)

- トップアスリートによる講演会・スポーツ教室の開催
- トップアスリートの応援機運の醸成
- 地域密着型トップスポーツチームの試合観戦イベントの開催

(4) スポーツ情報の充実

スポーツ施設の利用案内やスポーツ関連事業、スポーツ団体の活動内容などの情報提供において、引き続き全世代向けに広報や市ホームページでの情報発信を行うとともに、特に現役世代には SNS 等を活用し、より効果的にスポーツ情報を届けるための取組みを行います。

(主な取組)

- 市やスポーツ協会、三豊市文化・スポーツ振興事業団等によるホームページや広報紙
その他 SNS を活用した積極的なスポーツ情報の提供【再掲】
- スポーツ施設等に設置したスポーツ情報コーナーでのチラシ等の掲示・配布



夢の教室

(元バスケットボール選手 岡里明美さん)



スポーツ協会広報紙での情報発信

(5) 地域密着型トップスポーツチームを活用した地域活性化

本市では、地元香川県を本拠地として活動する地域密着型トップスポーツチーム「香川オリーブガイナース」、「カマタマーレ讃岐」、「香川ファイブアローズ」、「香川アイスフェローズ」を応援し、地域ぐるみで盛り上げる機運の醸成を図るとともに、これらを活用した地域の活性化に取り組みます。

(主な取組)

- 地域密着型トップスポーツチーム所属選手との交流の場の創出(学校訪問や地域のイベントへの参加)
- 地域密着型トップスポーツチームの情報発信
- 地域密着型トップスポーツチームの試合観戦イベントの開催【再掲】
- 宝山湖公園におけるカマタマーレ讃岐と連携した教室・イベントの開催

(6) 地域資源を生かしたスポーツツーリズムの促進

将来的な周辺市町との広域的な観光連携を視野に、本市の地域資源を生かしたマリンスポーツ体験などを活用し、観光とスポーツを組み合わせたスポーツツーリズムの促進を支援します。

また、スポーツ合宿について、市内の宿泊施設と連携しながら、積極的な誘致活動を行い、市の観光地や特産物等をPRし、地域振興を図ります。

(主な取組)

- 県外からのスポーツ合宿・大会誘致の促進による交流人口の増加
- 県外からのスポーツ団体に対する市内観光情報の提供



香川ファイブアローズ試合観戦イベント(総合体育館)

【基本方針3】スポーツ推進体制の充実

(1) スポーツ団体への支援

市民がスポーツをより身近に感じ、様々なスポーツを楽しむことができるよう、三豊市スポーツ協会をはじめとするスポーツ関係団体が相互に連携し、スポーツ施策の推進体制を強化していきます。

また、市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりを目指し、地域のスポーツ関係団体を育成するとともに、支援に努めます。

(主な取組)

- スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員会等による大会・教室等の積極的な開催の支援
- 指導者研修会への参加の促進

(2) 激励会・表彰制度等の充実

全国大会や国際大会、世界大会等に出場する選手や団体に対し、表敬訪問、激励金の支給等を行うとともに、日本一・世界一になった場合は、市で表彰を行うなど、スポーツで活躍するアスリートを支援する体制の充実を図ります。

(主な取組)

- 全国大会に出場する選手・団体の表敬訪問
- 全国大会に出場する選手・団体に対する激励金の支給
- 日本一や世界一など、著しい活躍をされた方々に対する「三豊市特別表彰」の実施

(3) スポーツ指導者の育成・確保

市民がスポーツ活動をはじめたり、継続していくためには、スポーツ指導者の存在が不可欠なものであることから、スポーツ活動を支える指導者の育成・支援に努めます。

(主な取組)

- スポーツ指導者人材バンクの運営
- スポーツ指導者の資格取得の支援
- 指導者向けの講演会や研修会等の実施

(4) スポーツ施設の計画的な維持管理と利用促進

各スポーツ施設の老朽化が進んでいることから、適切な時期での維持管理・修繕を行い、安全性や利便性などの機能を継続するため、さらに将来にわたる負担軽減及び利用者満足度を向上させるため、計画的な維持管理や改修を行います。

また、利用者からの意見を反映し、施設整備や利便性の向上につなげ、さらなる利用の促進を図ります。

(主な取組)

- スポーツ施設の定期点検・維持管理・修繕等の実施
- スポーツ施設へのユニバーサルデザインの導入やバリアフリー化【再掲】
- スポーツ施設の予約システムの導入

(5) 学校施設開放の推進

多くの市民が、市内小中学校の学校体育施設を身近なスポーツの場として活用でき、また、各学校に適した学校施設開放事業となるよう、学校との連携を密にし、適切な維持管理に努めます。

(主な取組)

- 学校施設の適切な維持管理
- 利用者ニーズや地域性を踏まえた備品等の整備充実



令和3年度に改修した総合体育館アリーナ

(6) スポーツ施設の再配置(統廃合)

(4)及び(5)に取り組む一方で、人口構造の変化やスポーツ需要の変化等も踏まえ、将来にわたって持続可能なスポーツ活動環境の維持・充実を図るため、全市的なスポーツ施設の再配置を検討していく必要があります。

三豊市公共施設等総合管理計画(第1期計画期間2016年~2025年)では、スポーツ施設の再配置の考え方を次のように定めています。

分類	今後の公共施設の再配置等の方向性
スポーツ施設	a. スポーツ施設は、学校開放を基本とします。体育館・プール・武道館等は、その機能を学校施設の中に積極的に統合していくものとします。また、利用状況を踏まえて機能の集約化や統廃合を検討します。 b. 管理棟を持たない野球場やテニスコート・グラウンド等は、利用状況を踏まえて施設の適正配置を検討します。

また、今回の市民意識調査においては、公共スポーツ施設の老朽化や人口減少が進む中で、施設の統廃合を検討することについて「賛成」または「どちらかといえば賛成」と答えた人は合わせて74.3%を占めました。さらに、施設の統廃合を進める場合に重要なことについては、「市内の配置状況(バランス)(43.1%)」、「施設の老朽状況(建築年数)(39.2%)」、「利用状況(利用人数)(27.6%)」などの意見がありました。

公共施設等総合管理計画の第2期計画(2026年度~2035)の策定にあたっては、スポーツ施設の再配置について、アンケート結果や施設の劣化状況等を踏まえて適正な配置を検討し、持続可能なスポーツ活動環境の維持・充実を図ります。

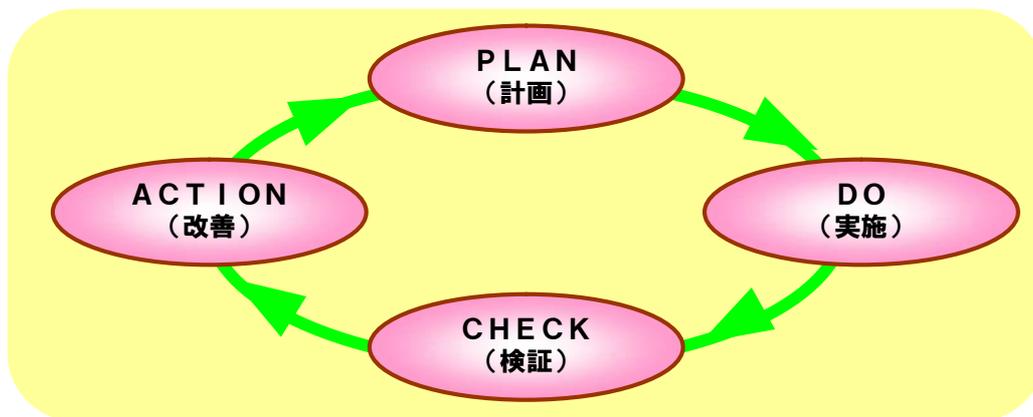
(主な取組)

・スポーツ施設の適正な配置の検討

4 計画の進行管理

本計画の進行管理は、計画に掲げる施策が適切かつ効果的に実行されているか等について、PDCA サイクルによりその達成状況を評価し、必要に応じて施策・事業の見直しを行います。

【計画の進行管理】



5 スポーツに関するアンケート調査結果

●市民アンケート調査結果

I 調査概要	24
1 調査目的	
2 調査方法等	
3 報告書の見方	
II 調査結果	25
【健康・体力について】	
(1)現在の健康状態をどのように感じているか	25
(2)日頃運動不足を感じているか	25
【運動・スポーツの実施状況】	
(3)1年間に運動・スポーツをする頻度	26
(4)行っている運動・スポーツ	28
(5)運動・スポーツをしている理由	29
(6)どこで運動・スポーツをしているか	30
(7)1回あたりの運動・スポーツの実施時間	31
(8)運動・スポーツをしていない理由	32
(9)今後運動・スポーツをしてみたいか	33
(10)してみたい運動・スポーツ	34
(11)どのような環境があれば運動・スポーツをするようになるか	35
【スポーツイベントについて】	
(12)市のスポーツイベントの参加経験	36
(13)どこが実施しているイベントに参加したか	36
(14)今後参加してみたいスポーツイベント	37
【障がい者スポーツについて】	
(15)障がいの有無	38
(16)運動・スポーツをする場合に重視すること	39
(17)障がい者の方が運動・スポーツをするために必要な取組	40
(18)障がい者スポーツにかかわった経験	41
(19)障がい者スポーツをサポートしたいと思うか	41
【各種スポーツ団体について】	
(20)スポーツ協会等の加入状況	42
(21)どのような団体に加入しているか	42
(22)スポーツ団体に加入していない理由	43

【地域密着型トップスポーツチームについて】	
(23)地域密着型スポーツチームの認知度	44
(24)地域密着型スポーツチームの試合観戦の状況等	45
(25)直接試合を観戦したことがない理由	46
【三豊市のスポーツ施設について】	
(26)三豊市の公共スポーツ施設の利用状況	47
(27)主に利用している三豊市の公共スポーツ施設	48
(28)主に利用している施設の利用理由	49
(29)身近な体育施設の状況について	49
(30)身近な体育施設の数について	51
(31)公共スポーツ施設を利用するうえで希望すること	52
(32)整備・充実する必要がある公共スポーツ施設	53
(33)公共スポーツ施設の統廃合について	54
(34)公共スポーツ施設の統廃合を進める場合に重要なこと	56
【三豊市のスポーツ行政について】	
(35)希望するスポーツに関する情報の発信方法	57
(36)不足しているスポーツ関連の情報	58
(37)「三豊市スポーツ推進委員」の認知度	59
(38)スポーツ推進委員に求められている役割	60
(39)三豊市のスポーツ振興に対し期待すること	61
(40)子どもたちのためのスポーツ環境づくりに必要だと思うこと	62

●小学生アンケート調査結果

I 調査概要	63
1 調査目的	
2 調査方法等	
II 調査結果	
【運動・スポーツの取組状況】	
(1)1年間に運動・スポーツをする頻度	64
(2)行っている運動・スポーツ	65
(3)運動・スポーツをしている理由	66
(4)だれと運動・スポーツをしているか	67
(5)1回あたりの運動・スポーツの実施時間	68
(6)一番熱心に取り組んでいる運動・スポーツ	69
(7)現在取り組んでいる運動・スポーツを中学生になっても続けたいか	70
(8)運動・スポーツをしていない理由	71

(9)してみたい運動・スポーツ	72
【地域密着型トップスポーツチームについて】	
(10)地域密着型スポーツチームの認知度	73
(11)地域密着型スポーツチームの試合観戦の状況等	74
(12)直接試合を観戦したことがない理由	75
【中学校進学後の部活動について】	
(13)中学校進学後の部活動で不安に感じる事	76

●中学生アンケート調査結果

I 調査概要	77
1 調査目的	
2 調査方法等	
II 調査結果	
【運動・スポーツの取組状況】	
(1)1年間に運動・スポーツをする頻度	78
(2)行っている運動・スポーツ	79
(3)運動・スポーツをしている理由	81
(4)だれと運動・スポーツをしているか	82
(5)1回あたりの運動・スポーツの実施時間	83
(6)運動・スポーツをしていない理由	84
(7)してみたい運動・スポーツ	85
【部活動の状況について】	
(8)運動部に入部しているか	86
(9)希望した種目の部活動に入ることができたか	86
(10)地域クラブについて望むこと	87
(11)地域クラブへの移行で不安に感じる事	88
【地域密着型トップスポーツチームについて】	
(12)地域密着型スポーツチームの認知度	89
(13)地域密着型スポーツチームの試合観戦の状況等	90
(14)直接試合を観戦したことがない理由	91

市民アンケート調査結果

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、「第2期三豊市スポーツ推進計画」の策定にあたって、市民のスポーツに関する活動の状況や意見を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

2 調査方法等

項目	内容
調査対象	三豊市に居住する16歳以上の市民から無作為抽出
調査方法	Web調査（70歳以上は紙面による回答可）
調査時期	令和6年9月
調査地域	市内全域
配布数	1989
有効回収数	569
有効回収率	28.6%

3 報告書の見方

- (1) 基数となるべき実数は、(n=〇〇)と表示する。各比率はすべてを100%として百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのために、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- (2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は回答者数を上回ることがあります。
- (3) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。また、0.0%の表記は省略している場合があります。

II 調査結果

1 健康・体力について

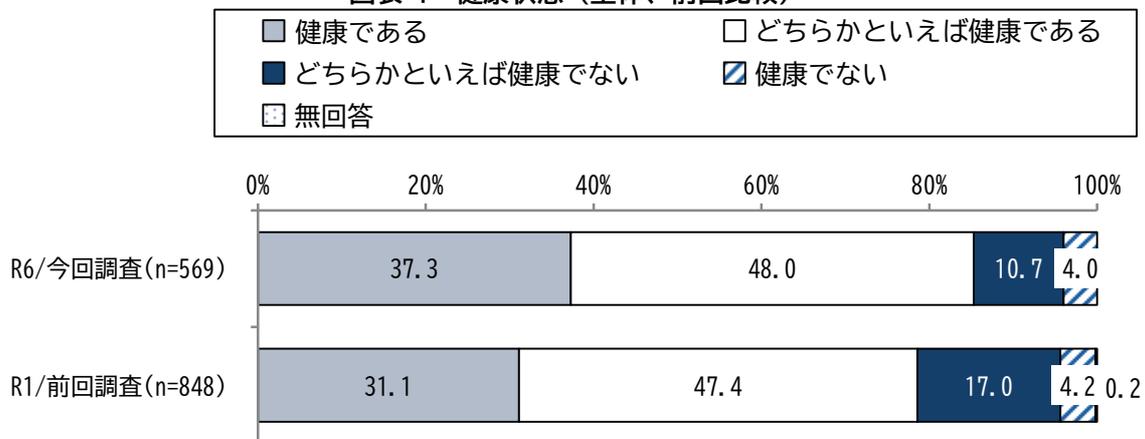
問1 現在の健康状態をどのように感じていますか。【1つを選択】

現在の健康状態については、「どちらかといえば健康である」が48.0%で最も高く、「健康である」(37.3%)を合計すると、85.3%が『健康状態はよい』と感じています。

一方、「どちらかといえば健康でない」と「健康でない」を合計した『健康状態は良くない』と感じている人は14.7%となっています。

前回調査と比較すると、『健康状態はよい』割合が6.8ポイント増加しています。

図表1 健康状態（全体、前回比較）



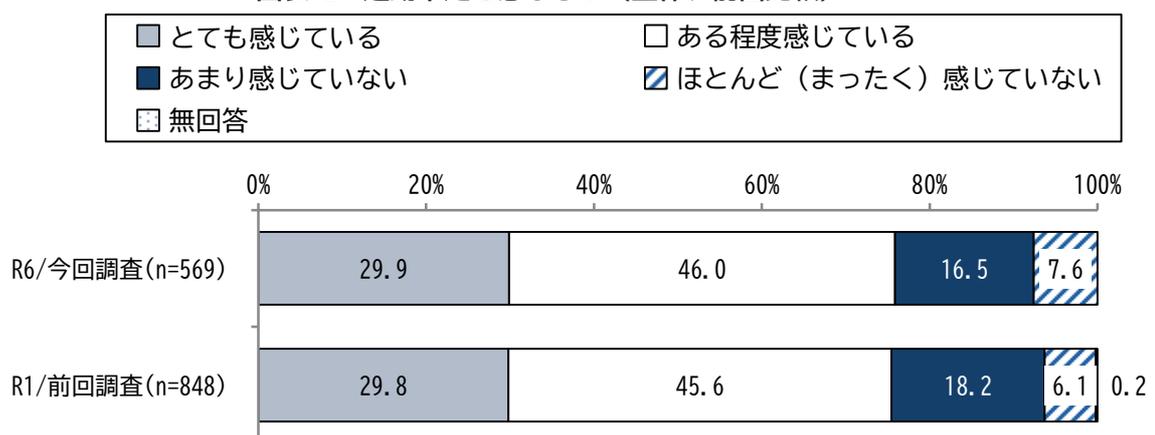
問2 日頃運動不足を感じていますか。【1つを選択】

運動不足を感じるかについては、「ある程度感じている」が46.0%で最も高く、「とても感じている」(29.9%)を合計すると、75.9%が『感じている』となっています。

一方、「あまり感じていない」と「ほとんど（まったく）感じていない」を合計した『感じていない』割合は24.1%となっています。

前回調査と比較すると、「あまり感じていない」が1.7ポイント減少しています。

図表2 運動不足を感じるか（全体、前回比較）



2 運動・スポーツの実施状況について

問3 あなたは、この1年間に、運動・スポーツをどのくらいの頻度で行っていますか。【1つを選択】

運動・スポーツの頻度は、「まったくしていない」が35.5%で最も高く、次いで「週1～2日」(17.2%)、「週3～4日」(12.7%)となっています。

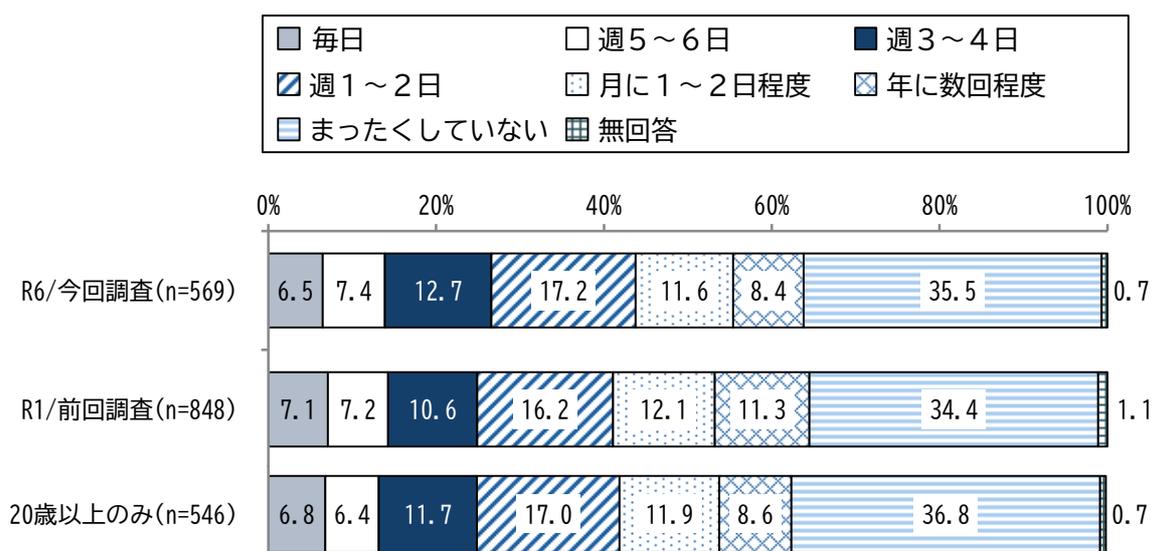
前回調査と比較すると、「週3～4日」が2.1ポイント増加しています。

性別にみると、「毎日」「週5～6日」は、男性が女性を上回っており、運動・スポーツの頻度は男性のほうが高い傾向がみられます。

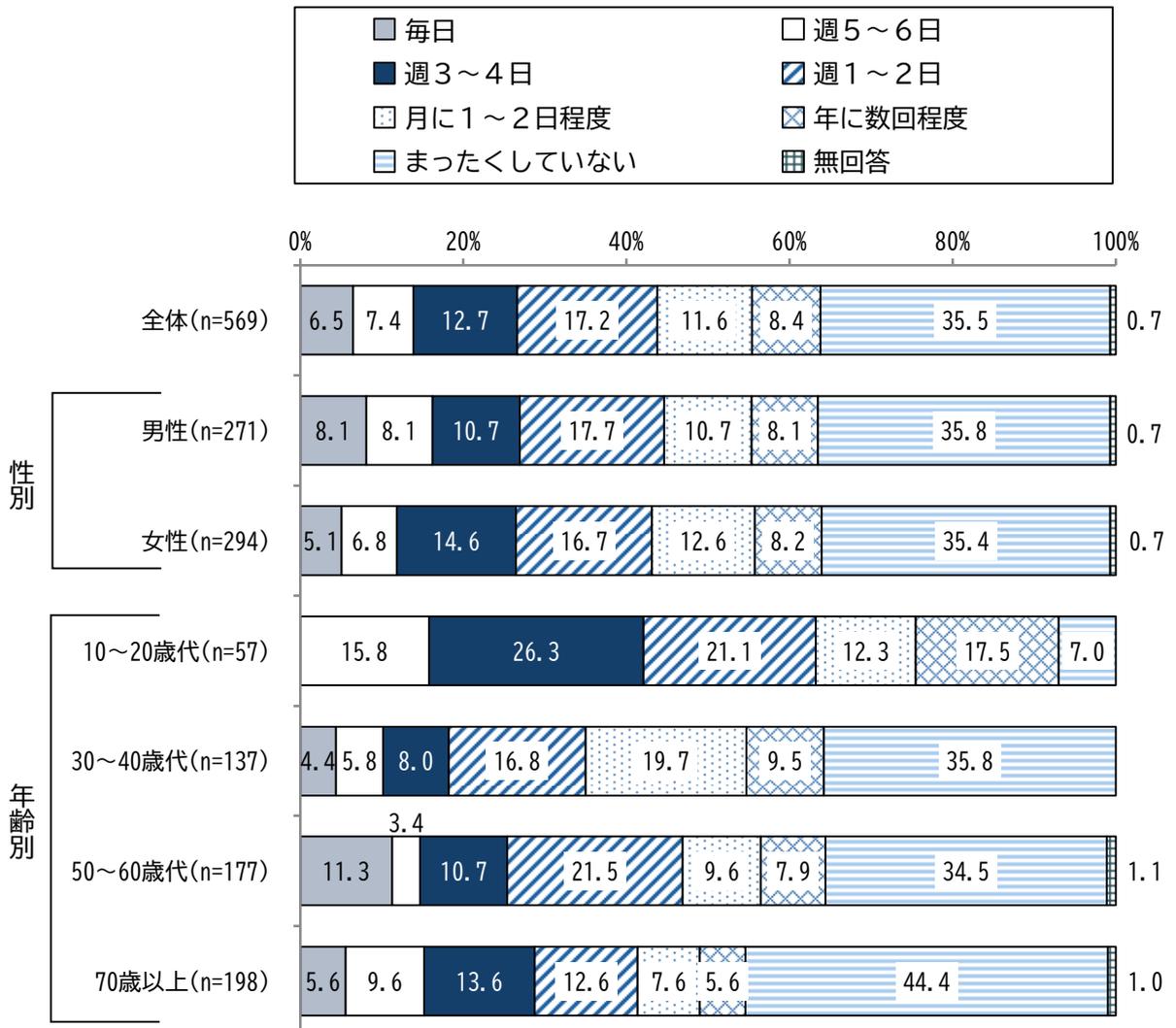
年齢別にみると、「毎日」は50～60歳代で最も高くなっています。また、「まったくしていない」は10～20歳代では1割未満にとどまっていますが、30～60歳代で3割半ば、70歳以上では4割半ばを占めています。

また、20歳以上のみに限定した結果では、「まったくしていない」が36.8%で最も高く、次いで「週1～2日」(17.0%)、「月に1～2日程度」(11.9%)となっています。

図表3 運動・スポーツの頻度（全体、前回比較、20歳以上のみ）



図表 4 運動・スポーツの頻度（全体、性別、年齢別）



問3で「毎日」～「年に数回程度」を選んだ方のみ

問4 どんな運動・スポーツをしていますか。【自由記述】

行っている運動・スポーツは、「ウォーキング」が149件で最も多く、次いで「筋力トレーニング」(44件)、「体操」(33件)となっています。

図表 5 行っている運動・スポーツ

スポーツ名	件数	スポーツ名	件数
ウォーキング	149	ゲートボール	3
筋力トレーニング	44	サッカー	3
体操	33	フィットネスゲーム	3
ランニング (ジョギング)	28	剣道	3
ゴルフ	26	陸上競技	3
ストレッチ	25	エアロビクス	2
ヨガ・ピラティス	24	キャッチボール	2
バドミントン	18	太鼓	2
登山・ハイキング	18	弓道	2
水泳	14	少林寺拳法	2
卓球	13	シュノーケリング	1
自転車 (サイクリング)	12	スキー	1
バレーボール	11	スノーボード	1
グランドゴルフ	10	スポーツウェルネス吹矢	1
野球	9	縄跳び	1
スポーツジム通い	8	ドッジボール	1
バスケットボール	8	フットサル	1
ソフトボール	7	ボーリング	1
ダンス	7	空手道	1
野外活動 (キャンプ、釣り等)	7		
ソフトテニス	4		
ソフトバレー	4		
テニス	4		
バタンク	4		
太極拳	4		

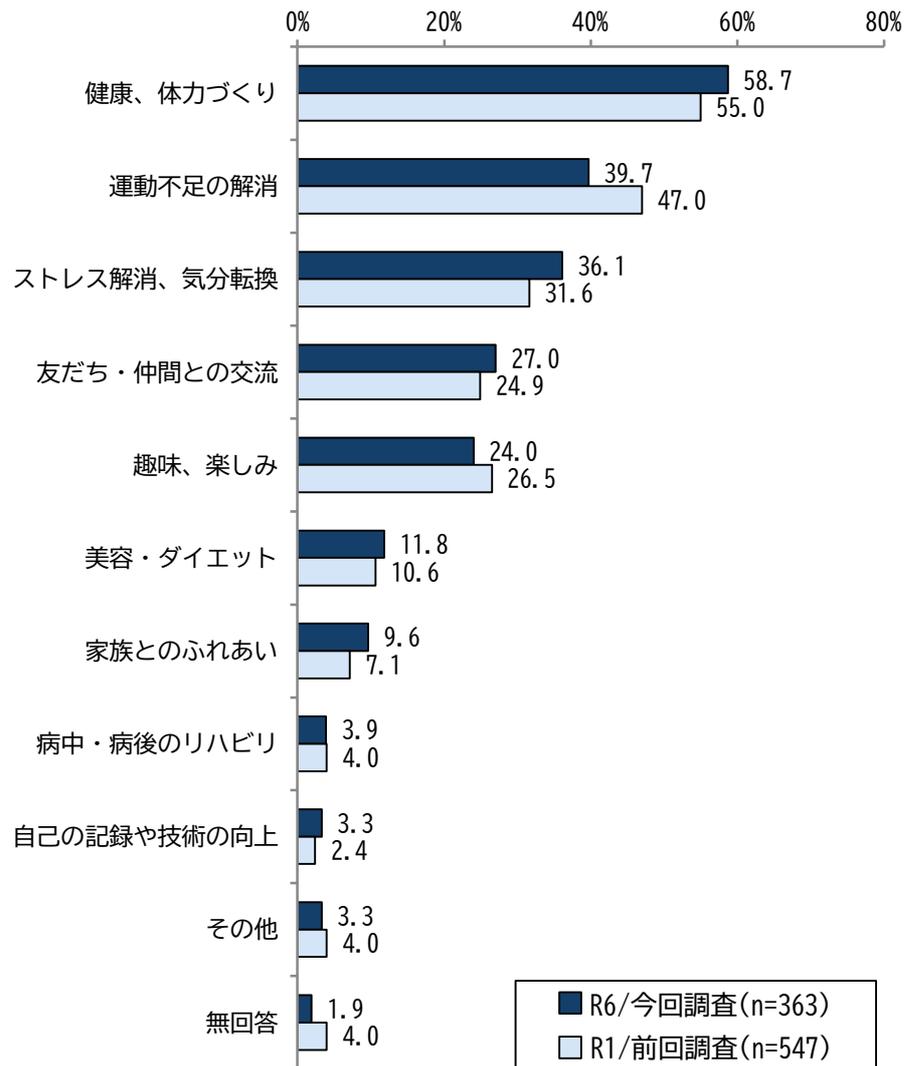
問3で「毎日」～「年に数回程度」を選んだ方のみ

問5 運動・スポーツをしている理由は何ですか。【3つまで選択可】

運動・スポーツをしている理由は、「健康、体力づくり」が58.7%で最も高く、次いで「運動不足の解消」(39.7%)、「ストレス解消、気分転換」(36.1%)となっています。

前回調査と比較すると、「運動不足の解消」が7.3ポイント減少しています。

図表 6 運動・スポーツをしている理由（全体、前回比較／複数回答）



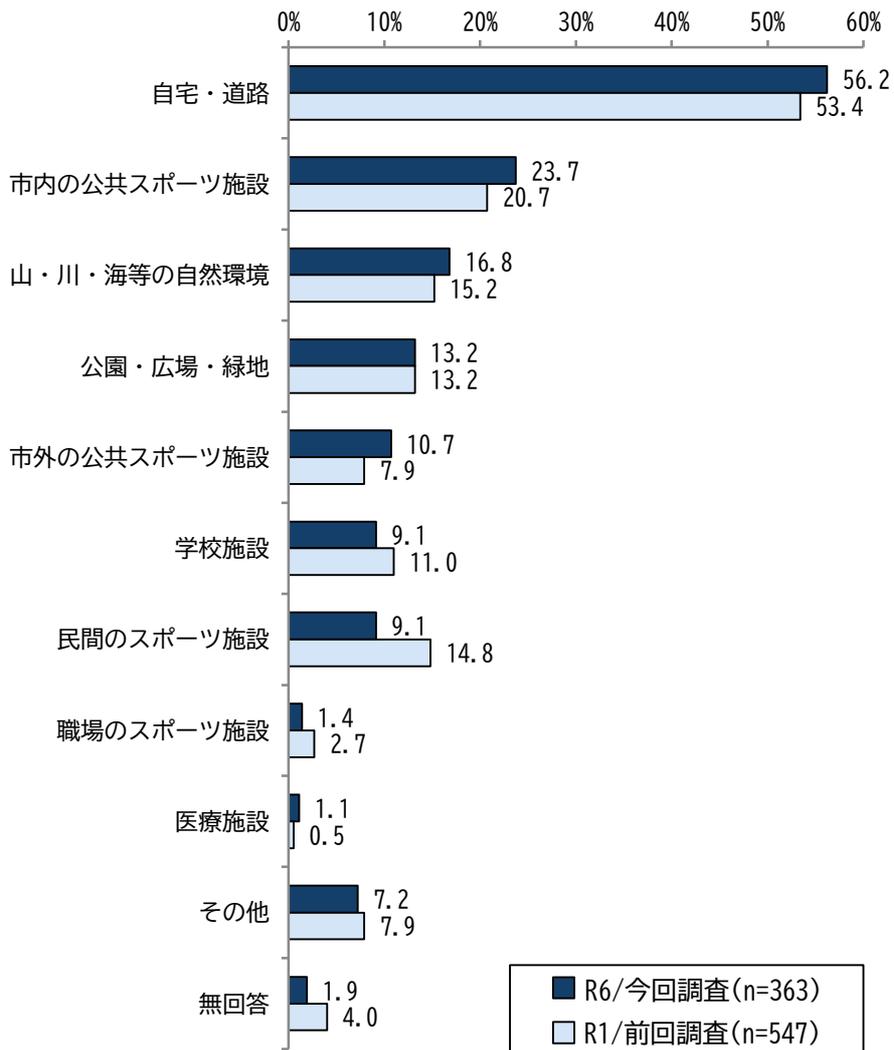
問3で「毎日」～「年に数回程度」を選んだ方のみ

問6 どこで運動・スポーツをしていますか【あてはまるものすべてを選択】

どこで運動・スポーツをしているかは、「自宅・道路」が56.2%で最も高く、次いで「市内の公共スポーツ施設」(23.7%)、「山・川・海等の自然環境」(16.8%)となっています。

前回調査と比較すると、「民間のスポーツ施設」が5.7ポイント減少しています。

図表7 どこで運動・スポーツをしているか(全体、前回比較/複数回答)



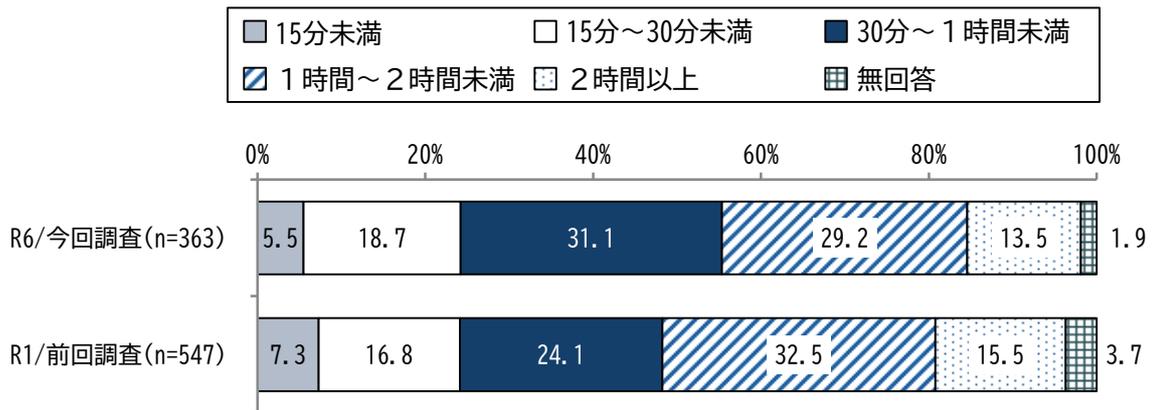
問3で「毎日」～「年に何回か」を選んだ方のみ

問7 1回あたりの運動・スポーツの実施時間は、平均でどのくらいですか。【1つを選択】

運動・スポーツの実施時間は、「30分～1時間未満」が31.1%で最も高く、次いで「1時間～2時間未満」(29.2%)、「15分～30分未満」(18.7%)となっています。

前回調査と比較すると、「30分～1時間未満」が7.0ポイント増加しています。

図表 8 運動・スポーツの実施時間（全体、前回比較）



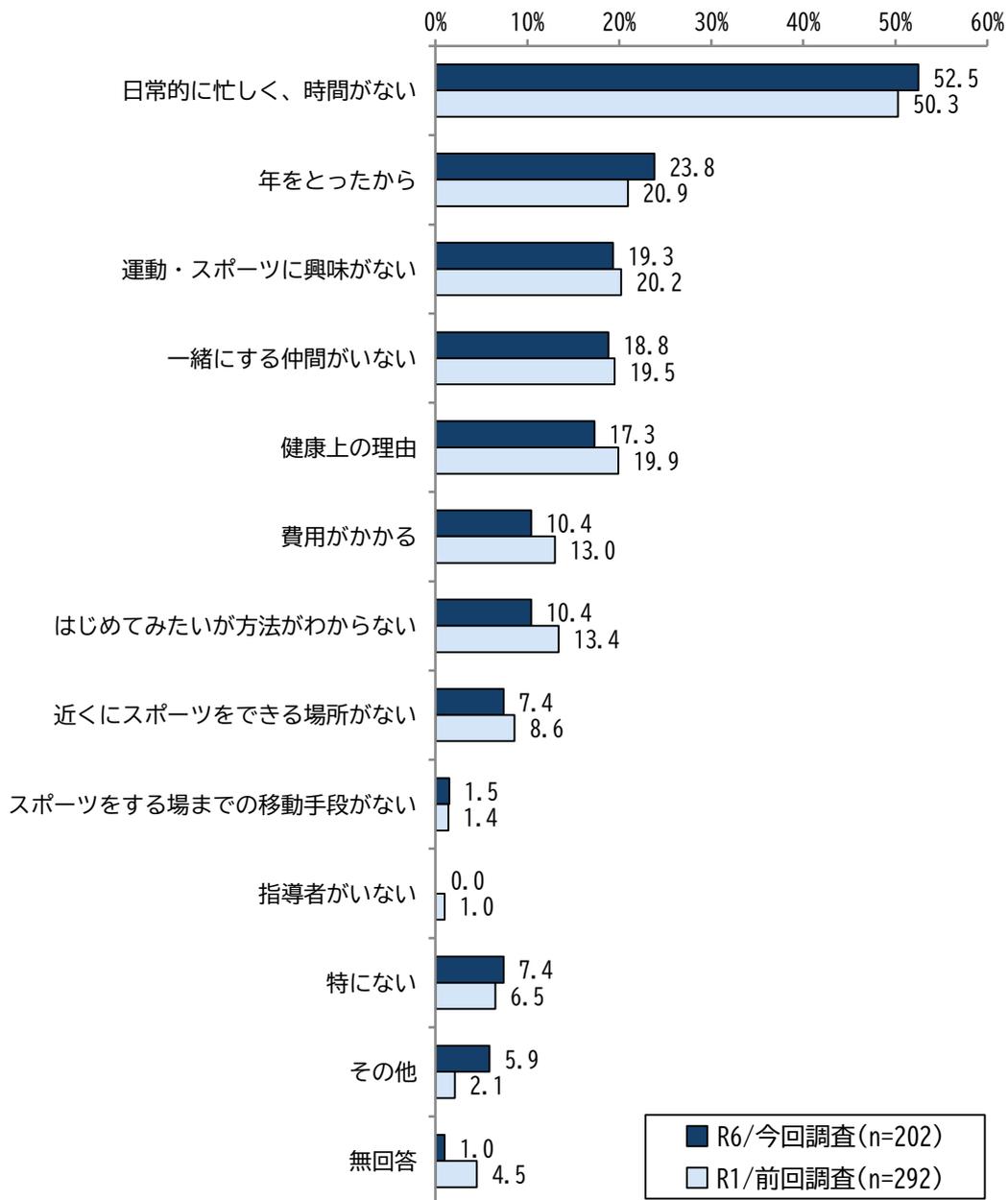
問3で「まったくしていない」を選んだ方のみ

問8 運動・スポーツをしていない理由は何ですか。【3つまで選択可】

運動・スポーツをしていない理由は、「日常的に忙しく、時間がない」が52.5%で最も高く、次いで「年をとったから」(23.8%)、「運動・スポーツに興味がない」(19.3%)となっています。

前回調査と比較すると、「年をとったから」が2.9ポイント増加しています。

図表 9 運動・スポーツをしていない理由（全体、前回比較／複数回答）



問9 今後、機会があれば、運動・スポーツをしてみたいと思いますか。【1つを選択】

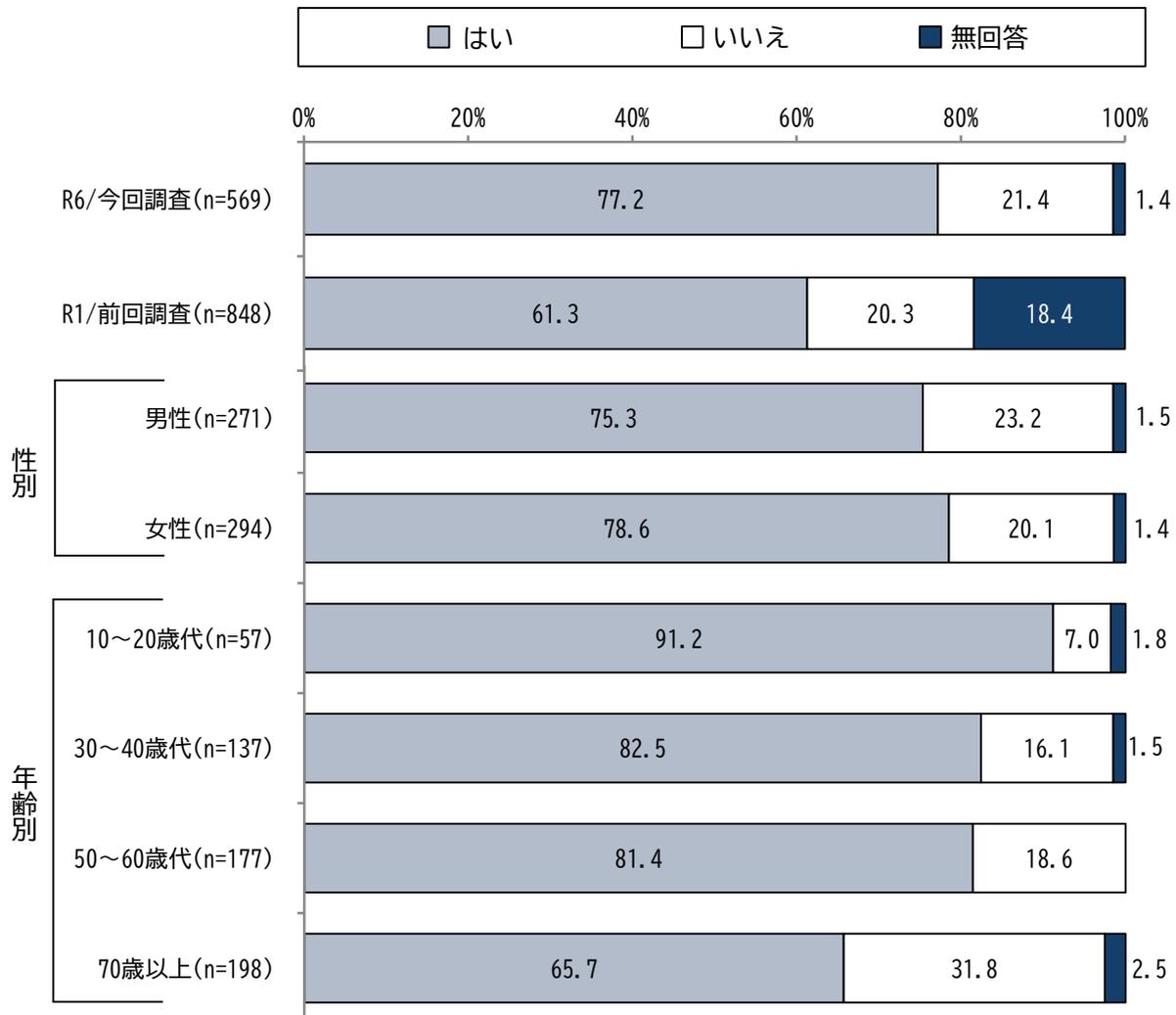
今後運動・スポーツをしてみたいかについては、「はい」が77.2%、「いいえ」が21.4%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が15.9ポイント増加しています。

性別にみると、「はい」の割合は、女性が男性を上回っています。

年齢別にみると、「はい」の割合は、10～20歳代が最も高く、9割以上を占めています。また、「はい」の割合は年齢が上がるにつれて減少し、70歳以上では65.7%となっています。

図表 10 今後運動・スポーツをしてみたいか（全体、前回比較、性別、年齢別）



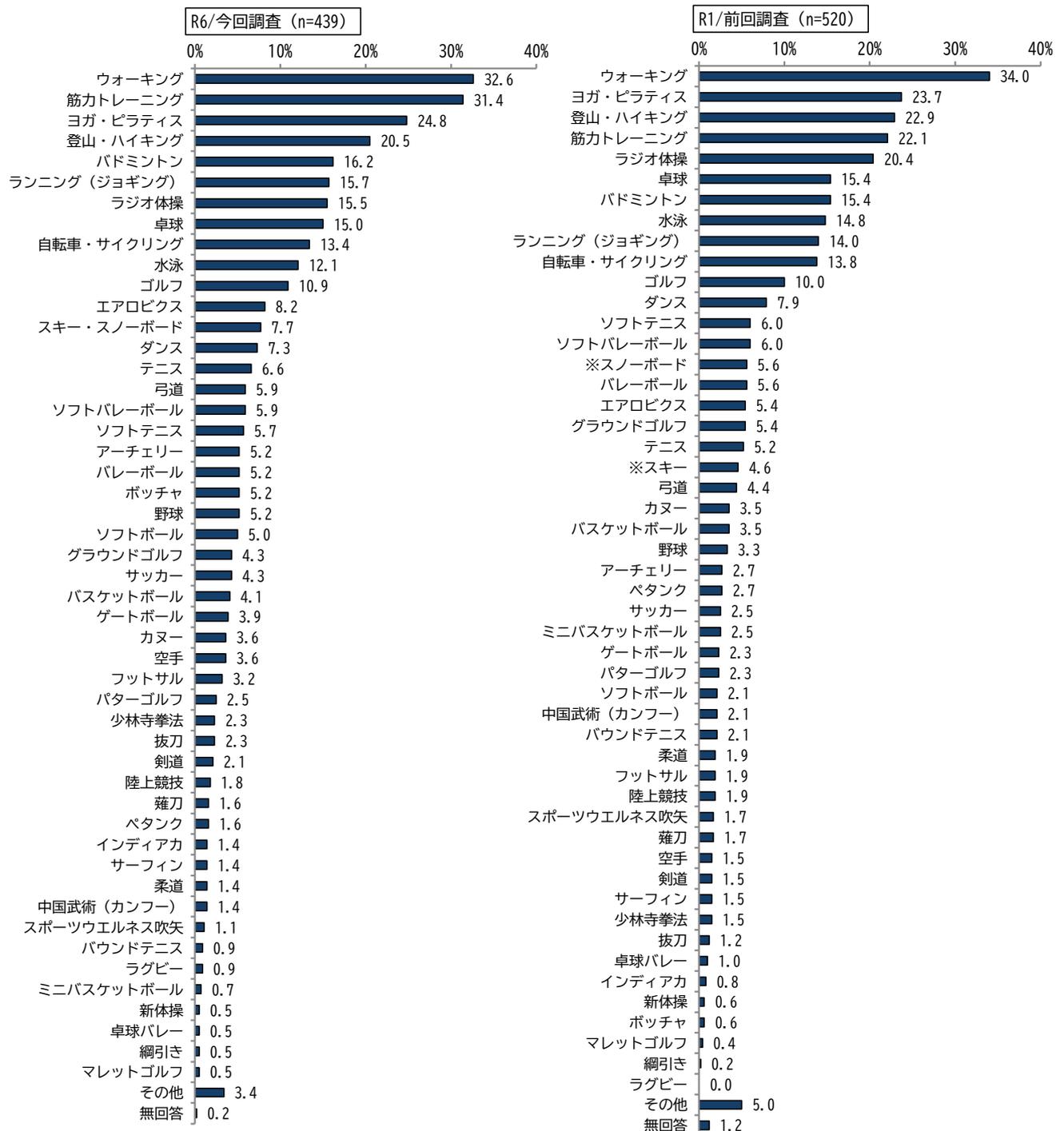
問9で「はい」を選んだ方のみ

問10 今後、どのような運動・スポーツをしてみたいですか。【あてはまるものすべてを選択】

今後、どのような運動・スポーツをしてみたいかについては、「ウォーキング」が32.6%で最も高く、次いで「筋力トレーニング」(31.4%)、「ヨガ・ピラティス」(24.8%)となっています。

前回調査と比較すると、前回第4位だった「筋力トレーニング」が9.3ポイント増加し、今回第2位となっています。

図表 11 してみたい運動・スポーツ（全体、前回比較／複数回答）



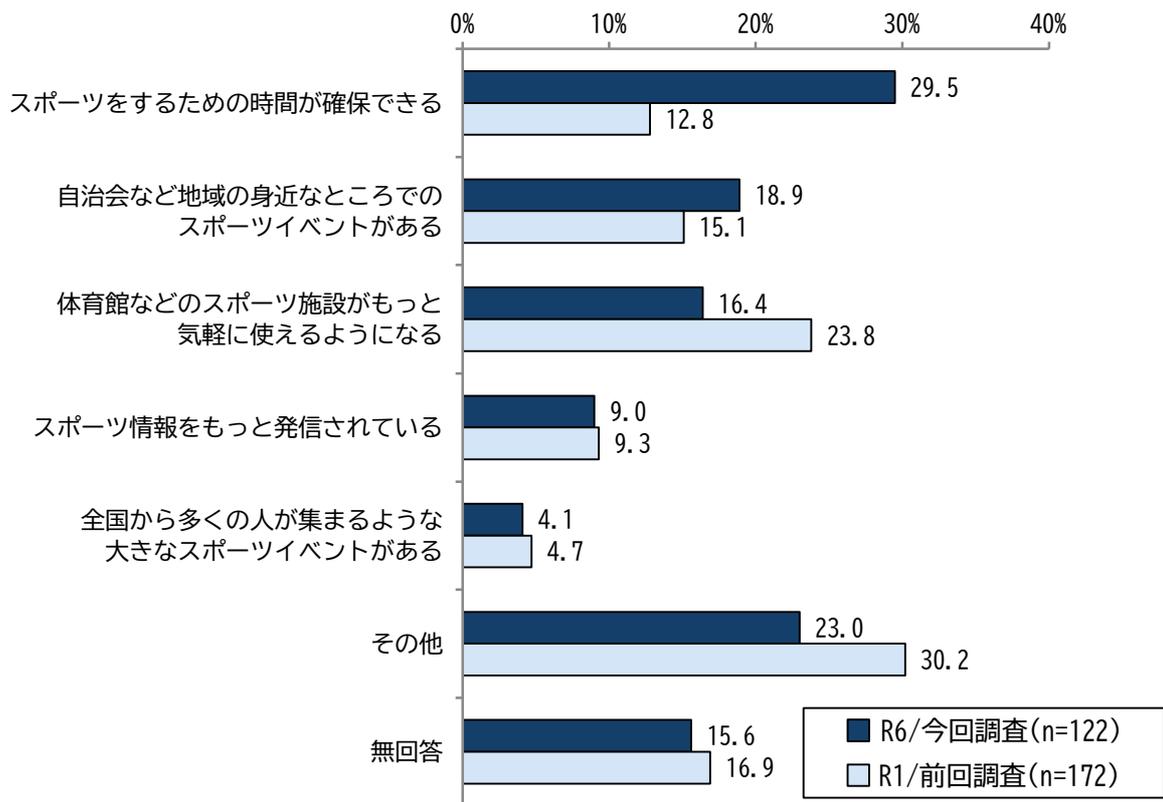
問9で「いいえ」を選んだ方のみ

問11 どのような環境があれば、運動・スポーツをするようになるか。【2つまで選択可】

どのような環境があれば運動・スポーツをするようになるかについては、「スポーツをするための時間が確保できる」が29.5%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「スポーツをするための時間が確保できる」が16.7ポイント増加しています。

図表 12 どのような環境があれば運動・スポーツをするようになるか（全体、前回比較／複数回答）

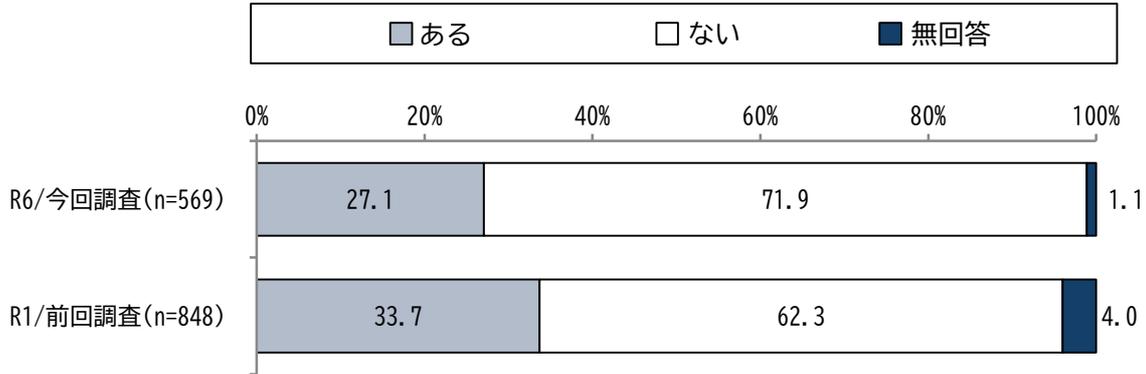


3 スポーツイベントについて

問12 三豊市のスポーツイベント（大会、教室、講座等）に参加したことがありますか。【1つを選択】

市のスポーツイベントの参加経験については、「ある」が27.1%、「ない」が71.9%となっています。前回調査と比較すると、「ない」が9.6ポイント増加しています。

図表 13 市のスポーツイベントの参加経験（全体、前回比較）



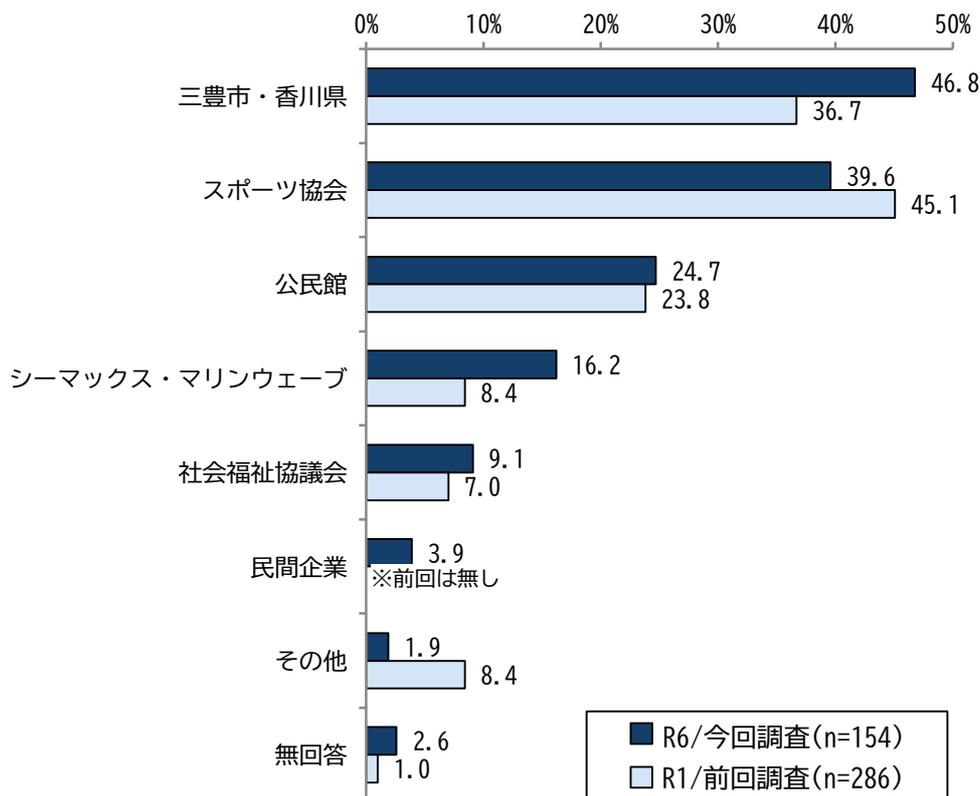
問12で「ある」を選んだ方のみ

問13 どこが実施しているイベントに参加しましたか。【あてはまるものすべてを選択】

どこが実施しているイベントに参加したかについては、「三豊市・香川県」が46.8%で最も高く、次いで「スポーツ協会」(39.6%)、「公民館」(24.7%)となっています。

前回調査と比較すると、「三豊市・香川県」が10.1ポイント増加しています。

図表 14 どこが実施しているイベントに参加したか（全体、前回比較／複数回答）

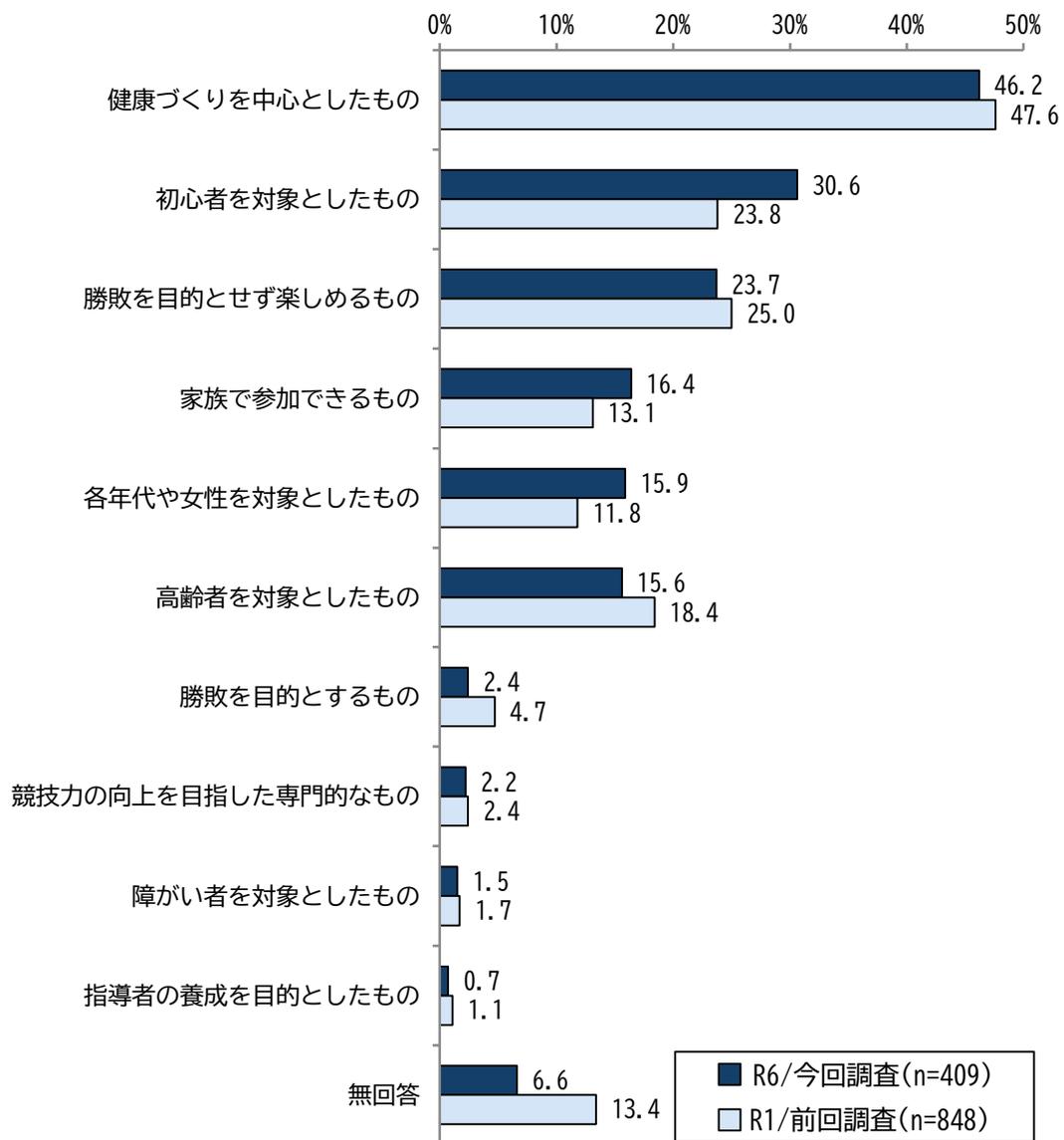


問12で「ない」を選んだ方のみ

問14 今後、参加してみたいスポーツイベントは何ですか。【2つまで選択可】

今後参加してみたいスポーツイベントについては、「健康づくりを中心としたもの」が46.2%で最も高く、次いで「初心者を対象としたもの」(30.6%)、「勝敗を目的とせず楽しめるもの」(23.7%)となっています。前回調査と比較すると、「初心者を対象としたもの」が6.8ポイント増加しています。

図表 15 今後参加してみたいスポーツイベント（全体、前回比較／複数回答）

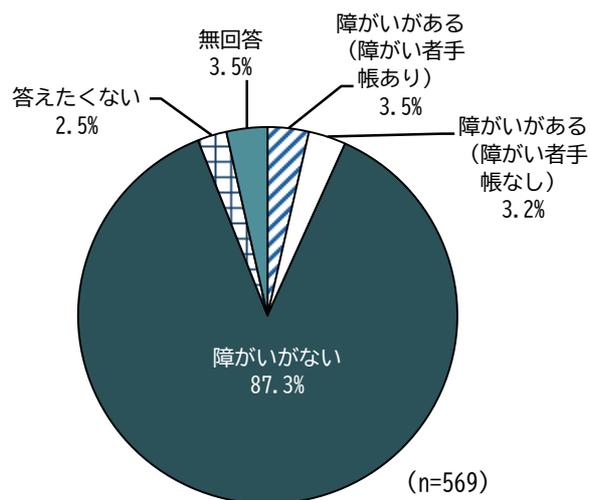


4 障がい者スポーツについて

問15 あなたの体の状況についてお聞きします。あなたは障がいがありますか。【1つを選択】

障がいの有無についてみると、「障がいがない」人は 87.3%、手帳の有無にかかわらず、障がいがある人は 6.7%となっています。

図表 16 障がいの有無（全体）

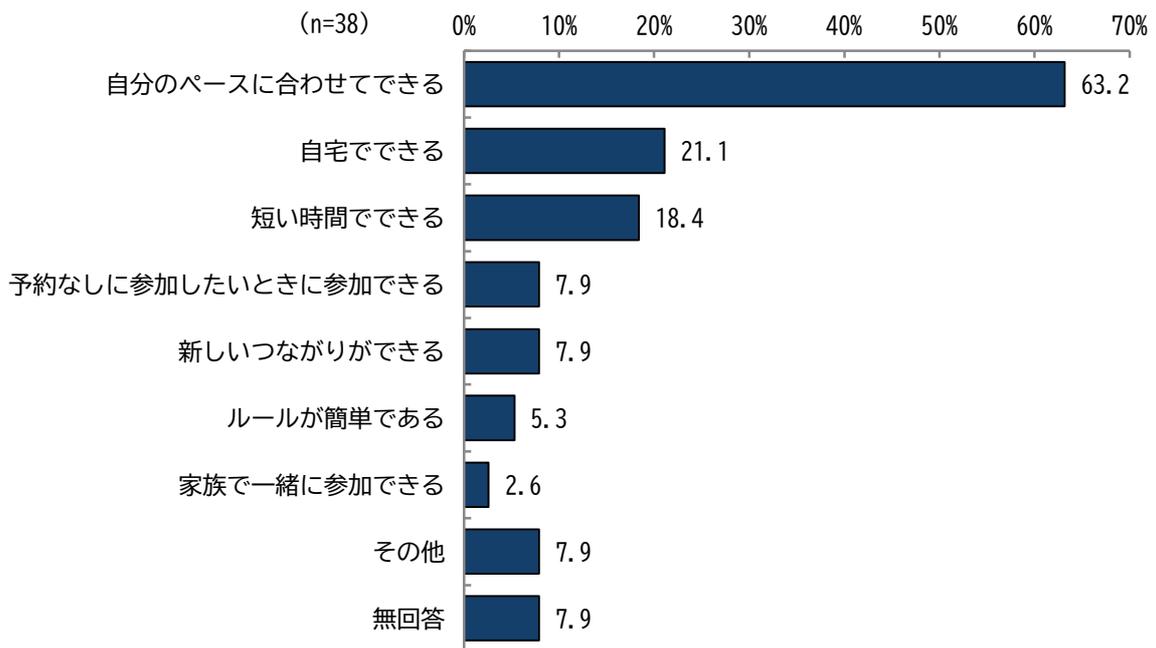


問15で「障がいがある」を選んだ方のみ

問16 運動・スポーツを行う場合に重視することは何ですか。【2つまで選択可】

障がい者の方が運動・スポーツをする場合に重視することについては、「自分のペースに合わせてできる」が63.2%で最も高く、その割合は突出しています。次いで「自宅でできる」(21.1%)、「短い時間でできる」(18.4%)となっています。

図表 17 障がい者の方が運動・スポーツをする場合に重視すること（全体／複数回答）

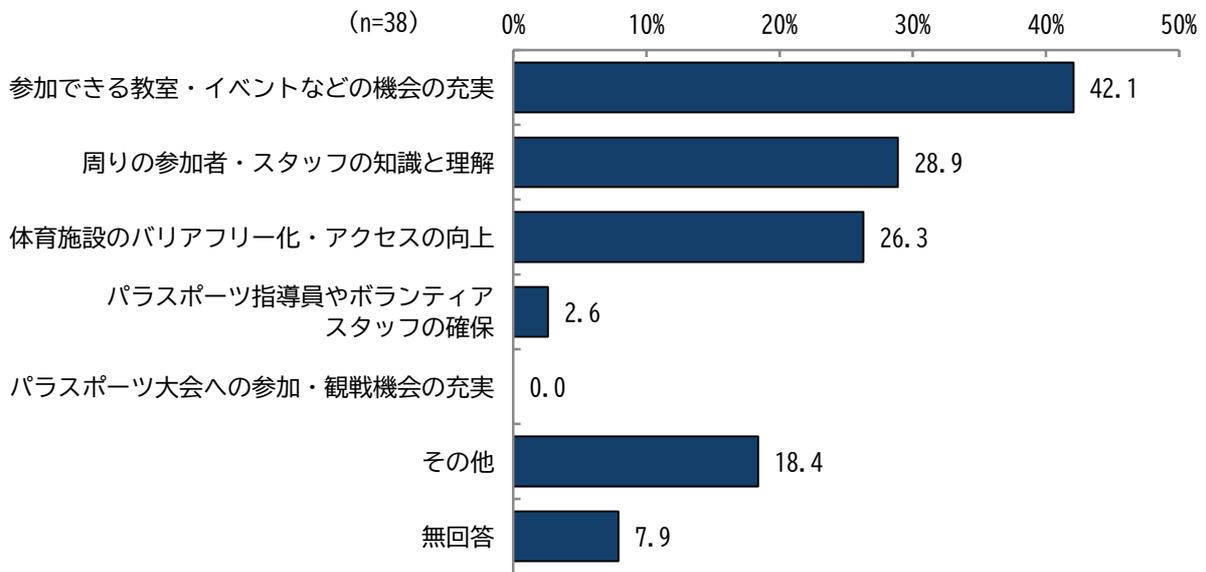


問15で「障がいがある」を選んだ方のみ

問17 障がいの方が運動・スポーツを実施しやすい環境をつくるためにどのような取組が必要だと思いますか。【2つまで選択可】

障がいの方が、運動・スポーツをするために必要な取組については、「参加できる教室・イベントなどの機会の充実」が42.1%で最も高く、次いで「周りの参加者・スタッフの知識と理解」(28.9%)、「体育施設のバリアフリー化・アクセスの向上」(26.3%)となっています。

図表 18 障がいの方が運動・スポーツをするために必要な取組（全体／複数回答）

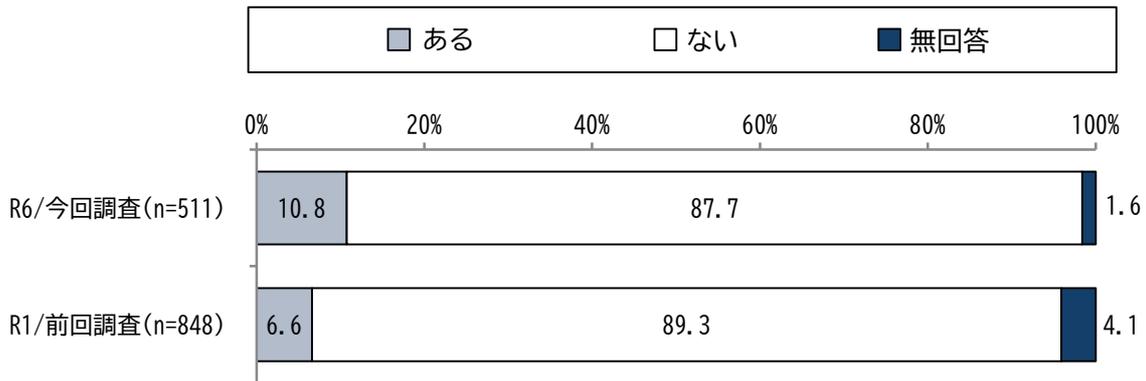


問15で「障がいがない」「答えたくない」を選んだ方のみ

問18 これまで、三豊市内で障がいのある方々がスポーツをしている場面を見かけたり、または、かかわったりしたことはありますか。【1つを選択】

障がい者スポーツにかかわった経験については、「ある」が10.8%、「ない」が87.7%となっています。前回調査と比較すると、「ある」が4.2ポイント増加しています。

図表 19 障がい者スポーツにかかわった経験（全体、前回比較）



問15で「障がいがない」「答えたくない」を選んだ方のみ

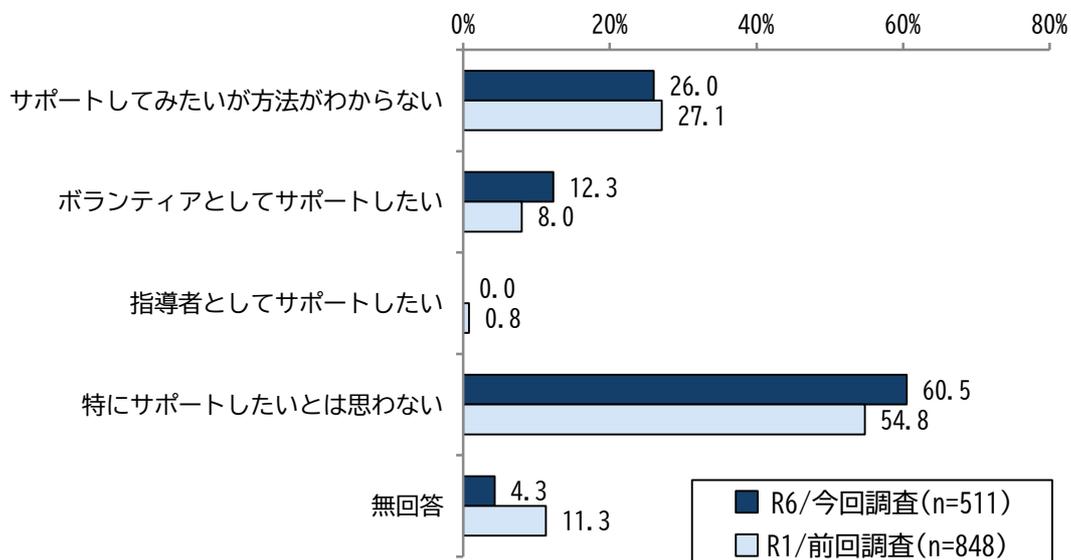
問19 障がいのある方々のスポーツをサポート（指導者やボランティアとして）したいと思いませんか。【あてはまるものすべてを選択】

障がい者スポーツをサポートしたいと思うかについては、「特にサポートしたいとは思わない」が6割以上を占めています。

一方、「サポートしてみたいが方法がわからない」は26.0%、「ボランティアとしてサポートしたい」は12.3%となっています。

前回調査と比較すると、「特にサポートしたいとは思わない」が5.7ポイント増加しています。

図表 20 障がい者スポーツをサポートしたいと思うか（全体、前回比較／複数回答）



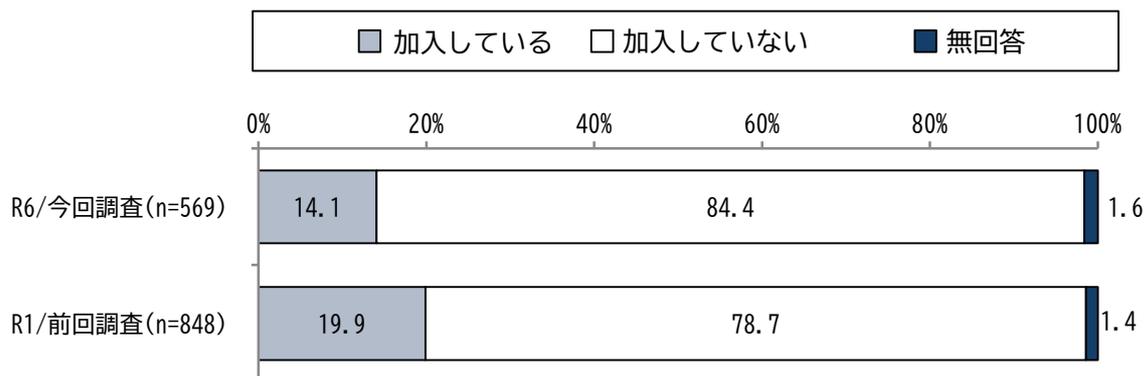
5 各種スポーツ団体について

問20 スポーツ協会（旧体育協会）や同好会、スポーツクラブなどに加入していますか。【1つを選択】

スポーツ協会等の加入状況については、「加入している」が14.1%、「加入していない」が84.4%となっています。

前回調査と比較すると、「加入している」が5.8ポイント減少しています。

図表 21 スポーツ協会等の加入状況（全体、前回比較）



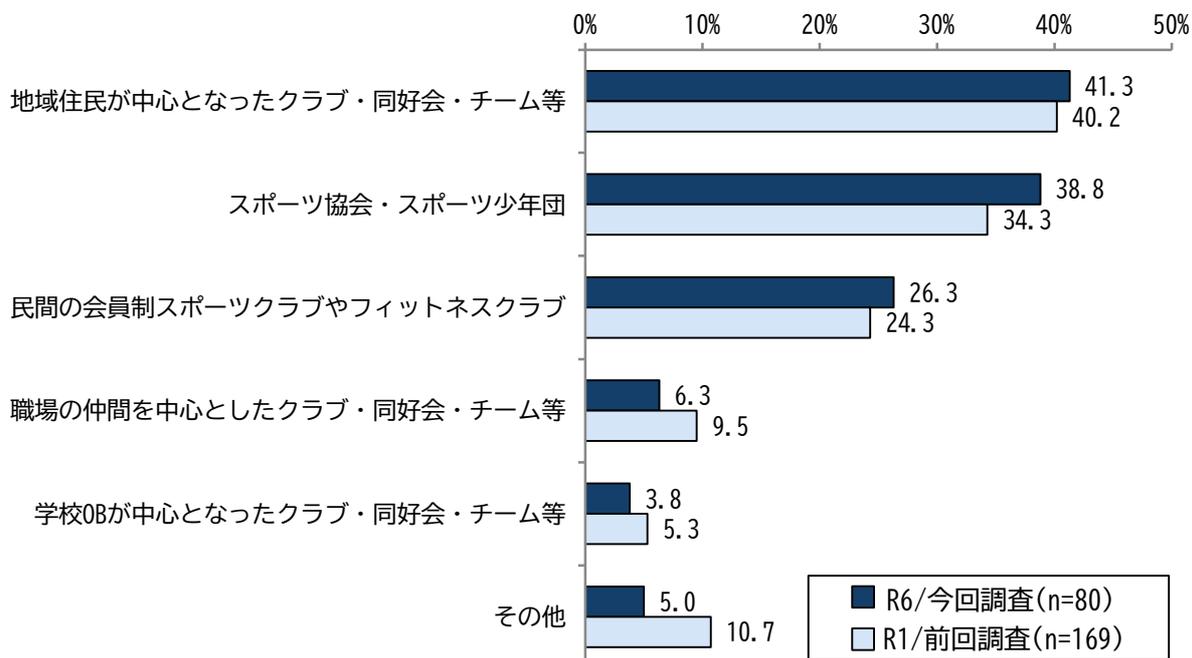
問20で「加入している」を選んだ方のみ

問21 どのような団体に加入していますか。【あてはまるものすべてを選択】

どのような団体に加入しているかについて、「地域住民が中心となったクラブ・同好会・チーム等」が41.3%で最も高く、次いで「スポーツ協会・スポーツ少年団」(38.8%)、「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」(26.3%)となっています。

前回調査と比較すると、「スポーツ協会・スポーツ少年団」が4.5ポイント増加しています。

図表 22 どのような団体に加入しているか（全体、前回比較/複数回答）



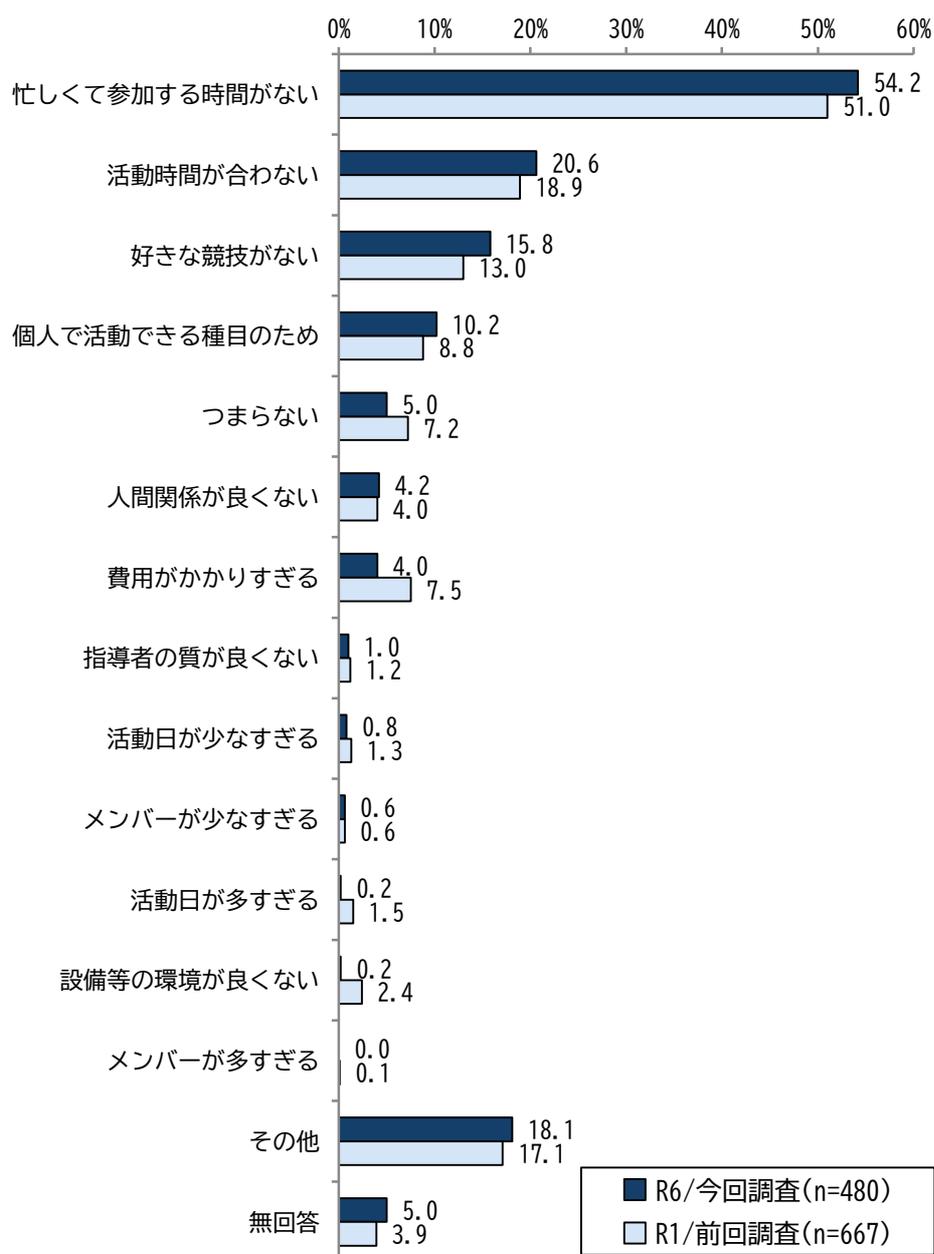
問20で「加入していない」を選んだ方のみ

問22 加入していない理由は何ですか。【3つまで選択可】

スポーツ関係の団体に加入していない理由については、「忙しくて参加する時間がない」が54.2%で最も高く、次いで「活動時間が合わない」(20.6%)、「好きな競技がない」(15.8%)となっています。

前回調査と比較すると、「費用がかかりすぎる」が3.5ポイント減少しています。

図表 23 加入していない理由（全体、前回比較／複数回答）



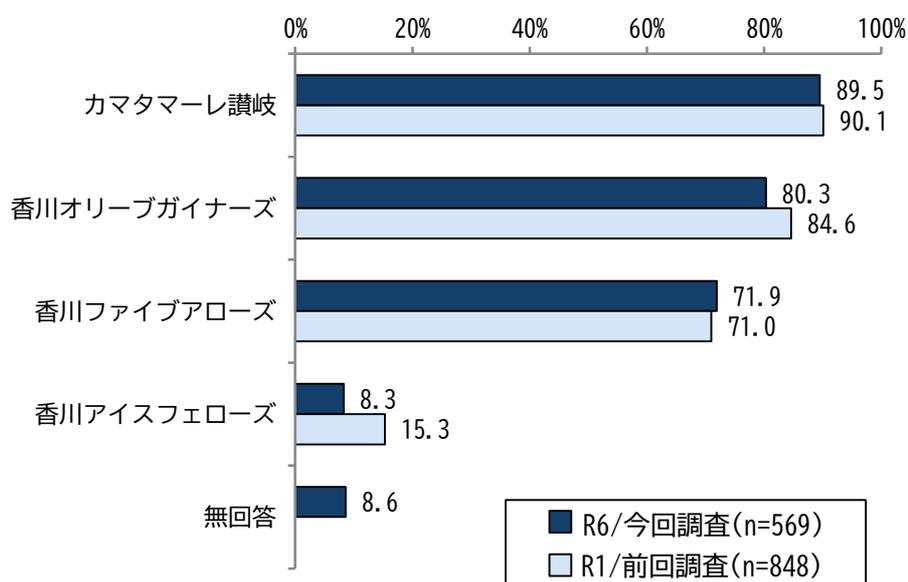
6 地域密着型トップスポーツチームについて

問23 香川県を本拠地として活動している次の4つのトップスポーツチームについて、知っているチームをすべて選択してください。【あてはまるものすべてを選択】

地域密着型スポーツチームの認知度は、「カマタマーレ讃岐」が89.5%で最も高く、次いで「香川オリーブガイナース」(80.3%)、「香川ファイブアローズ」(71.9%)となっています。

前回調査と比較すると、「香川アイスフェローズ」が7.0ポイント減少し、1割未満の認知度となっています。

図表 24 地域密着型スポーツチームの認知度（全体、前回比較／複数回答）



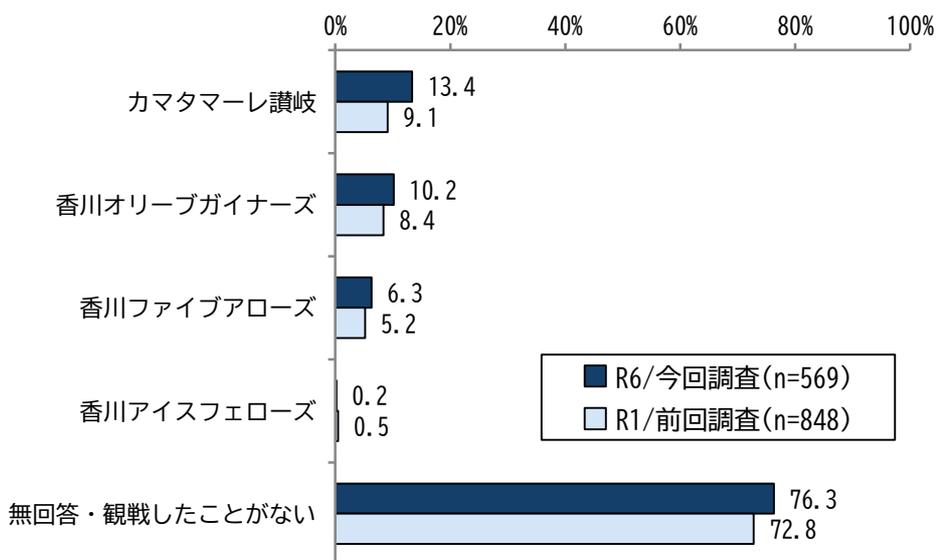
※前回調査での各チーム「知っている」の割合と比較

問24 香川県を本拠地として活動している次の4つのトップスポーツチームについて、直接試合観戦したことがあるチームをすべて選択してください。【あてはまるものすべてを選択】

地域密着型スポーツチームの試合観戦の状況については、「カマタマーレ讃岐」が13.4%、「香川オリーブガイナース」が10.2%、「香川ファイブアローズ」が6.3%となっています。

前回調査と比較すると、「カマタマーレ讃岐」が4.3ポイント増加しています。

図表 25 地域密着型スポーツチームの試合観戦の状況（全体、前回比較／複数回答）



※前回調査での各チーム「直接観戦したことがある」の割合と比較

1回も試合を観たことがない方のみ

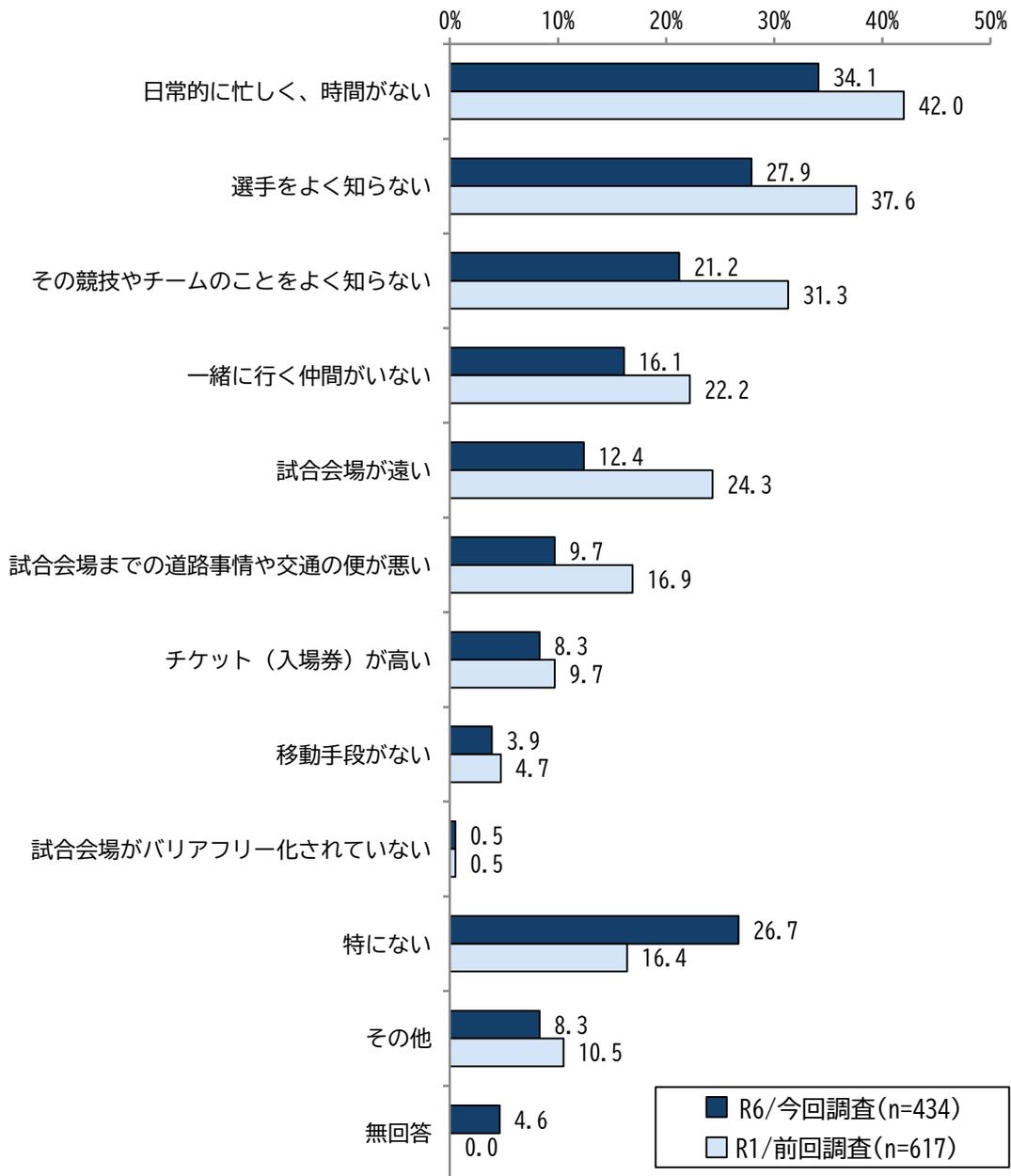
問25 直接試合観戦したことがない理由は何ですか。【あてはまるものすべてを選択】

試合を観戦したことがない理由については、「日常的に忙しく、時間がない」が34.1%で最も高く、次いで「選手をよく知らない」(27.9%)、「その競技やチームのことをよく知らない」(21.2%)となっています。

前回調査と比較すると、「試合会場が遠い」が11.9ポイント減少しています。

一方で、「特にない」は10.3ポイント増加しています。

図表 26 直接試合を観戦したことがない理由（全体、前回比較／複数回答）

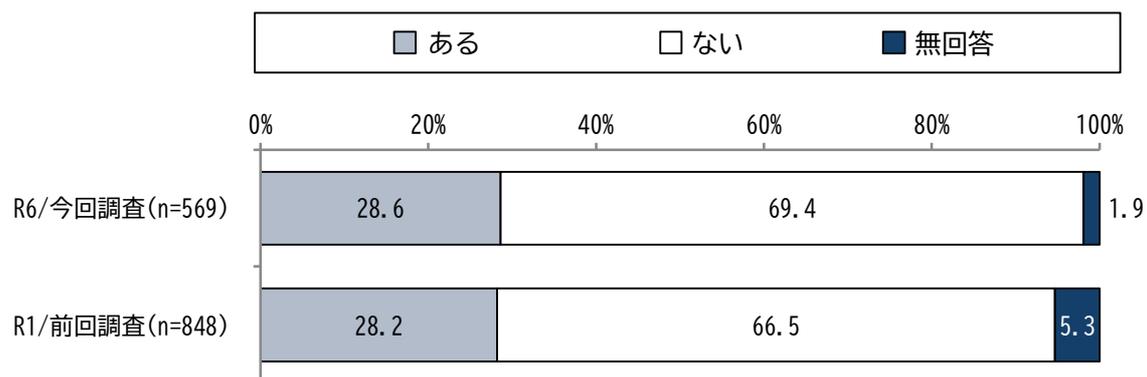


7 三豊市のスポーツ施設について

問26 あなたは、この1年間に、三豊市にある公共スポーツ施設を利用したことがありますか。【1つを選択】

三豊市の公共スポーツ施設の利用の有無については、「ある」が28.6%、「ない」が69.4%となっています。前回調査と比較すると、「ない」が2.9ポイント増加しています。

図表 27 三豊市の公共スポーツ施設の利用の有無（全体、前回比較）



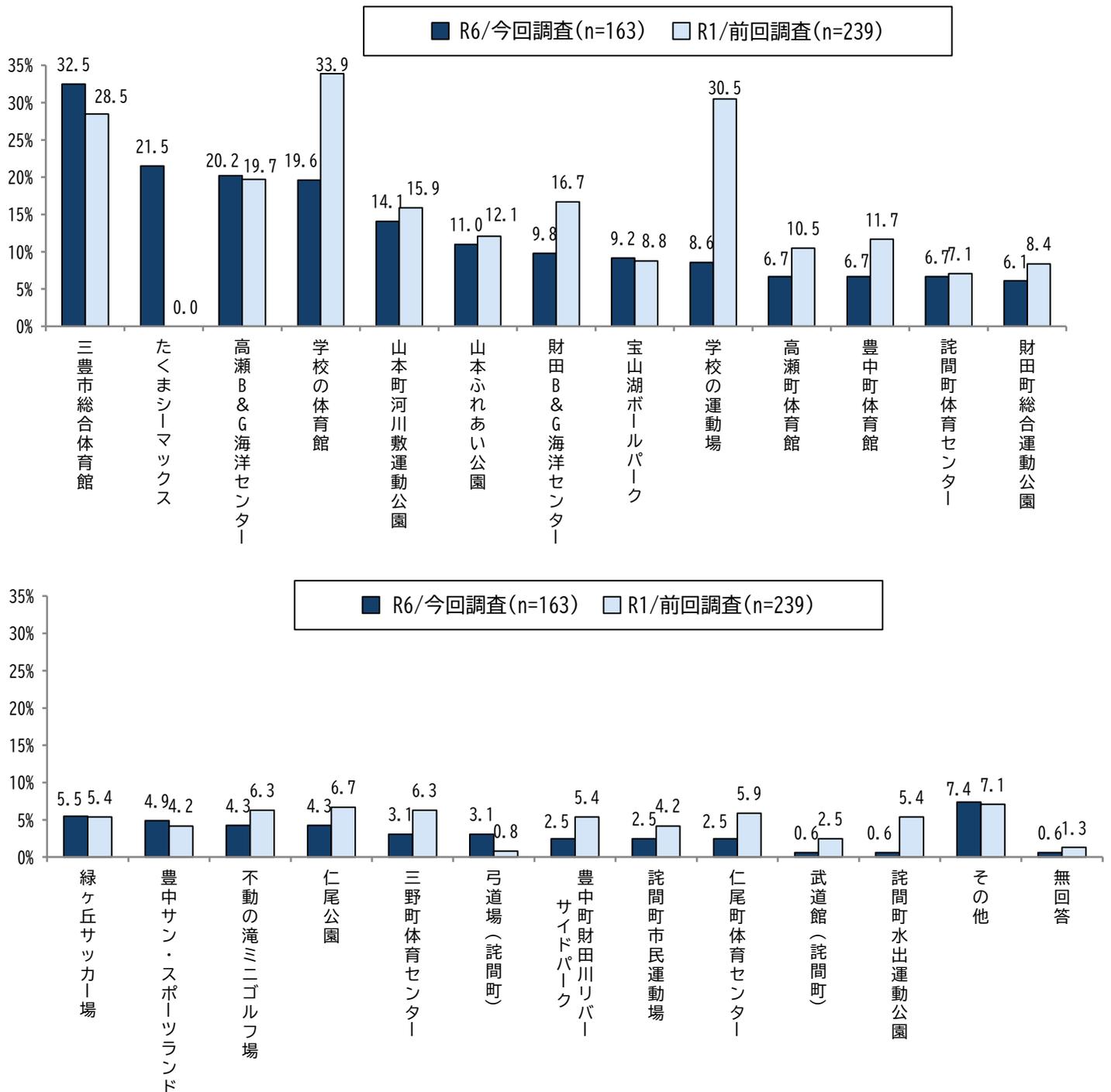
問26で「ある」と回答した方のみ

問27 主に利用しているのは、どの施設ですか。【あてはまるものすべてを選択】

主に利用している三豊市のスポーツ施設については、「三豊市総合体育館」が32.5%で最も高く、次いで「たくまシーマックス」(21.5%)、「高瀬B&G海洋センター」(20.2%)となっています。

前回調査と比較すると、「学校の体育館」「学校の運動場」など学校関係の施設の減少が目立っています。

図表 28 主に利用している三豊市のスポーツ施設（全体、前回比較/複数回答）



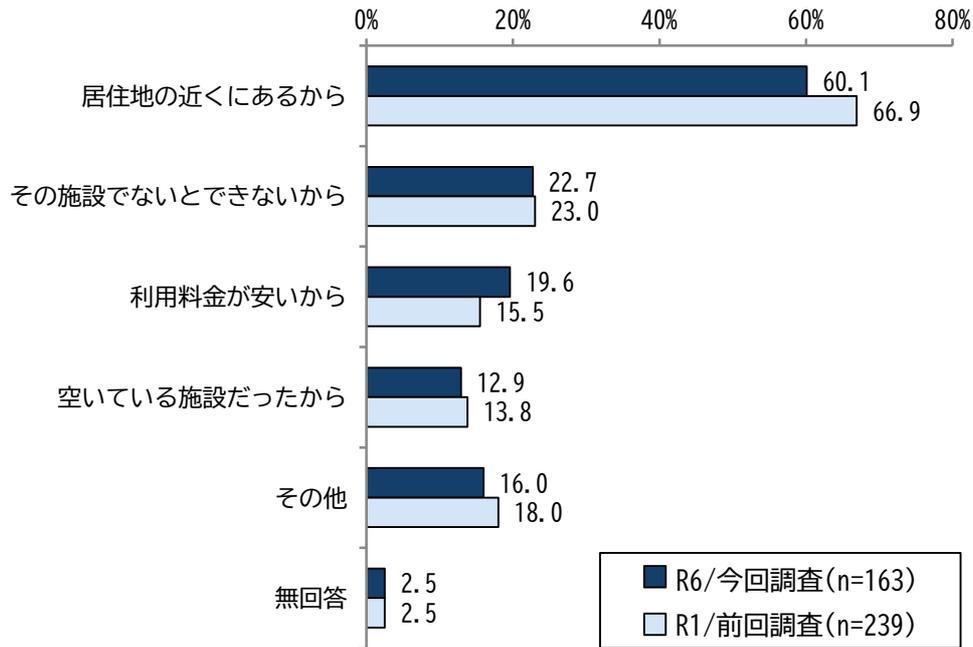
問26で「ある」と回答した方のみ

問28 主に利用している施設の利用理由は何ですか。【あてはまるものすべてを選択】

主に利用している施設の利用理由については、「居住地の近くにあるから」が60.1%で最も高く、次いで「その施設でないとできないから」(22.7%)、「利用料金が安いから」(19.6%)となっています。

前回調査と比較すると、「居住地の近くにあるから」が6.8ポイント減少しています。

図表 29 主に利用している施設の利用理由（全体、前回比較／複数回答）

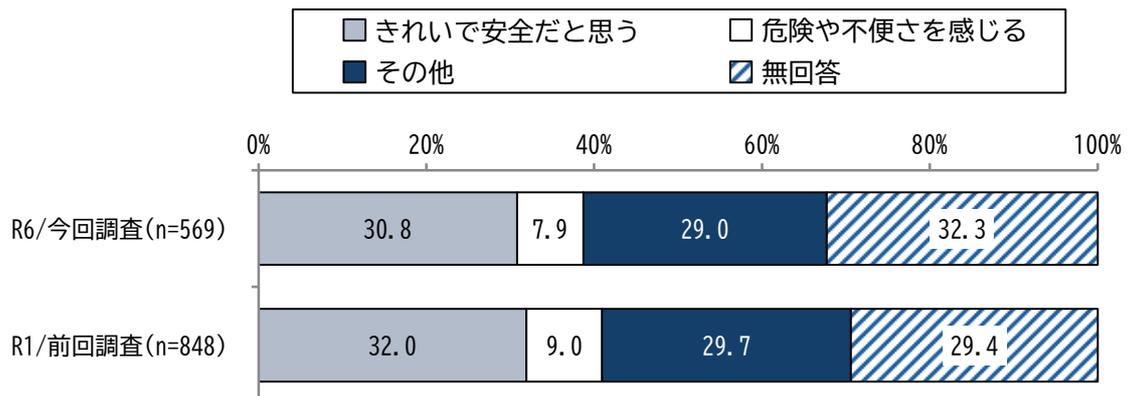


問29 三豊市では、スポーツ施設の改修・修繕等を行っていますが、身近な体育施設の状況についてどう思われますか。【1つを選択】

身近な体育施設の状況については、「きれいで安全だと思う」が30.8%、「危険や不便さを感じる」が7.9%、「その他」が29.0%となっています。

前回調査と比較すると、「きれいで安全だと思う」が1.2ポイント減少しています。

図表 30 身近な体育施設の状況について（全体、前回比較）



「きれいで安全だと思う」具体的な施設名については、「三豊市総合体育館」が39件と最も多く、次いで「たくまシーマックス・マリンウェーブ」が31件となっており、これらの施設が突出しています。

また、「危険や不便を感じる」具体的な施設名については、「たくまシーマックス・マリンウェーブ」が4件となっています。

一方、その他の内容については、「あまり利用しないのでわからない・知らない」が80件と大半を占めています。また、施設は特定されていませんが、「老朽化が目立つ」などの意見もみられました。

図表 31 身近な体育施設の状況について（記述）

「きれいで安全だと思う」具体的な施設名	件数
三豊市総合体育館	39
たくまシーマックス・マリンウェーブ	31
高瀬B&G海洋センター	8
宝山湖ボールパーク	7
仁尾公園	5
高瀬町体育館	4
豊中サン・スポーツランド	4
緑が丘サッカー場	3
山本ふれあい公園	3
山本河川敷公園	3
財田B&G海洋センター	2
高瀬駅前バスケットゴール	1
三野津中学校	1
三野町公民館吉津分館	1
三野町体育センター	1
仁尾町体育センター	1
福祉ふれあい広場 しおがま	1
豊中中学校武道場	1
豊中町トレーニングセンター	1
不動の滝	1
笠田小学校体育館	1
山本小学校体育館	1
詫間町体育センター	1

「危険や不便を感じる」具体的な施設名	件数
たくまシーマックス・マリンウェーブ	4
仁尾公園	2
詫間町体育センター	2
豊中サン・スポーツランド	2
豊中町トレーニングセンター	2
三野町体育センター	2
三豊市総合体育館	1
高瀬B&G海洋センター	1
武道館（詫間町）	1
宝山湖ボールパーク	1
山本ふれあい公園	1
財田B&G海洋センター	1
三豊中学校体育館	1
松崎小学校体育館	1
仲南小学校体育館	1

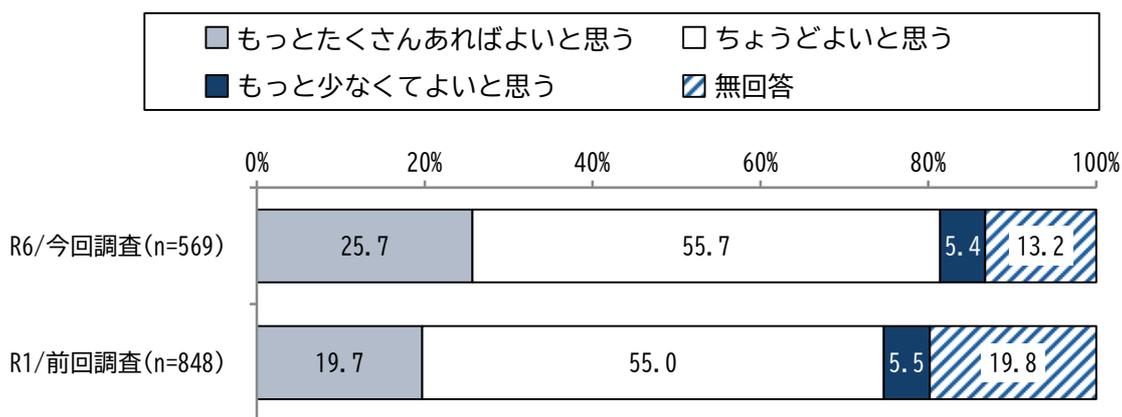
具体的な施設名：その他	件数
宝山湖ボールパーク：草刈り必要	1
たくまシーマックス：利用料が高い	1
高瀬町体育館：冷房が必要	1
その他のみ	件数
あまり利用しないのでわからない・知らない	80
老朽化が目立つ	2
エアコンがないので暑い	1
トイレが汚い	1
バリアフリー化	1
床がきれい、清潔感がほしい	1
屋内プールが無いので不便	1
テニスコートが平らでない	1
雨が降ってもできる場所希望	1
アクセスが悪く不便	1
季節の花などを増やす	1

問30 体育館、グラウンド、テニスコートなど、身近な体育施設の数についてどう思いますか。
【1つを選択】

身近な体育施設の数については、「ちょうどよいと思う」が55.7%で最も高く、次いで「もっとたくさんあればよいと思う」(25.7%)、「もっと少なくてよいと思う」(5.4%)となっています。

前回調査と比較すると、「もっとたくさんあればよいと思う」が6.0ポイント増加しています。

図表 32 身近な体育施設の数について（全体、前回比較）



問31 あなたは、公共スポーツ施設を利用するうえで、特に希望することはありますか。

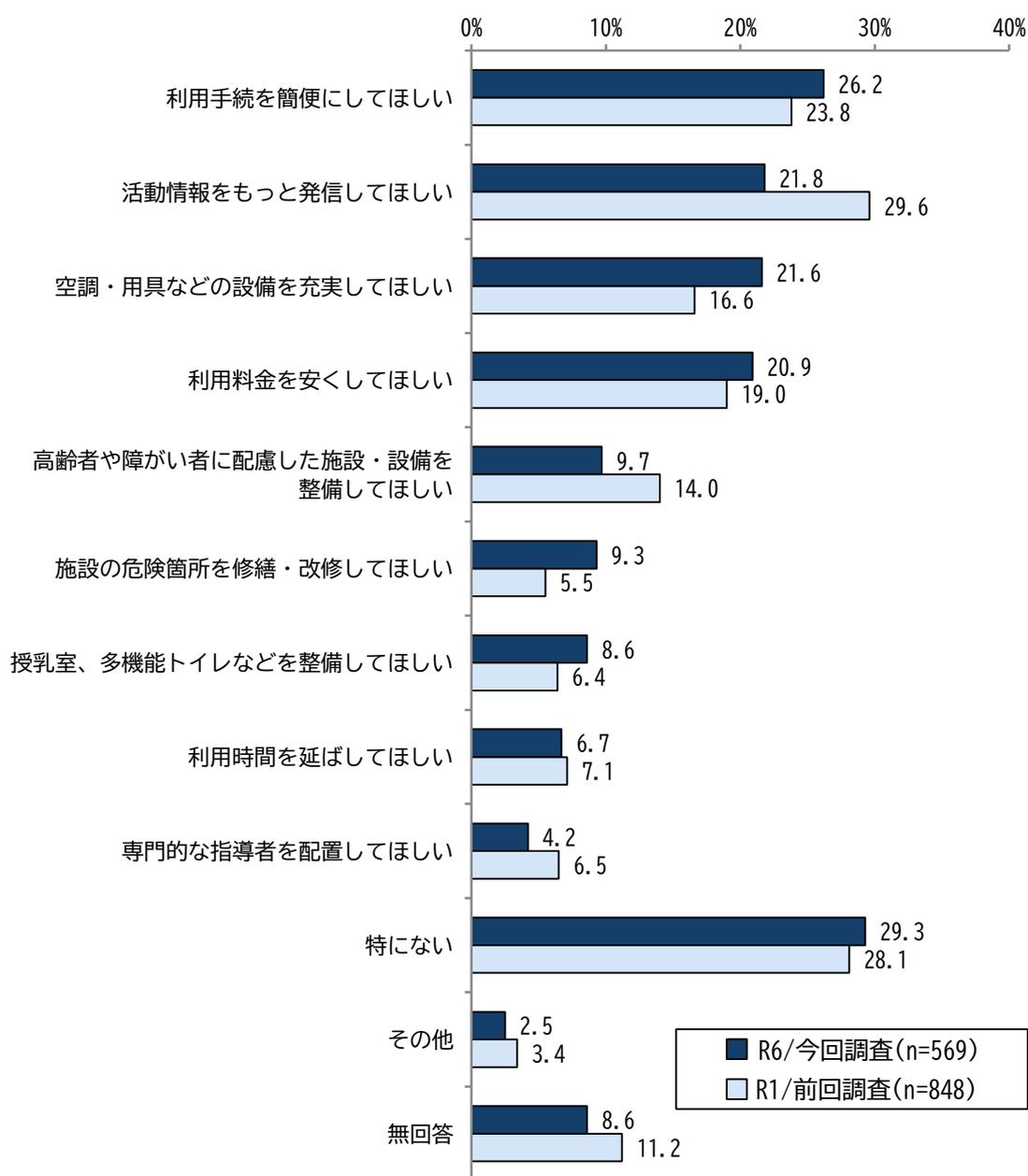
【あてはまるものすべてを選択】

公共スポーツ施設を利用するうえで希望することについては、「利用手続きを簡便にしてほしい」が26.2%、「活動情報をもっと発信してほしい」が21.8%、「空調・用具などの設備を充実してほしい」が21.6%などとなっています。

一方、「特にない」は29.3%となっています。

前回調査と比較すると、「活動情報をもっと発信してほしい」が7.8ポイント減少しています。

図表 33 公共スポーツ施設を利用するうえで希望すること（全体、前回比較／複数回答）

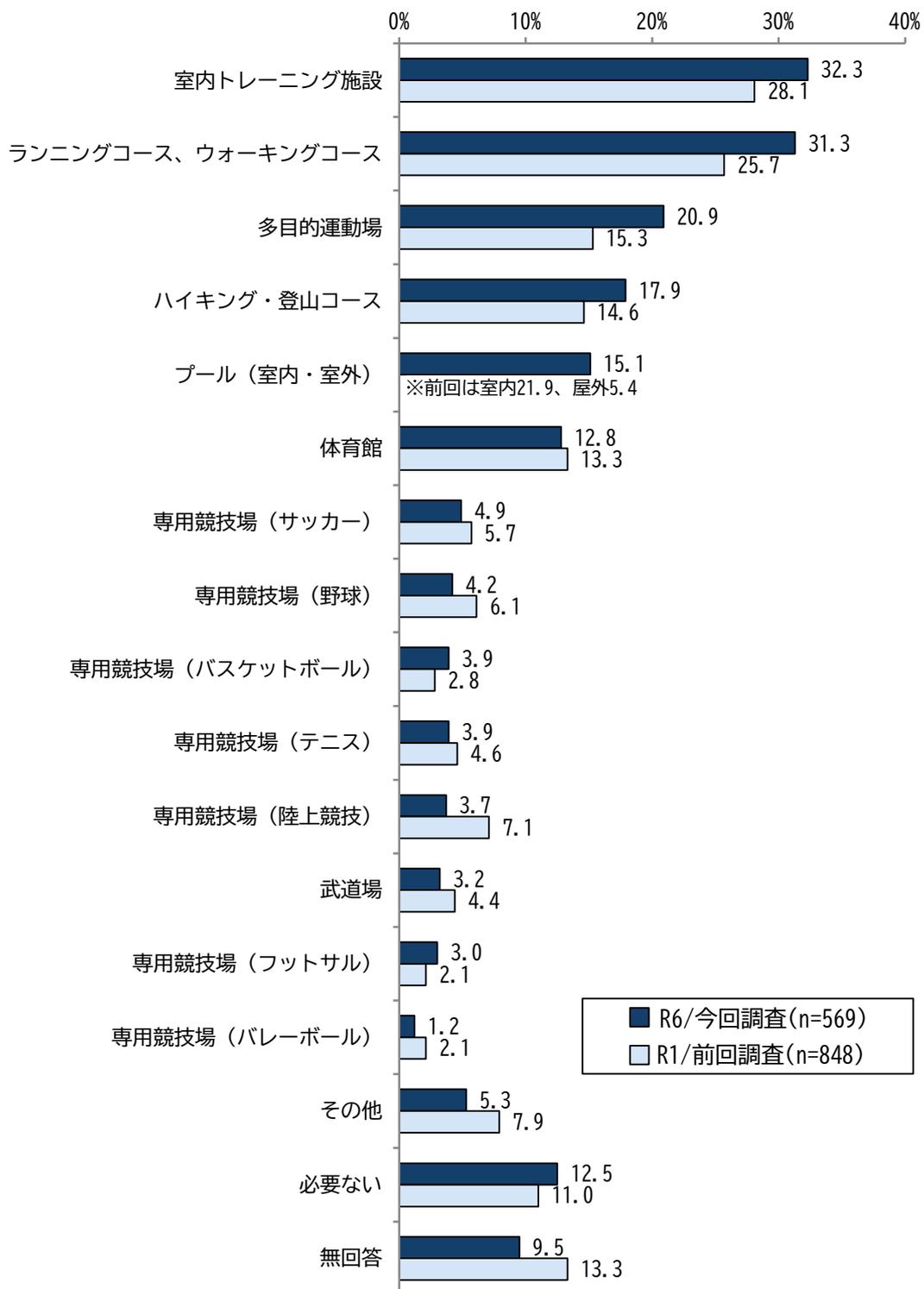


問32 今後、三豊市において、どのような公共スポーツ施設を整備・充実させていくことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてを選択】

整備・充実する必要がある公共スポーツ施設については、「室内トレーニング施設」が32.3%で最も高く、次いで「ランニングコース、ウォーキングコース」(31.3%)、「多目的運動場」(20.9%)となっています。

前回調査と比較すると、「ランニングコース、ウォーキングコース」「多目的運動場」がともに5.6ポイント増加しています。

図表 34 整備・充実する必要がある公共スポーツ施設（全体、前回比較／複数回答）



問33 あなたは、公共スポーツ施設の老朽化や人口減少が進む中で、施設の統廃合を検討することについてどう思いますか。【1つを選択】

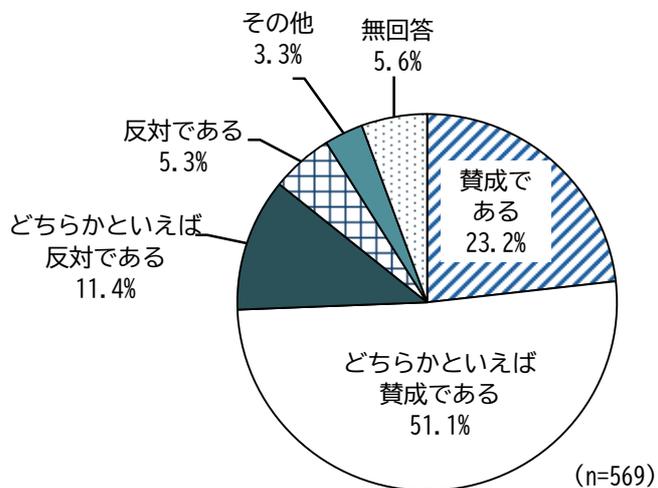
公共スポーツ施設の統廃合については、「どちらかといえば賛成である」が51.1%で最も高く、「賛成である」(23.2%)を合計すると、74.3%が『賛成』となっています。

一方、「どちらかといえば反対である」(11.4%)と「反対である」(5.3%)を合計した『反対』は16.7%となっています。

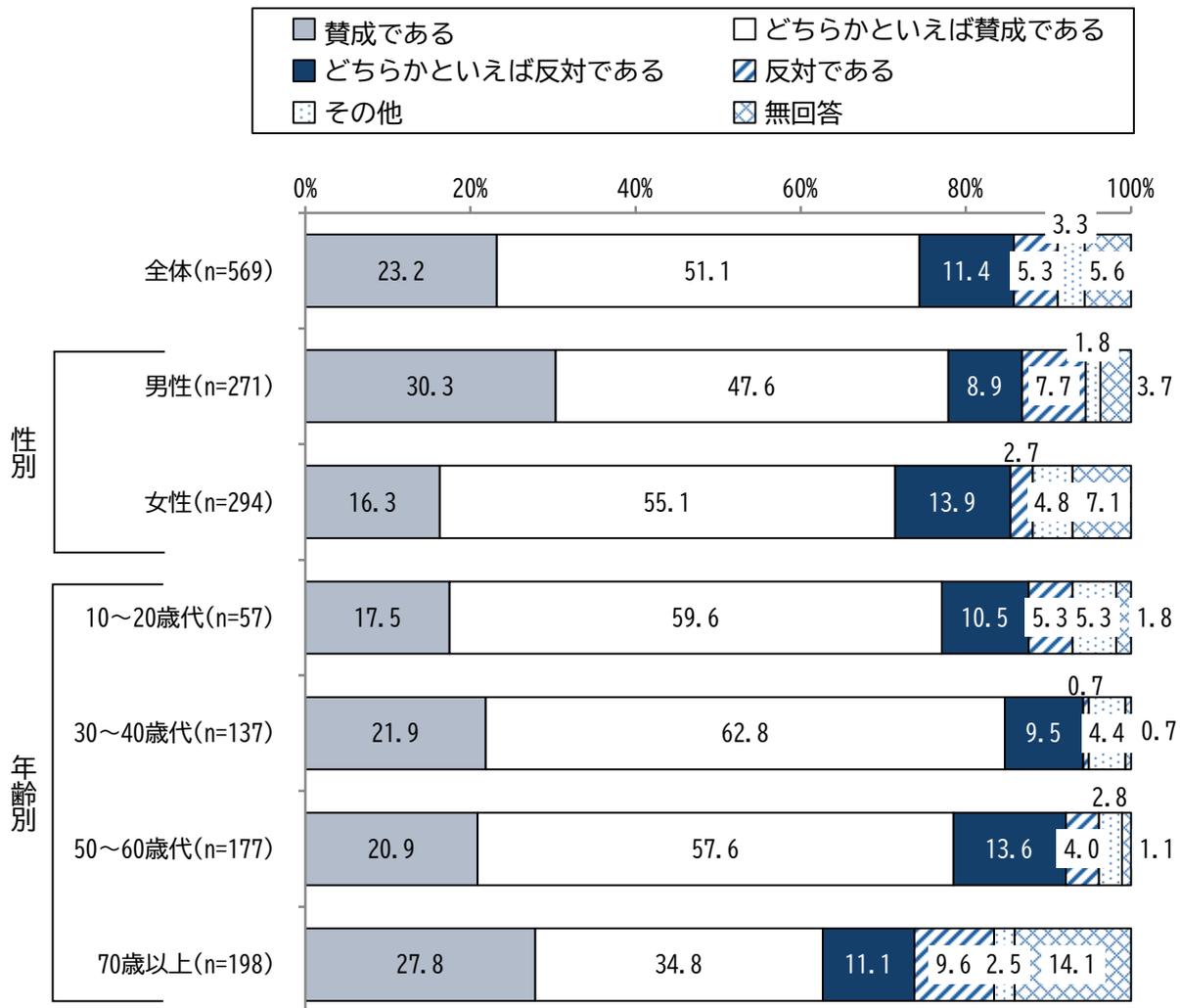
性別にみると、『賛成』の割合は、男性が女性を上回っています。

年齢別にみると、『賛成』の割合は、30～40歳代で最も高く、8割以上を占めています。

図表 35 公共スポーツ施設の統廃合について（全体）



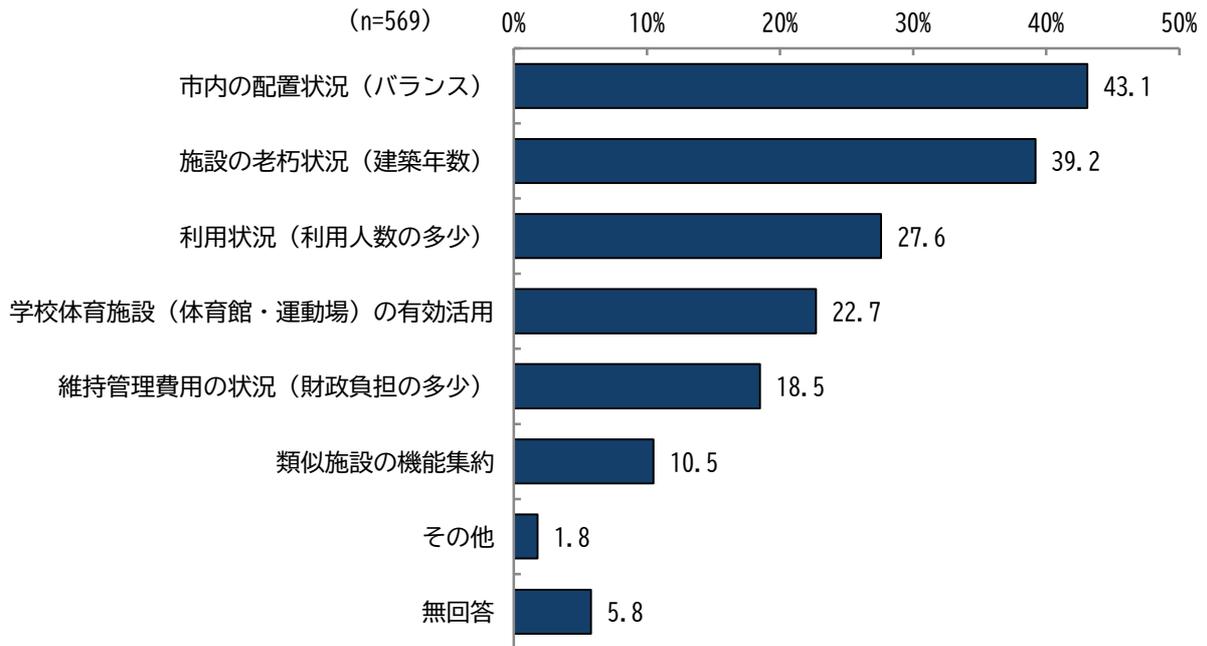
図表 36 公共スポーツ施設の統廃合について（全体、性別、年齢別、居住地区別）



問34 公共スポーツ施設の統廃合を進める場合に重要なことは何ですか。【2つまで選択可】

公共スポーツ施設の統廃合を進める場合に重要なことについては、「市内の配置状況（バランス）」が43.1%で最も高く、次いで「施設の老朽状況（建築年数）」（39.2%）、「利用状況（利用人数の多少）」（27.6%）となっています。

図表 37 公共スポーツ施設の統廃合を進める場合に重要なこと（全体／複数回答）

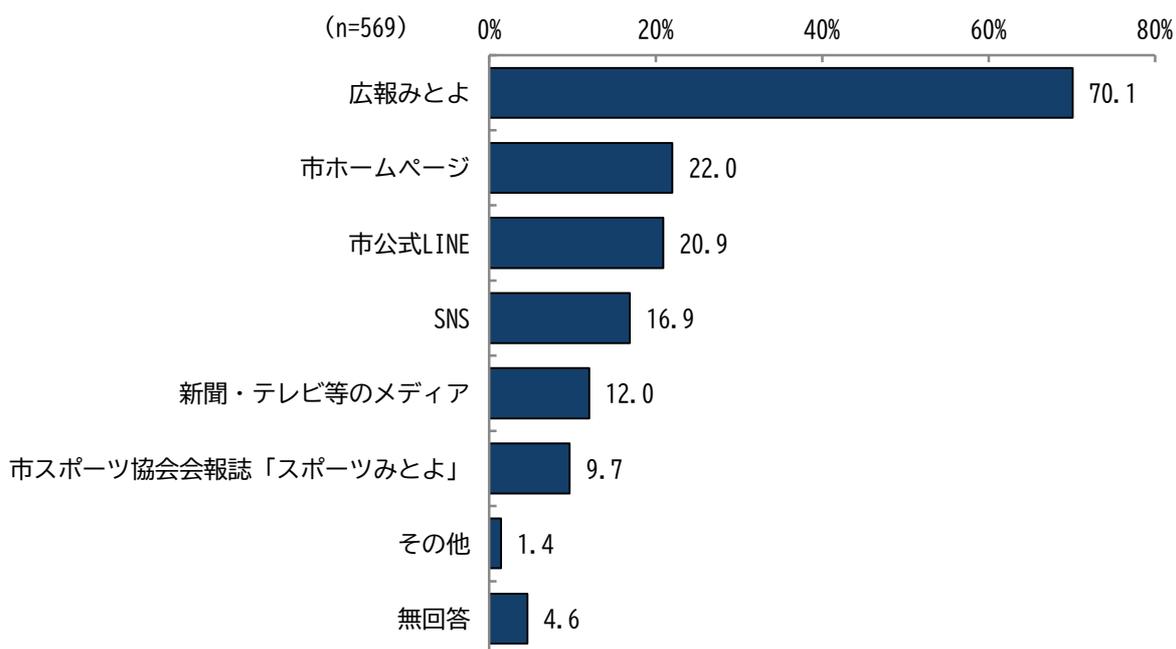


8 三豊市のスポーツ行政について

問35 三豊市のスポーツに関する情報について、どのような方法での情報発信を希望しますか。
【2つまで選択可】

希望するスポーツに関する情報の発信方法については、「広報みとよ」が70.1%で最も高く、次いで「市ホームページ」(22.0%)、「市公式LINE」(20.9%)となっています。

図表 38 希望するスポーツに関する情報の発信方法（全体／複数回答）

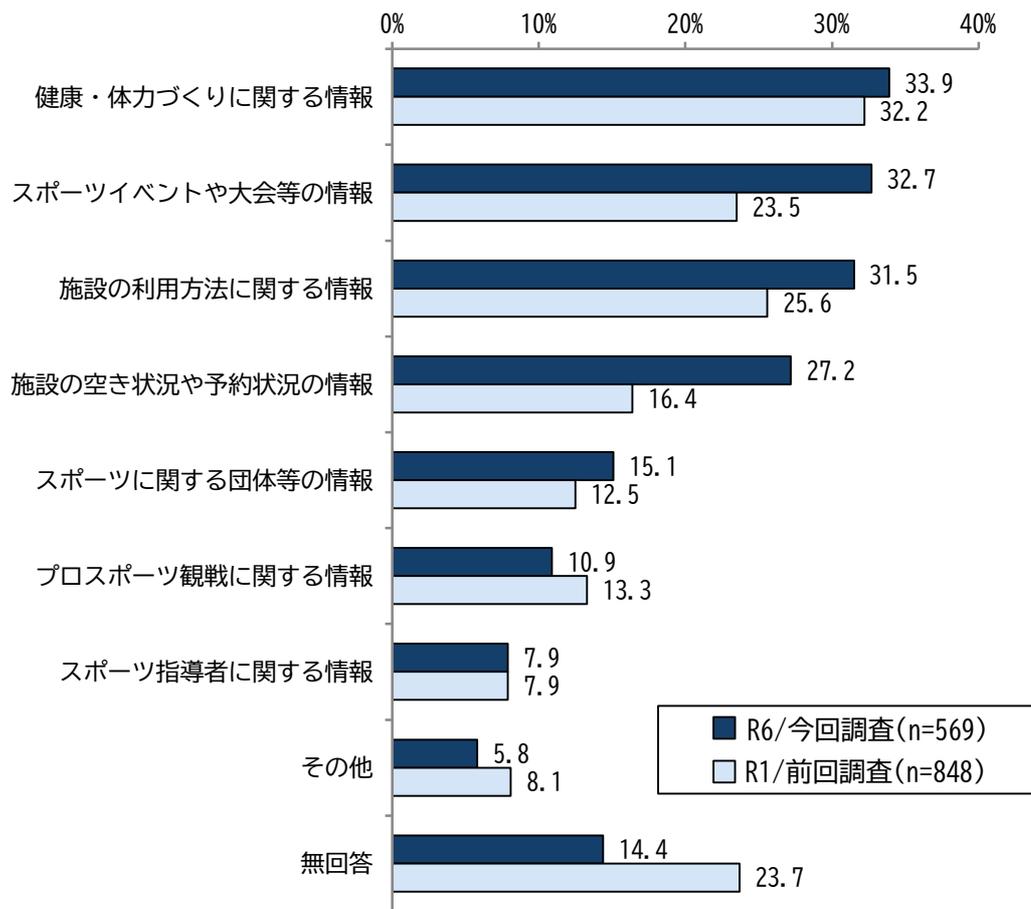


問36 三豊市のスポーツに関する情報で不足している情報はありますか。【あてはまるものすべてを選択】

不足しているスポーツ関連の情報については、「健康・体力づくりに関する情報」が33.9%で最も高く、次いで「スポーツイベントや大会等の情報」(32.7%)、「施設の利用方法に関する情報」(31.5%)となっています。

前回調査と比較すると、「施設の空き状況や予約状況の情報」が10.8ポイント増加しています。

図表 39 不足しているスポーツ関連の情報（全体、前回比較／複数回答）

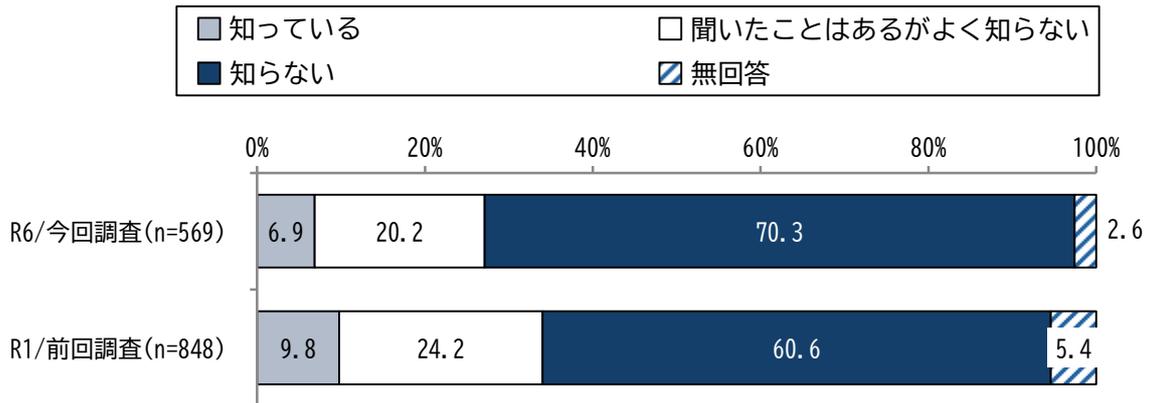


問37 「三豊市スポーツ推進委員」という制度を知っていますか。【1つを選択】

「三豊市スポーツ推進委員」の認知度については、「知らない」が70.3%で最も高く、次いで「聞いたことはあるがよく知らない」(20.2%)、「知っている」(6.9%)となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」が9.7ポイント増加しています。

図表 40 「三豊市スポーツ推進委員」の認知度（全体、前回比較）

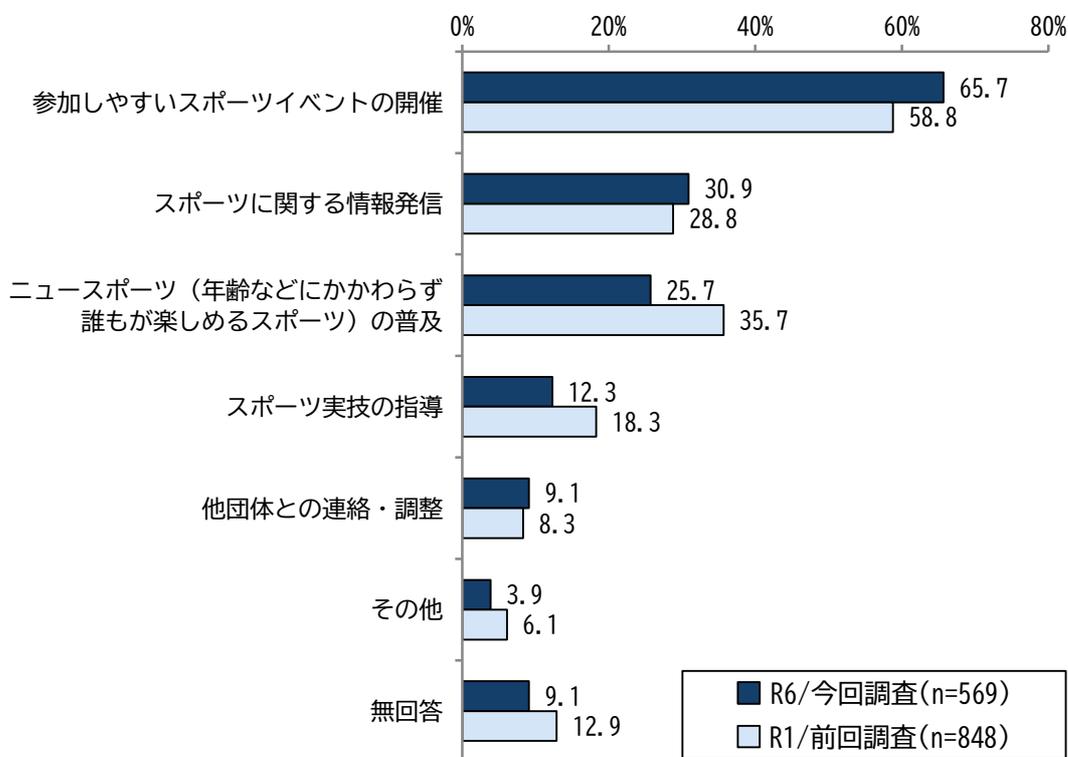


問38 現在、三豊市スポーツ推進委員は39名で、市民のスポーツ振興のため、ウォーキングや体力測定会などを実施しています。あなたは、スポーツ推進委員には、どのような役割が求められていると思いますか。【あてはまるものすべてを選択】

スポーツ推進委員に求められている役割については、「参加しやすいスポーツイベントの開催」が65.7%で最も高く、次いで「スポーツに関する情報発信」(30.9%)、「ニュースポーツ（年齢などにかかわらず誰もが楽しめるスポーツ）の普及」(25.7%)となっています。

前回調査と比較すると、「ニュースポーツ（年齢などにかかわらず誰もが楽しめるスポーツ）の普及」が10.0ポイント減少しています。

図表 41 スポーツ推進委員に求められている役割（全体、前回比較／複数回答）

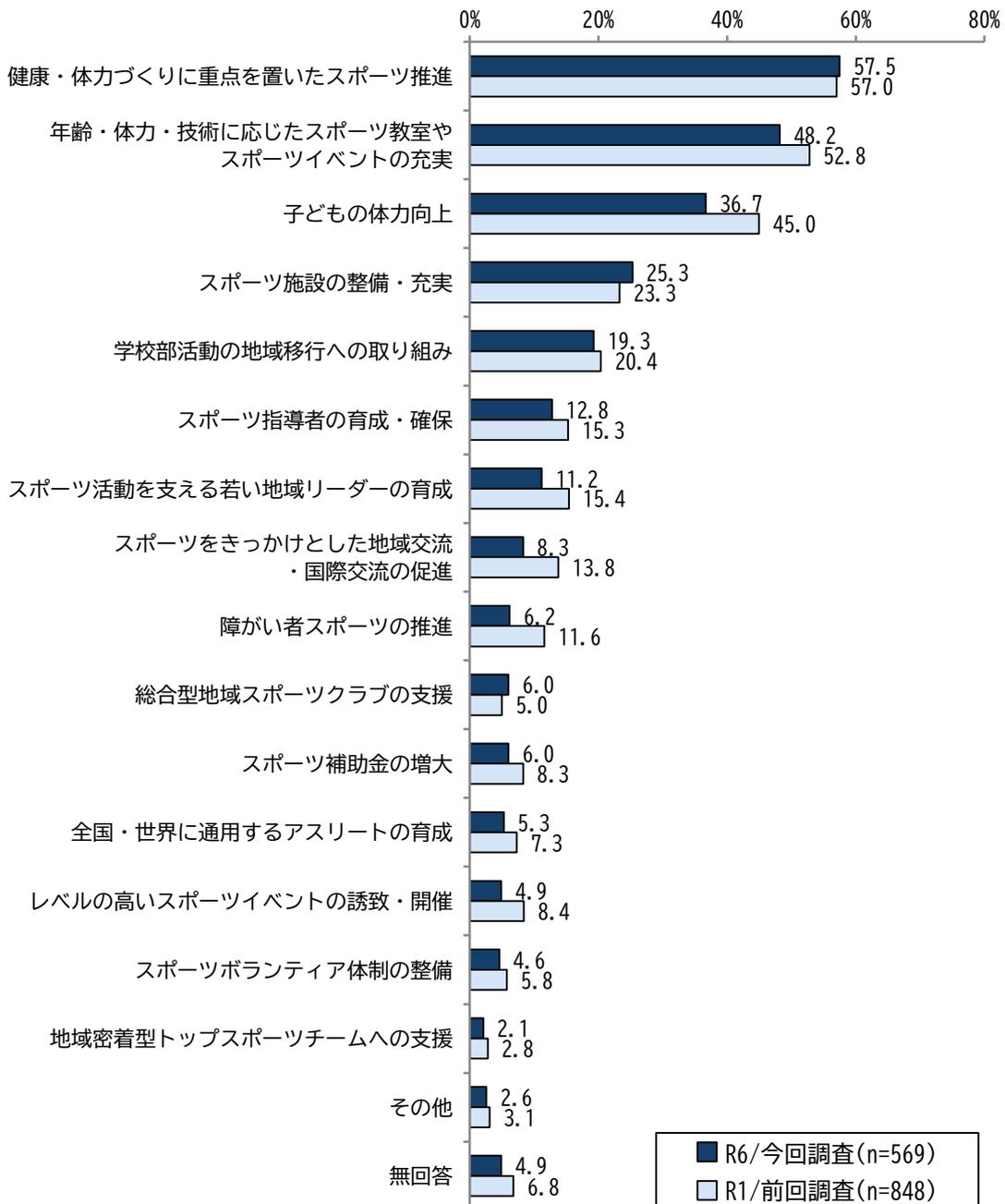


問39 今後の三豊市のスポーツ振興に対し、どのようなことを期待しますか。【5つまで選択可】

三豊市のスポーツ振興に対し期待することについては、「健康・体力づくりに重点を置いたスポーツ推進」が57.5%で最も高く、次いで「年齢・体力・技術に応じたスポーツ教室やスポーツイベントの充実」(48.2%)、「子どもの体力向上」(36.7%)となっています。

前回調査と比較すると、「子どもの体力向上」が8.3ポイント減少しています。

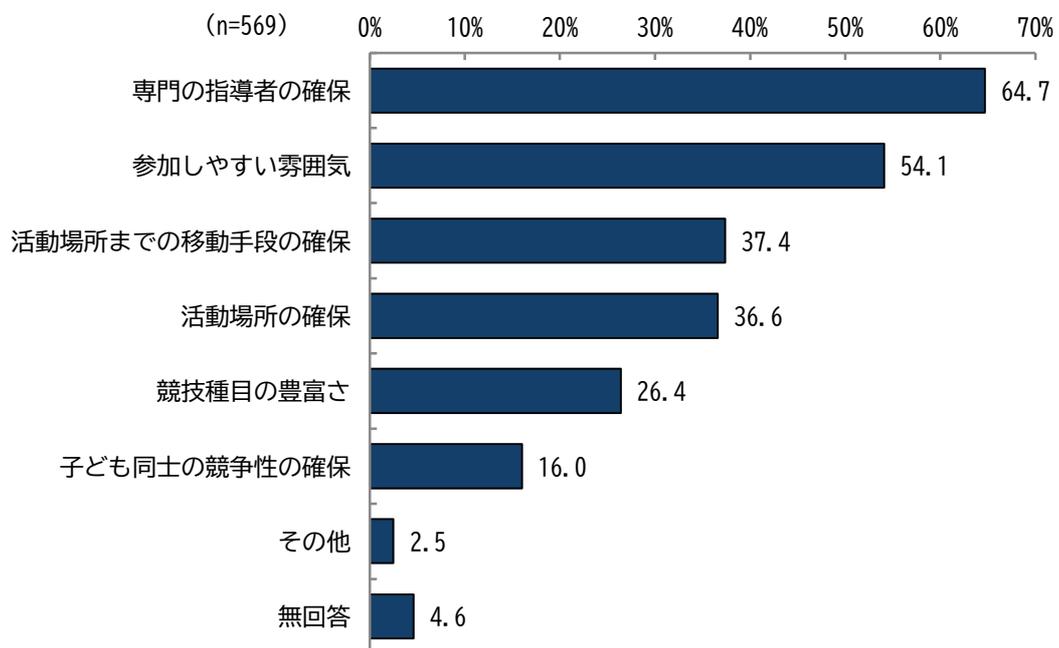
図表 42 三豊市のスポーツ振興に対し期待すること（全体、前回比較／複数回答）



問40 三豊市では現在、中学校部活動の地域移行に向けた取組が進められています。これは、これまでのように学校で部活動の指導を行うのではなく、地域で子どもたちのスポーツ環境を整えていこうという取組です。子どもたちが希望するスポーツを選択でき、専門的な指導を受けられる環境づくりのために必要だと思うことは何ですか。【3つまで選択可】

子どもたちのためのスポーツ環境づくりに必要だと思うことについては、「専門の指導者の確保」が64.7%で最も高く、次いで「参加しやすい雰囲気」(54.1%)、「活動場所までの移動手段の確保」(37.4%)となっています。

図表 43 子どもたちのためのスポーツ環境づくりに必要だと思うこと（全体／複数回答）



小学生アンケート調査結果

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、「第2期三豊市スポーツ推進計画」の策定にあたって、小学生のスポーツに関する活動の状況や意見を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

2 調査方法等

項目	内容
調査対象	三豊市内の小学校に通う小学生5・6年生
調査方法	小学校での配布・回収
調査時期	令和6年9月
配布数	1039
有効回収数	878
有効回収率	84.5%

II 調査結果

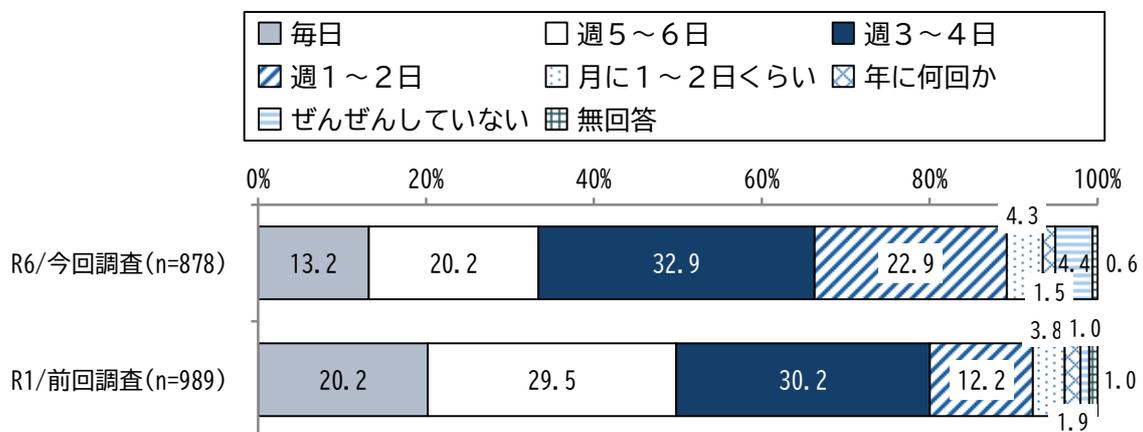
1 運動・スポーツの取組状況

問1 あなたは、この1年間に、運動・スポーツをどのくらいしていますか。【1つを選択】

運動・スポーツの頻度は、「週3～4日」が32.9%で最も高く、次いで「週1～2日」(22.9%)、「週5～6日」(20.2%)となっています。

前回調査と比較すると、「週1～2日」が10.7ポイント増加しています。また、「毎日」「週5～6日」は減少しており、運動・スポーツの頻度は減少傾向にあります。

図表1 運動・スポーツの頻度（全体、前回比較）



問1で「毎日」～「年に何回か」を選んだ方のみ

問2 どんな運動・スポーツをしていますか。【自由記述】

図表 2 行っている運動・スポーツ

スポーツ名	件数
陸上競技	296
サッカー	137
水泳	113
外遊び（鬼ごっこ、遊具など）	92
ランニング（ジョギング）	86
バドミントン	74
野球	66
ドッジボール	60
バレーボール	60
ダンス	51
バスケットボール	47
縄跳び	39
ウォーキング	26
剣道	24
ソフトボール	23
自転車（サイクリング）	19
新体操（体操）	18
テニス	16
卓球	16
空手	13
柔道	11
少林寺拳法	11
カヌー	9
ジャベリックボール	9
スケートボード	7
ソフトテニス	7

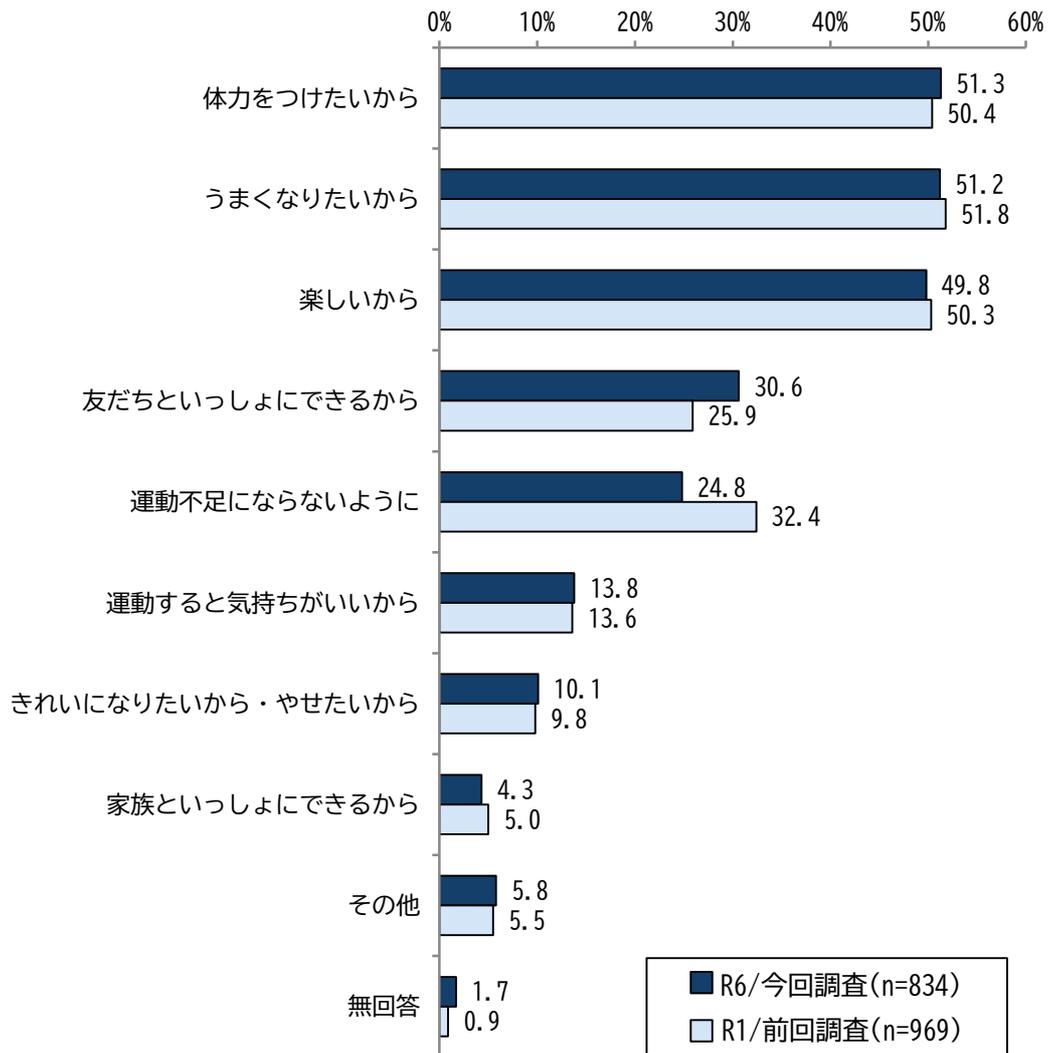
スポーツ名	件数
キャッチボール	6
鉄棒	6
トランポリン	4
ミニバスケットボール	4
筋力トレーニング	4
バレエ	3
フットサル	3
カンフー	2
ゴルフ	2
ブレイブボード	2
ボール投げ	2
ボルダリング	2
マット運動	2
リップスティック	2
太鼓	2
薙刀	2
サーキット運動	1
スキー	1
バランスボール	1
ハンドボール	1
ビリヤード	1
ボクシング	1
ラダー	1
レスリング	1
一輪車	1
車いすテニス	1
相撲	1
登山	1

問1で「毎日」～「年に何回か」を選んだ方のみ

問3 運動・スポーツをしている理由は何ですか。【3つまで選択可】

運動・スポーツをしている理由は、「体力をつけたいから」が51.3%で最も高くなっています。前回調査と比較すると、「運動不足にならないように」が7.6ポイント減少しています。

図表 3 運動・スポーツをしている理由（全体、前回比較／複数回答）



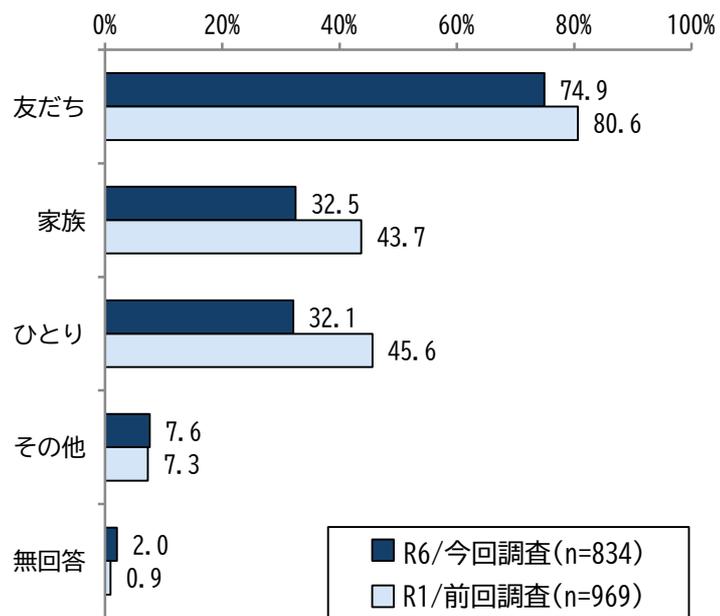
問1で「毎日」～「年に何回か」を選んだ方のみ

問4 主にだれと運動・スポーツをしていますか【あてはまるものすべてを選択】

主にだれと運動・スポーツをしているかは、「友だち」が74.9%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、いずれの割合も減少しており、特に「ひとり」「家族」は10ポイント以上減少しています。

図表 4 主にだれと運動・スポーツをしているか（全体、前回比較／複数回答）



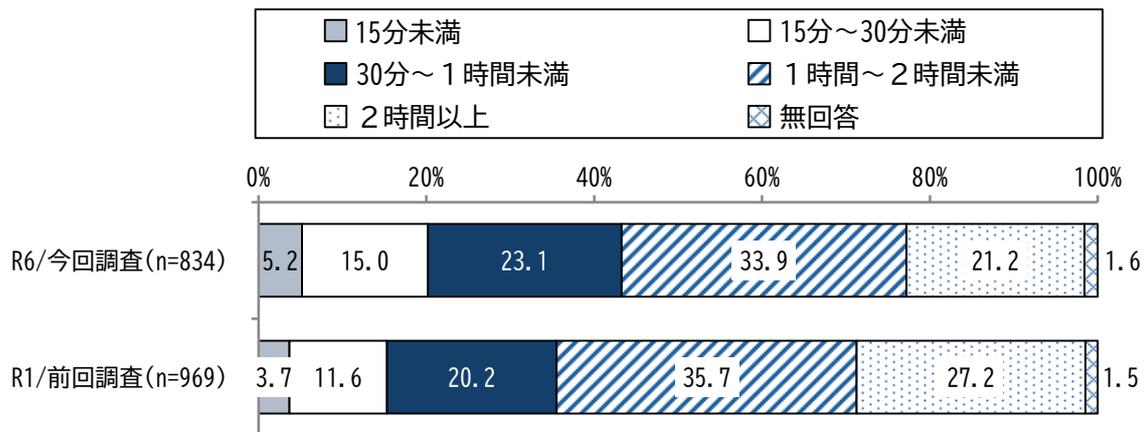
問1で「毎日」～「年に何回か」を選んだ方のみ

問5 1回あたりの運動・スポーツの実施時間は、平均でどのくらいですか。【1つを選択】

運動・スポーツの実施時間は、「1時間～2時間未満」が33.9%で最も高く、次いで「30分～1時間未満」(23.1%)、「2時間以上」(21.2%)となっています。

前回調査と比較すると、「1時間～2時間未満」「2時間以上」が減少している一方で、「15分未満」「15分～30分未満」「30分～1時間未満」が増加しており、運動・スポーツの実施時間は短くなっていると言えます。

図表 5 運動・スポーツの実施時間（全体、前回比較）



問1で「毎日」～「年に何回か」を選んだ方のみ

問6 一番熱心に取り組んでいる運動・スポーツを1つ書いてください。【自由記述】

一番熱心に取り組んでいる運動・スポーツは、「陸上競技」が最も多く、次いで「サッカー」、「水泳」などとなっています。

図表 6 一番熱心に取り組んでいる運動・スポーツ

スポーツ名	件数
陸上競技	170
サッカー	79
水泳	77
バドミントン	49
バレーボール	48
野球	46
ランニング (ジョギング)	41
ダンス	34
バスケットボール	33
ソフトボール	21
外遊び (鬼ごっこ、遊具など)	20
剣道	18
縄跳び	17
ドッジボール	11
卓球	10
ジャバリックボール	9
空手	9
自転車 (サイクリング)	8
カヌー	7
少林寺拳法	7
テニス	6
柔道	6
新体操 (体操)	6
ウォーキング	5
ソフトテニス	5
鉄棒	4
フットサル	3
ミニバスケットボール	3
スケートボード	3
トランポリン	2
バレエ	2
マット運動	2
ストレッチ	2
筋力トレーニング	2
キャッチボール	2
ゴルフ	1
サーキット運動	1
薙刀	1
一輪車	1
太鼓	1

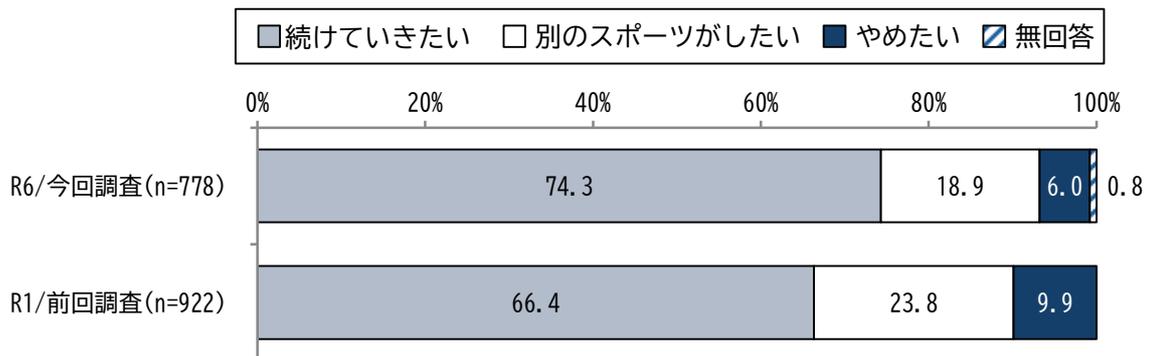
問6で運動・スポーツ名を記入した方のみ

問7 その運動・スポーツを中学生になっても続けていきたいですか。【1つを選択】

現在取り組んでいるスポーツの継続意向については、「続けていきたい」が74.3%で最も高く、次いで「別のスポーツがしたい」(18.9%)、「やめたい」(6.0%)となっています。

前回調査と比較すると、「続けていきたい」が7.9ポイント増加しています。

図表 7 現在取り組んでいるスポーツの継続意向（全体、前回比較）

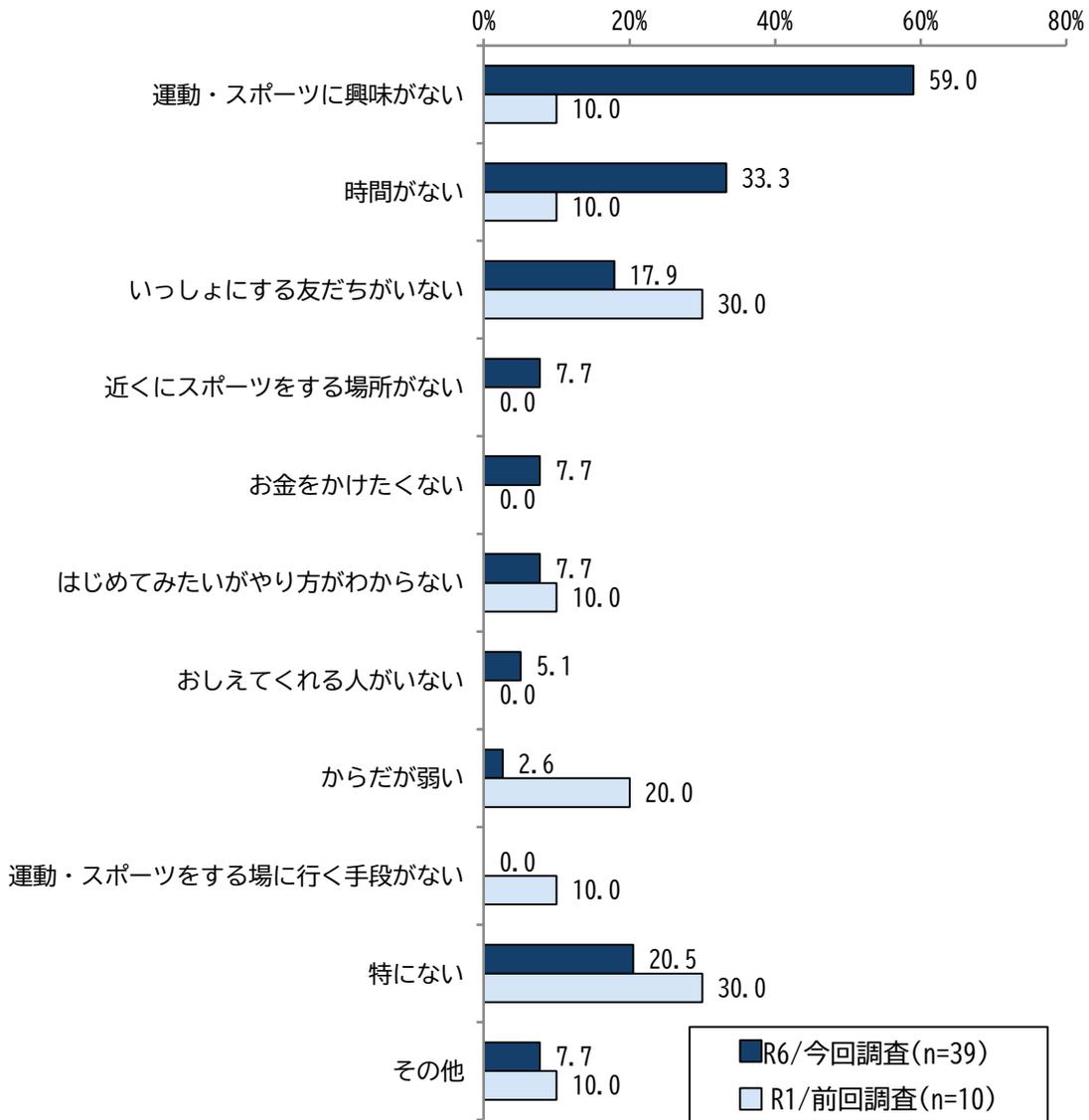


問1で「ぜんぜんしていない」を選んだ方のみ

問8 運動・スポーツをしていない理由は何ですか。【3つまで選択可】

運動・スポーツをしていない理由は、「運動・スポーツに興味がない」が59.0%で最も高くなっています。前回調査と比較すると、「運動・スポーツに興味がない」が49.0ポイント増加しています。

図表 8 運動・スポーツをしていない理由（全体、前回比較／複数回答）

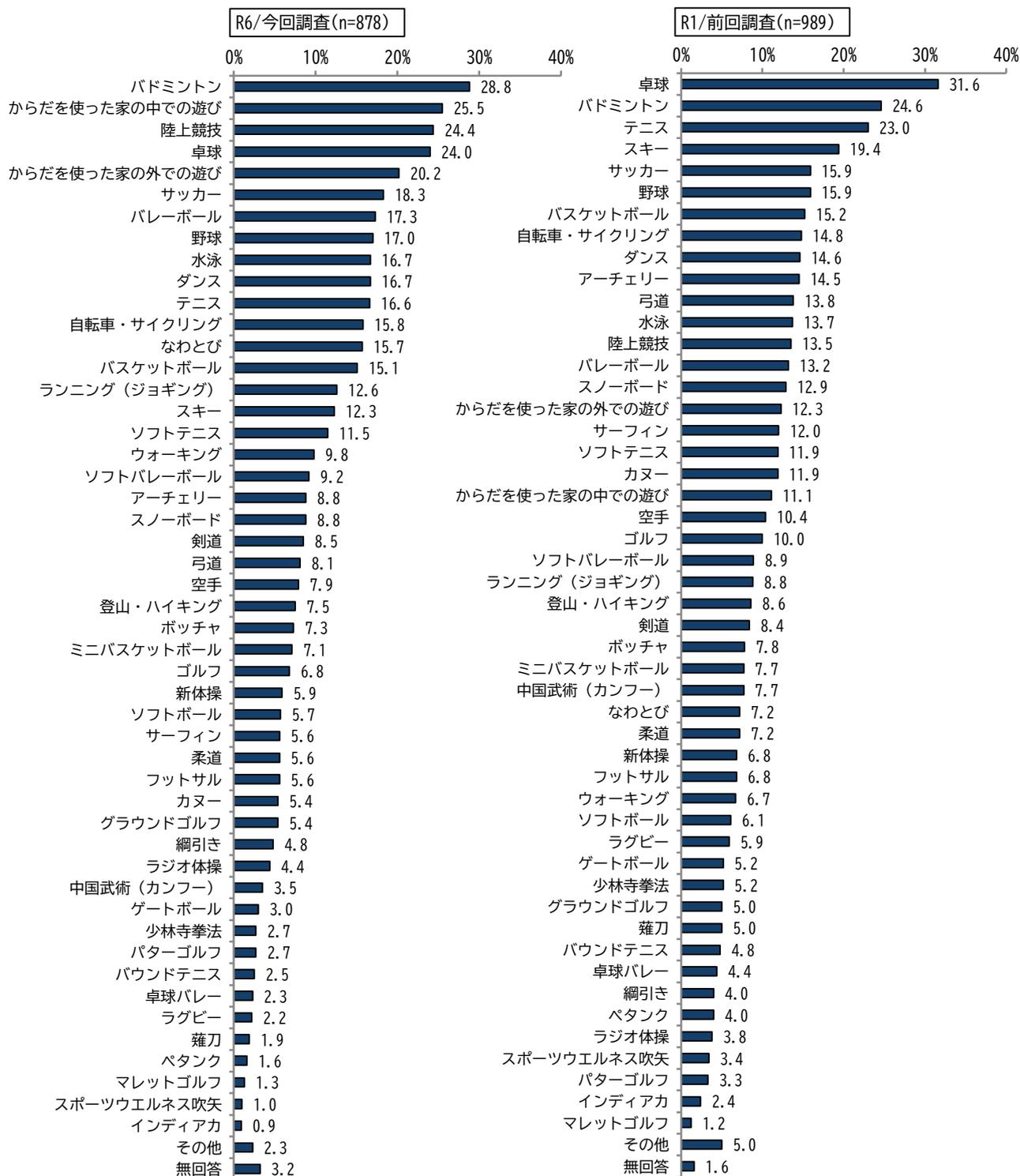


問9 今後、どのような運動・スポーツをしてみたいですか。【あてはまるものすべてを選択】

今後してみたい運動・スポーツは、「バドミントン」(28.8%)が最も高く、次いで「からだを使った家の中での遊び」(25.5%)、「陸上競技」(24.4%)となっています。

前回調査と比較すると、前回上位に挙がっている「卓球」「テニス」「スキー」などは減少し、「バドミントン」「からだを使った家の中での遊び」「陸上競技」「からだを使った家の外での遊び」などは増加しており、傾向に違いがみられます。

図表9 今後してみたい運動・スポーツ(全体、前回比較/複数回答)



2 地域密着型トップスポーツチームについて

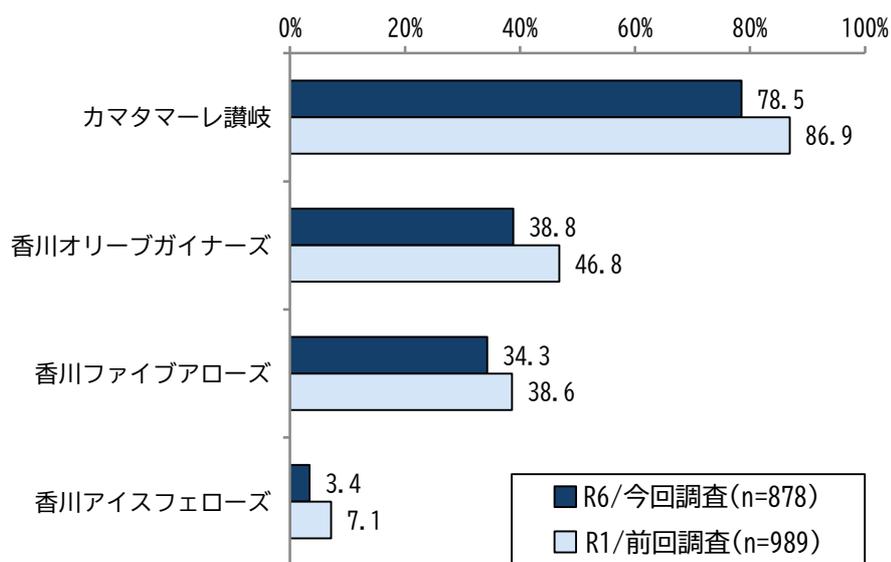
問10 4つのそれぞれのチームのうち、知っているチームをすべて選んでください。

【あてはまるものすべてを選択】

地域密着型スポーツチームの認知度は、「カマタマーレ讃岐」が78.5%で最も高く、その割合は突出しています。

前回調査と比較すると、順位に違いはみられませんが、それぞれの割合は減少しています。

図表 10 地域密着型スポーツチームの認知度（全体、前回比較／複数回答）



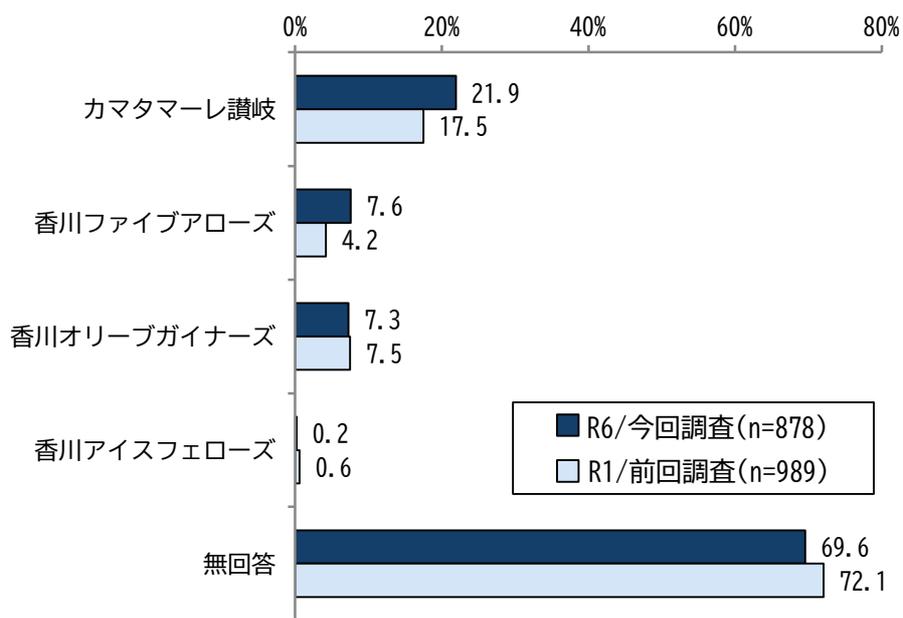
※前回調査での各チーム「知っている」の割合と比較

問11 地域のトップスポーツチームの試合を試合会場で観たことはありますか。観たことがあるチームをすべて選んでください。【あてはまるものすべてを選択】

地域密着型スポーツチームの試合観戦の状況については、「カマタマーレ讃岐」が21.9%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「カマタマーレ讃岐」が4.4ポイント増加しています。

図表 11 地域密着型スポーツチームの試合観戦の状況（全体、前回比較／複数回答）



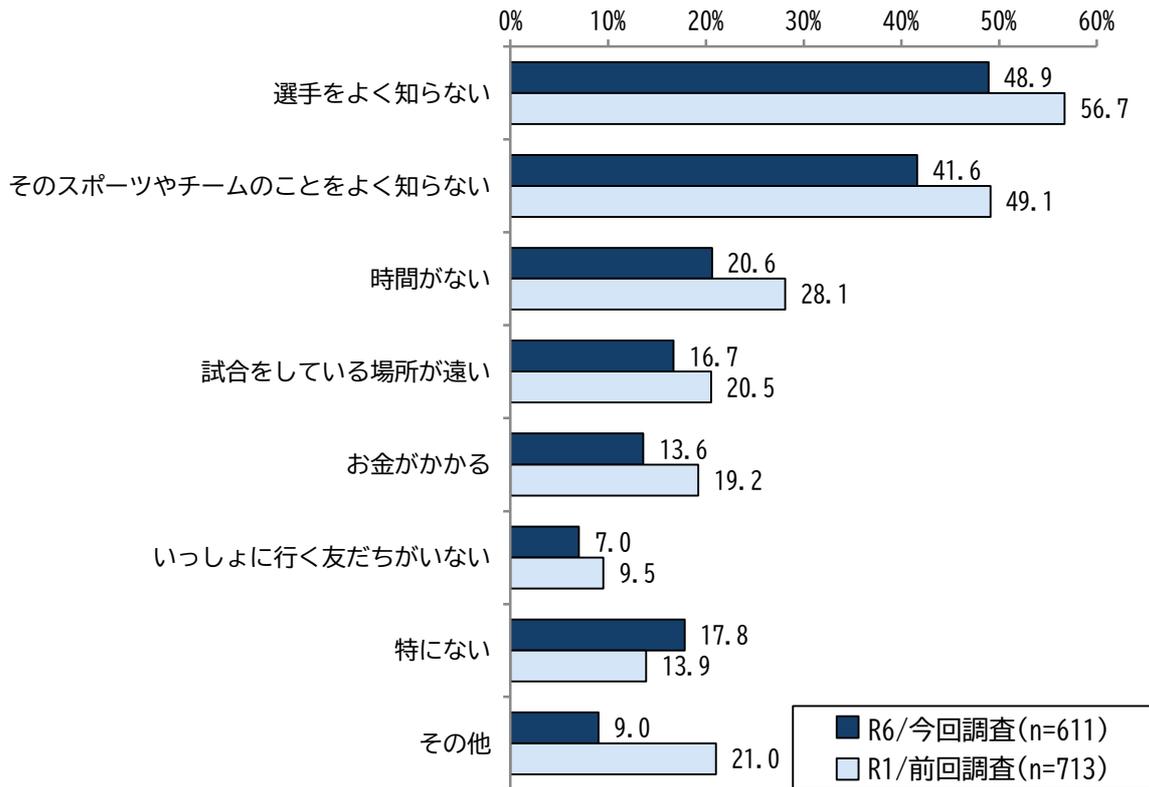
※前回調査での各チーム「直接観たことがある」の割合と比較

問11で1回も試合を観たことがない方のみ

問12 その理由は何ですか。【あてはまるものすべてを選択】

試合を観たことがない理由については、「選手をよく知らない」が48.9%で最も高くなっています。前回調査と比較すると、「選手をよく知らない」が7.8ポイント減少しています。

図表 12 試合を観たことがない理由（全体、前回比較／複数回答）

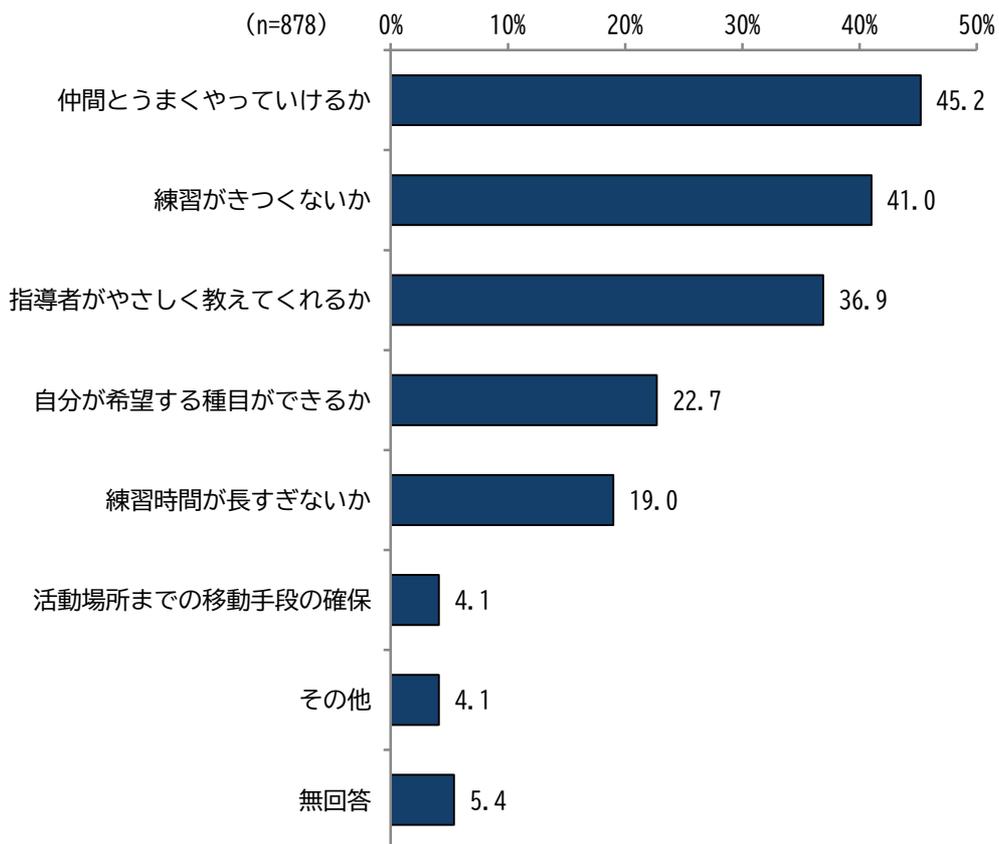


3 中学校進学後の部活動について

問13 中学校に進学してからの運動部や文化部での活動で不安に感じることは何ですか。【2つまで選択可】

中学校進学後の部活動で不安に感じることは、「仲間とうまくやっていけるか」が45.2%で最も高く、次いで「練習がきつくないか」(41.0%)、「指導者がやさしく教えてくれるか」(36.9%)となっています。

図表 13 進学後の部活動で不安に感じること (全体/複数回答)



中学生アンケート調査結果

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、「第2期三豊市スポーツ推進計画」の策定にあたって、中学生のスポーツに関する活動の状況や意見を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

2 調査方法等

項目	内容
調査対象	三豊市内の中学校に通う中学生3年生
調査方法	中学校での配布・回収
調査時期	令和6年9月
調査地域	市内全域
配布数	532
有効回収数	423
有効回収率	79.5%

II 調査結果

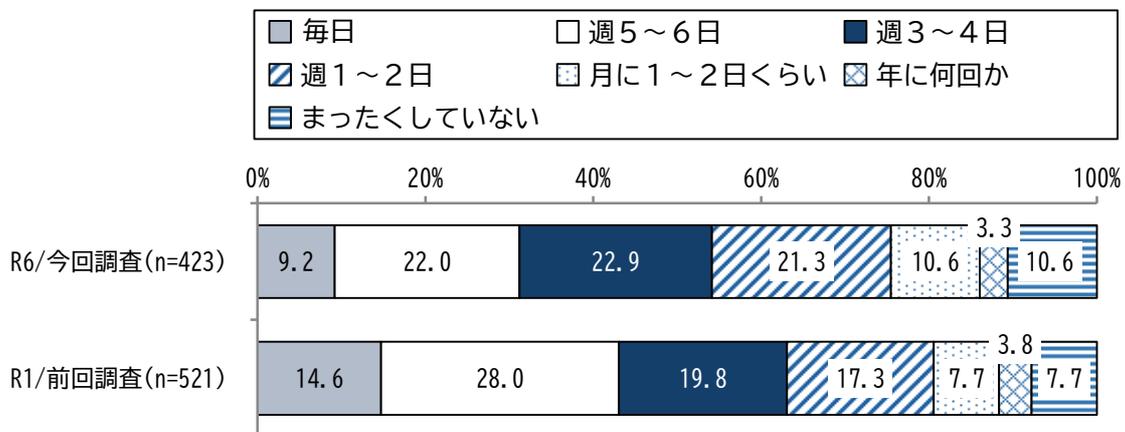
1 運動・スポーツの取組状況

問1 あなたは、この1年間に、運動・スポーツをどのくらいしていますか。【1つを選択】

運動・スポーツの頻度は、「週3～4日」が22.9%で最も高く、次いで「週5～6日」(22.0%)、「週1～2日」(21.3%)となっています。

前回調査と比較すると、「週5～6日」が6.0ポイント減少しています。また、「毎日」も減少し、「週3～4日」以下の割合は概ね増加していることから、運動・スポーツの頻度は減少傾向にあるといえます。

図表1 運動・スポーツの頻度（全体、前回比較）



問1で「毎日」～「年に何回か」を選んだ方のみ

問2 どんな運動・スポーツをしていますか。【自由記述】

行っている運動・スポーツは、「バドミントン」が54件で最も多く、次いで「バスケットボール」(50件)、「ランニング(ジョギング)」(47件)となっています。

図表 2 行っている運動・スポーツ

スポーツ名	件数
バドミントン	54
バスケットボール	50
ランニング(ジョギング)	47
野球	40
バレーボール	36
ウォーキング	34
筋力トレーニング	34
サッカー	29
卓球	27
陸上競技	24
ソフトテニス	16
自転車(サイクリング)	14
外遊び(鬼ごっこ、ペットと遊ぶなど)	12
ダンス	10
新体操(体操)	9
水泳	9
柔道	8
剣道	7
テニス	6
縄跳び	6
少林寺拳法	5
ドッジボール	4
キャッチボール	3
カヌー	2
スケートボード	2
ソフトバレーボール	2

スポーツ名	件数
トランポリン	2
フットサル	2
空手	2
室内遊び（リングフィットなどゲームによる運動）	2
ゴルフ	1
スノーボード	1
ソフトボール	1
パルクール	1
バレエ	1
フレスコボール	1
ボクシング	1
ミュージカル	1
ラグビー	1
相撲	1
登山	1

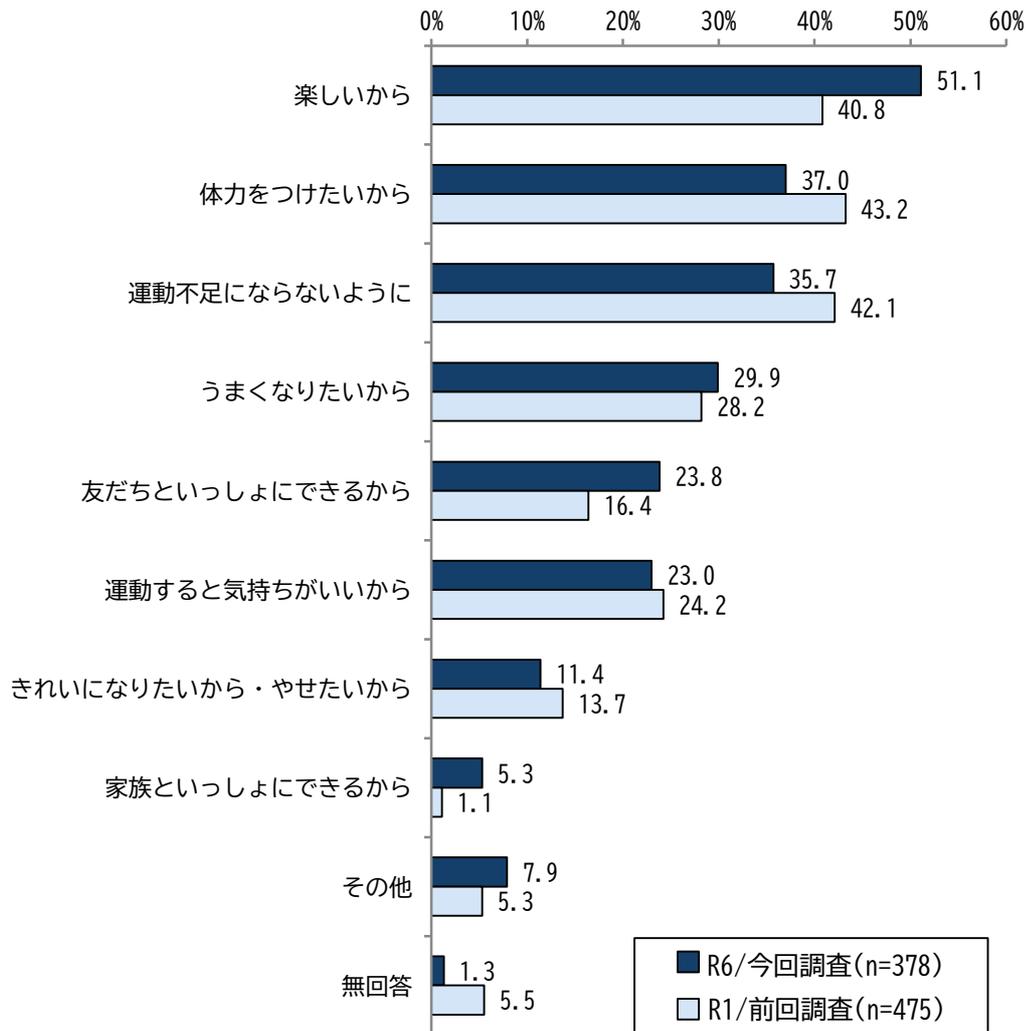
問1で「毎日」～「年に何回か」を選んだ方のみ

問3 運動・スポーツをしている理由は何ですか。【3つまで選択可】

運動・スポーツをしている理由は、「楽しいから」が51.1%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「楽しいから」が10.3ポイント増加しています。

図表 3 運動・スポーツをしている理由（全体、前回比較／複数回答）

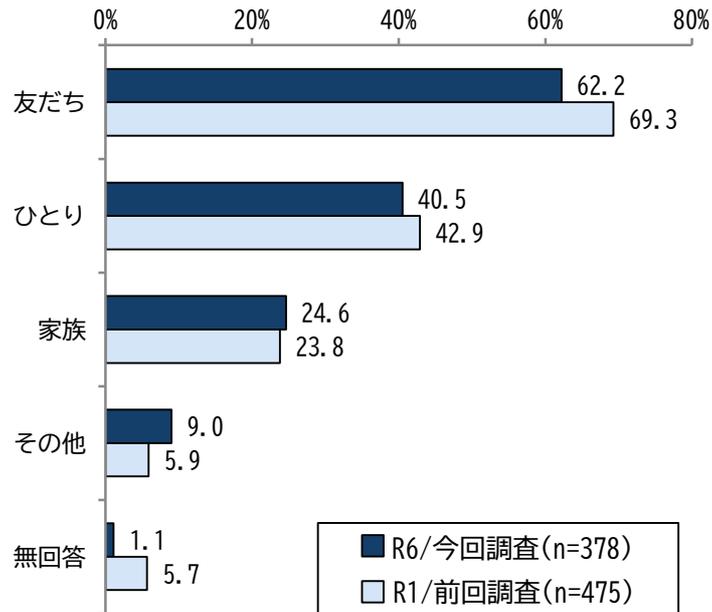


問1で「毎日」～「年に何回か」を選んだ方のみ

問4 主にだれと運動・スポーツをしていますか【あてはまるものすべてを選択】

主にだれと運動・スポーツをしているかは、「友だち」が62.2%で最も高くなっています。
前回調査と比較すると、「友だち」が7.1ポイント減少しています。

図表 4 主にだれと運動・スポーツをしているか（全体、前回比較／複数回答）



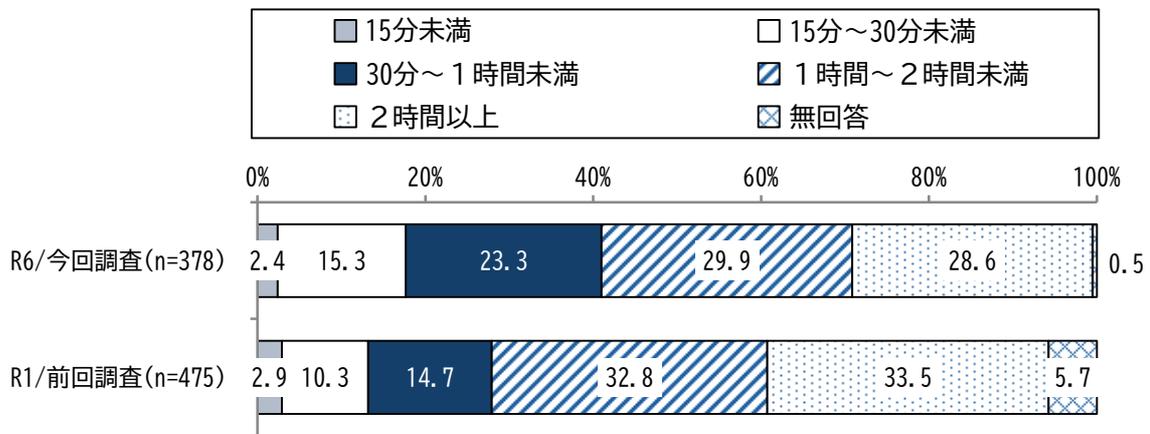
問1で「毎日」～「年に何回か」を選んだ方のみ

問5 1回あたりの運動・スポーツの実施時間は、平均でどのくらいですか。【1つを選択】

運動・スポーツの実施時間は、「1時間～2時間未満」が29.9%で最も高く、次いで「2時間以上」(28.6%)、「30分～1時間未満」(23.3%)、となっています。

前回調査と比較すると、「30分～1時間未満」が8.6ポイント増加しています。また、「15分～30分未満」も増加し、「1時間～2時間未満」「2時間以上」は減少していることから、運動・スポーツの実施時間は短くなっている傾向がみられます。

図表 5 運動・スポーツの実施時間（全体、前回比較）

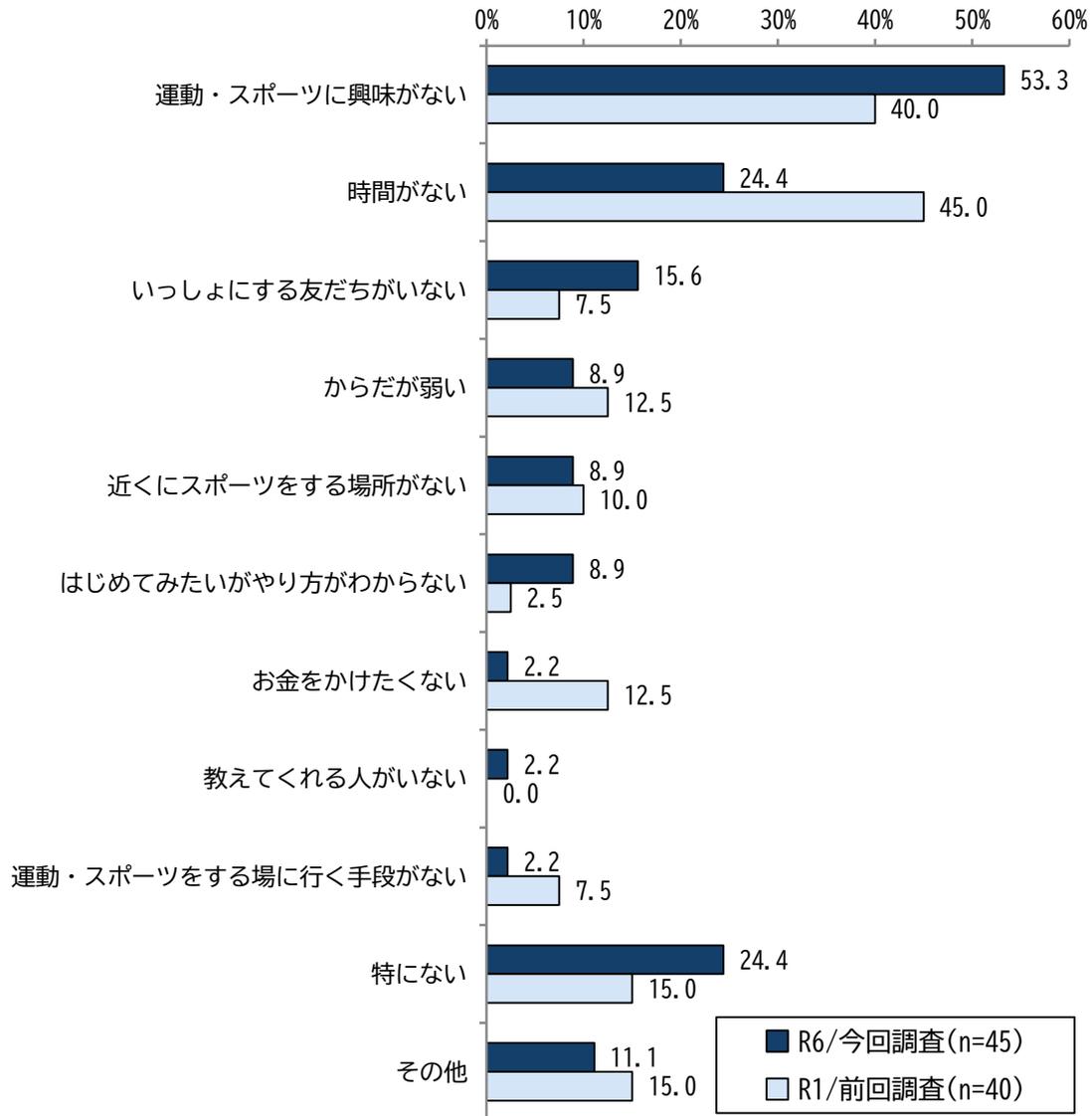


問1で「まったくしていない」を選んだ方のみ

問6 運動・スポーツをしていない理由は何ですか。【3つまで選択可】

運動・スポーツをしていない理由は、「運動・スポーツに興味がない」が53.3%で最も高くなっています。前回調査と比較すると、「時間がない」が20.6ポイント減少しており、最大の理由に変化がみられます。

図表 6 運動・スポーツをしていない理由（全体、前回比較／複数回答）

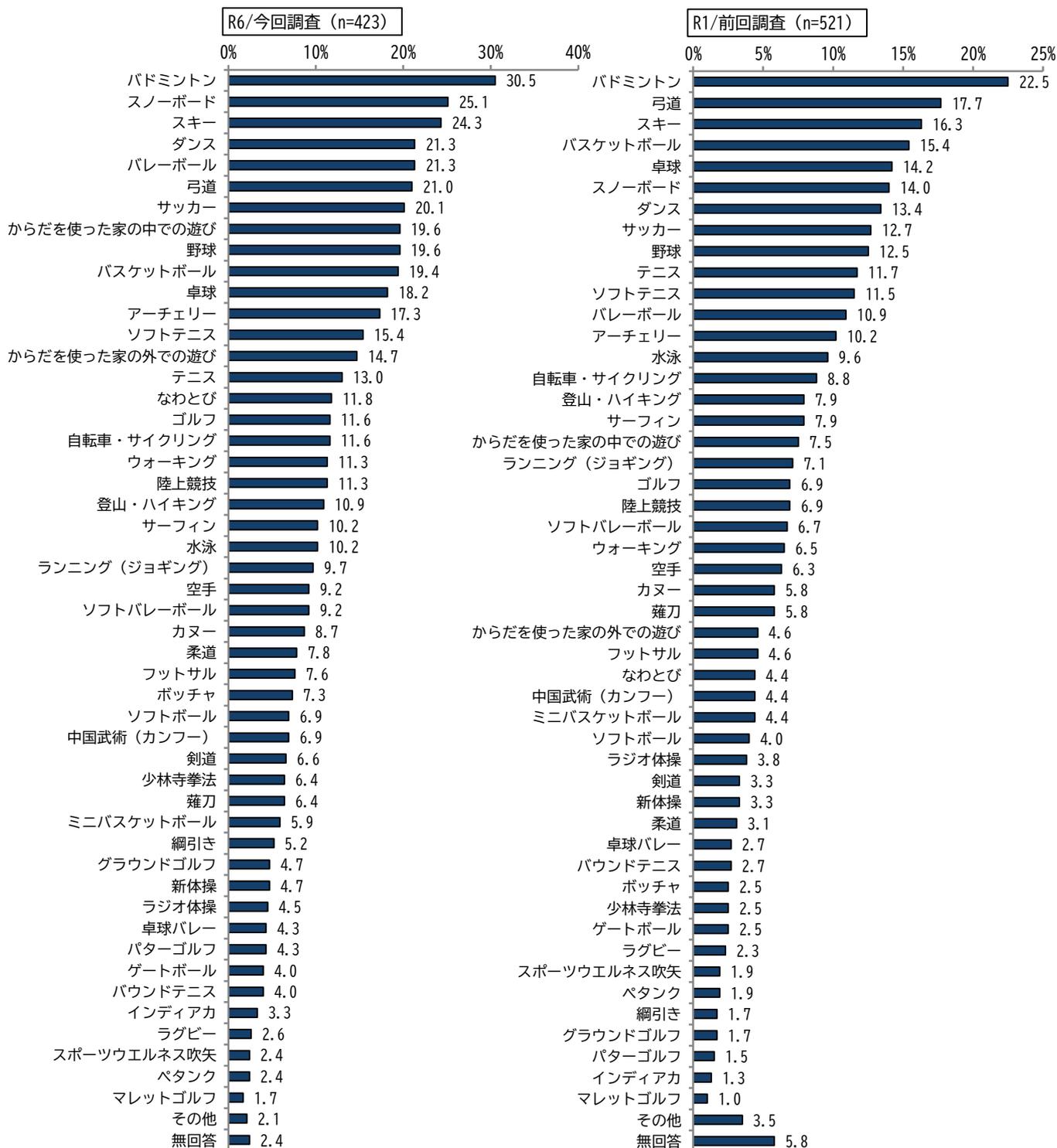


問7 今後、どのような運動・スポーツをしてみたいですか。【あてはまるものすべてを選択】

今後してみたい運動・スポーツは、「バドミントン」(30.5%)が最も高く、次いで「スノーボード」(25.1%)、「スキー」(24.3%)となっています。

前回調査と比較すると、前回も第1位だった「バドミントン」はさらに増加しています。また、前は第2位が「弓道」だったのに対し、今回は「スノーボード」が第2位となっており、また、「ダンス」「バレーボール」なども増加しており、してみたいスポーツに変化がみられます。

図表7 今後してみたい運動・スポーツ（全体、前回比較／複数回答）



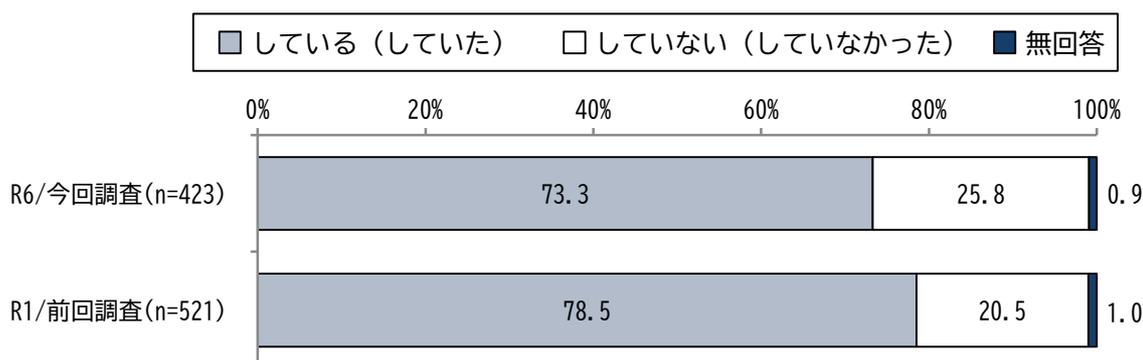
3 部活動の状況について

問8 あなたは、中学校の部活動として、運動部に入部していますか（していましたか）【1つを選択】

部活動として、運動部に入部しているかについては、「している（していた）」が73.3%。「していない（していなかった）」が25.8%となっています。

前回調査と比較すると、「していない（していなかった）」が5.3ポイント増加しています。

図表 8 運動部に入部しているか（全体、前回比較）



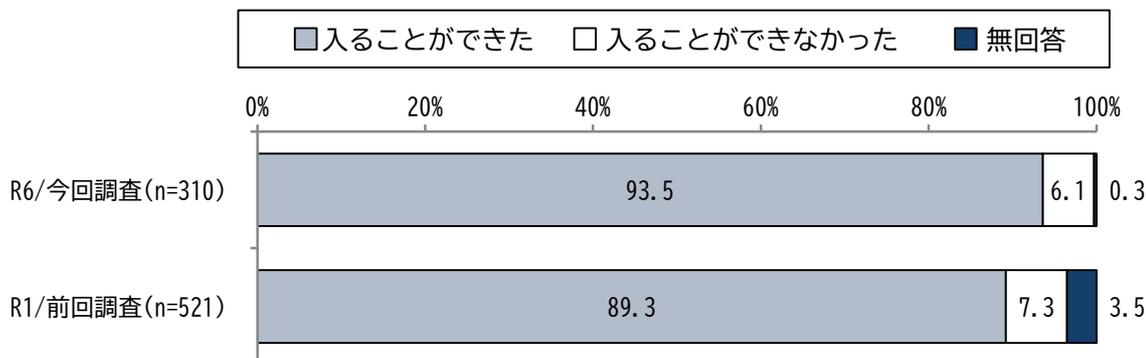
問8で「している（していた）」を選んだ方のみ

問9 自分が希望していた種目の部活動に入ることができましたか。【1つを選択】

希望した種目の部活動に入ることができたかについては、「入ることができた」が93.5%、「入ることができなかった」が6.1%となっています。

前回調査と比較すると、「入ることができた」が4.2ポイント増加しています。

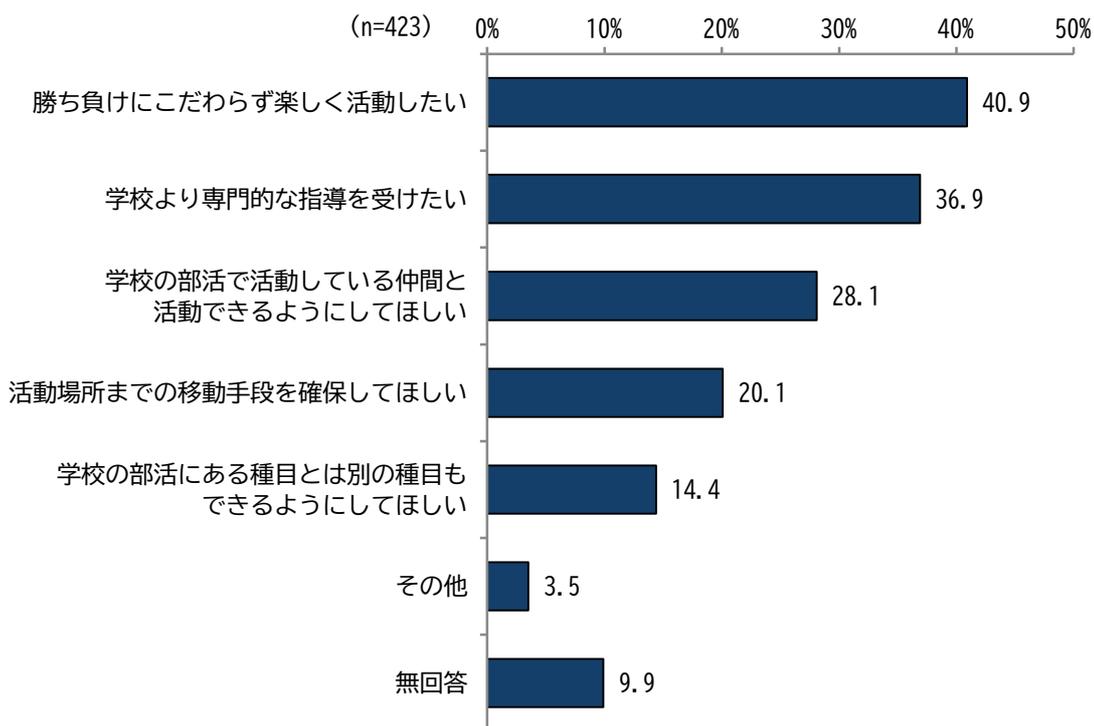
図表 9 希望した種目の部活動に入ることができたか（全体、前回比較）



問10 今後、中学校の部活動が地域クラブへ移行する計画がありますが、地域クラブについて望むことは何ですか。【2つまで選択可】

地域クラブについて望むことは、「勝ち負けにこだわらず楽しく活動したい」が40.9%で最も高く、次いで「学校より専門的な指導を受けたい」(36.9%)、「学校の部活で活動している仲間と活動できるようにしてほしい」(28.1%)となっています。

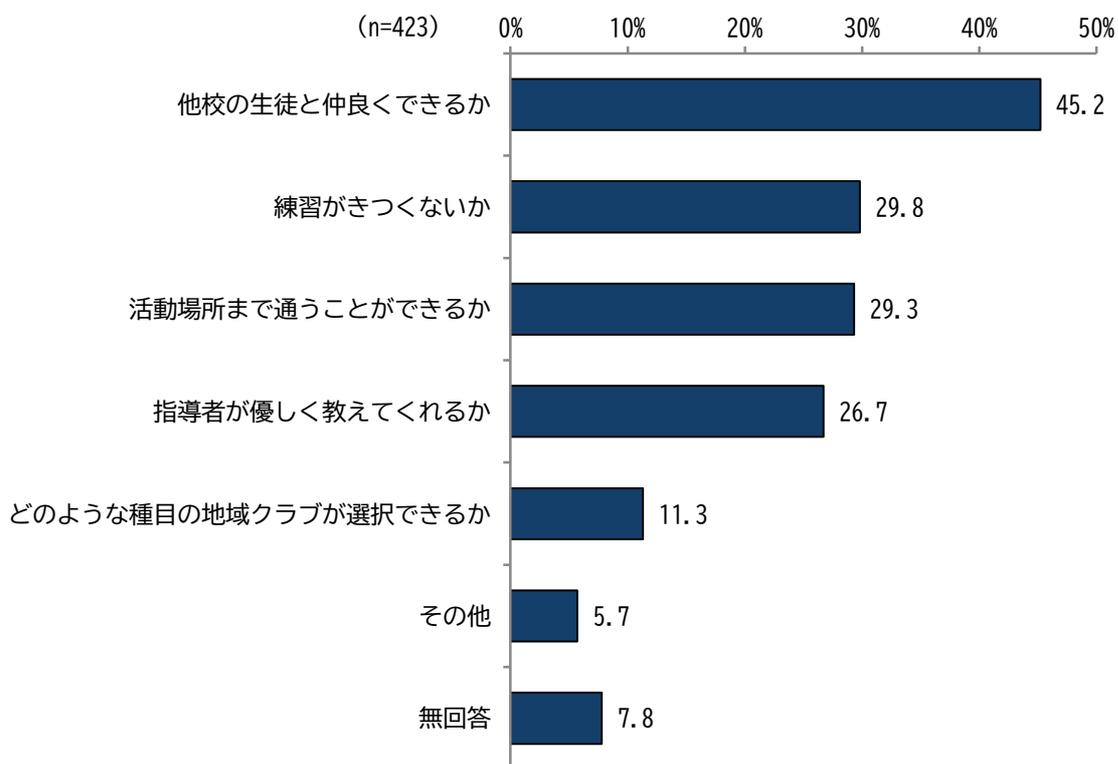
図表 10 地域クラブについて望むこと（全体／複数回答）



問 1 1 中学校部活動の地域クラブへの移行で、不安に感じることは何ですか。【2つまで選択可】

地域クラブへの移行で不安に感じることは、「他校の生徒と仲良くできるか」が 45.2%で最も高く、次いで「練習がきつくないか」(29.8%)、「活動場所まで通うことができるか」(29.3%)となっています。

図表 11 地域クラブへの移行で不安に感じること（全体／複数回答）



4 地域密着型トップスポーツチームについて

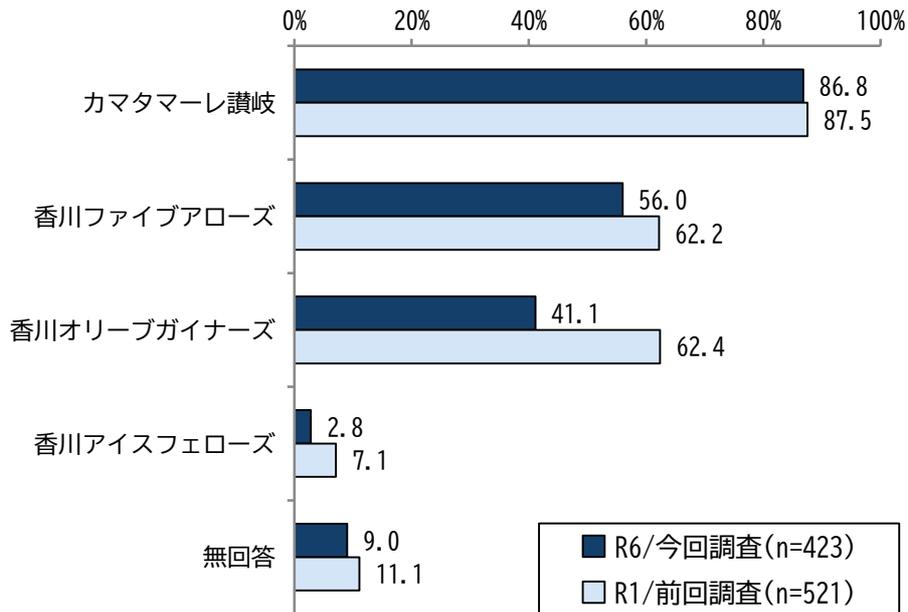
問12 4つのそれぞれのチームのうち、知っているチームをすべて選んでください。

【あてはまるものすべてを選択】

地域密着型スポーツチームの認知度は、「カマタマーレ讃岐」が86.8%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、順位に違いはみられませんが、それぞれの割合は減少しており、特に「香川オリーブガイナース」は20ポイント以上減少しています。

図表 12 地域密着型スポーツチームの認知度（全体、前回比較／複数回答）



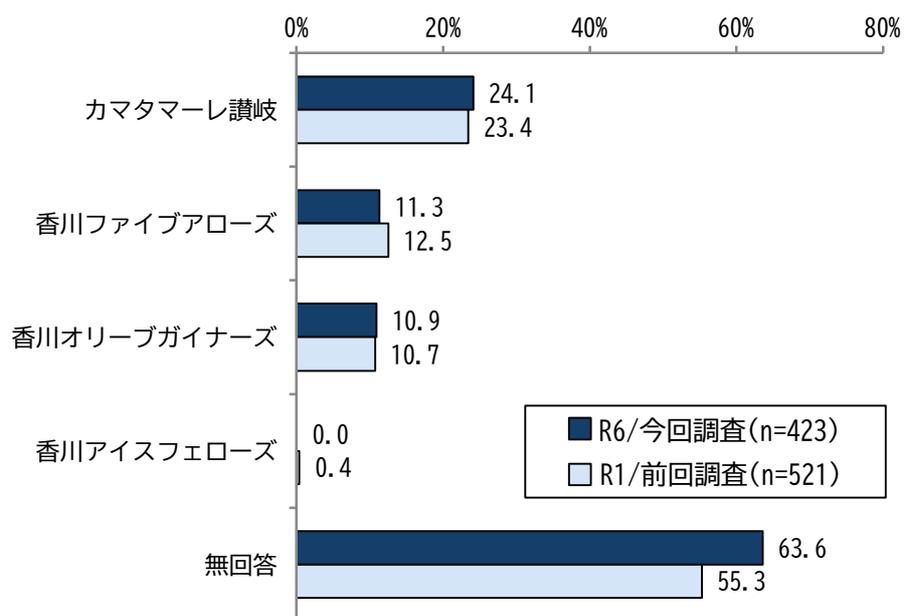
※前回調査での各チーム「知っている」の割合と比較

問13 地域のトップスポーツチームの試合を試合会場で観たことはありますか。観たことがあるチームをすべて選んでください。【あてはまるものすべてを選択】

地域密着型スポーツチームの試合観戦の状況については、「カマタマーレ讃岐」が24.1%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「香川ファイブアローズ」が1.2ポイント減少しています。

図表 13 地域密着型スポーツチームの試合観戦の状況（全体、前回比較／複数回答）



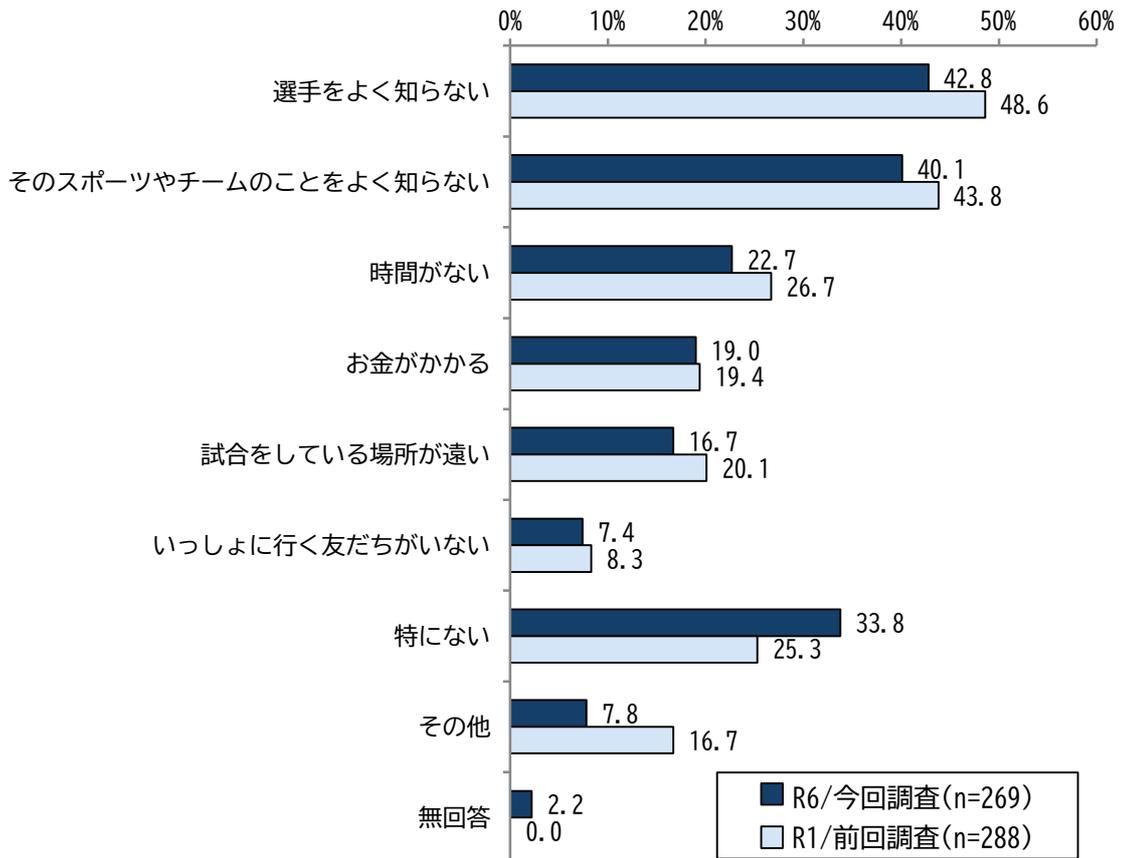
※前回調査での各チーム「直接観たことがある」の割合と比較

問13で1回も試合を観たことがない方のみ

問14 その理由は何ですか。【あてはまるものすべてを選択】

試合を観たことがない理由については、「選手をよく知らない」が42.8%で最も高くなっています。前回調査と比較すると、「特にない」が8.5ポイント増加しており、それ以外の理由は減少しています。

図表 14 試合を観たことがない理由（全体、前回比較／複数回答）



【三豊市スポーツ施設一覧】

No.	施設名	所在地	付帯施設
1	緑ヶ丘総合運動公園 (総合体育館・緑ヶ丘サッカー場)	高瀬町上高瀬 751-24 他	体育館
			トレーニングルーム、スタジオ
			サッカー場
2	高瀬町体育館	高瀬町下勝間 2687-1	体育館
3	高瀬 B&G 海洋センター	高瀬町比地中 2986-2	体育館
			トレーニングルーム
			プール(25m6コース)
			テニスコート(クレーコート3面)
			艇庫(カヌー等)
4	山本ふれあい公園	山本町財田西 154	多目的広場(野球他)
			テニスコート(人工芝コート4面)
			ゲートボールコート(屋内・屋外各1面)
5	山本町水辺・河川敷運動公園	山本町大野 2733-4 他	ソフトボール場(4面)
			サッカー場
6	宝山湖公園	山本町神田乙 500-1	サッカー場(4面)
7	三野町体育センター	三野町下高瀬 752-2	体育館
8	豊中サン・スポーツランド	豊中町笠田笠岡 3917-1	野球場
			テニスコート(人工芝コート4面)
9	豊中町体育館	豊中町本山甲 148-1	体育館
			武道場
10	豊中トレーニングセンター	豊中町本山甲 240	トレーニングルーム
11	詫間町市民運動場	詫間町詫間 6811	野球場
		詫間町詫間 6812-1	テニスコート(クレーコート2面)
12	詫間町水出運動公園	詫間町松崎 2824-1	グラウンド
13	詫間町体育センター	詫間町詫間 3560-36	体育館

No.	施設名	所在地	付帯施設
14	武道館	詫間町詫間 3560-39	
15	弓道場	詫間町詫間 6811	近的（10人立）、遠的（6人立）
16	たくまシーマックス	詫間町詫間 1338-165	プール（海水25m8コース）
			スタジオ（エアロビクス・ダンス系）
			トレーニングルーム
			お風呂（ジェット風呂・電気風呂・サウナ等）
17	仁尾町体育センター	仁尾町仁尾辛 34-1	体育館
18	財田町総合運動公園	財田町財田上 2361-1	多目的広場
			テニスコート（人工芝コート4面）
19	財田 B&G 海洋センター	財田町財田上 2361-1	体育館
			トレーニングルーム
			プール（25m6コース）

都市公園

No.	施設名	所在地	付帯施設
20	財田川リバーサイドパーク	豊中町本山 字新田他	多目的広場・芝生広場・ゲートボールコート（2面）
21	仁尾公園	仁尾町仁尾 字浜辛 44-1	野球場
			テニスコート（人工芝コート4面）

市立学校体育施設

No.	施設名	所在地	付帯施設
22	小学校、中学校	高瀬町上高瀬 783-2 他	体育館、運動場、武道館

【三豊市スポーツ推進条例】

令和5年3月28日

条例第2号

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、公正さ及び規律を尊ぶ精神、克己心の涵養等のために行われる身体活動であり、人々の夢と誇りを育む文化である。

また、スポーツは、世代、障がいの有無等のあらゆる垣根を超えた交流を生み出し、地域の活力を向上させ、一体感を醸成するものである。

これらのスポーツが生み出す恩恵を享受することは、全ての人々の権利であり、市民がスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことができるようスポーツを振興することは、市の責務である。

こうした認識の下、スポーツを通して人と人とがつながり、豊かさを実感できる三豊市(以下「市」という。)の実現のため、この条例を制定する。

(目的)

第1条 この条例は、スポーツの推進に関する基本理念を定め、市の責務、市民の役割、スポーツ団体の役割等を明確にするとともに、スポーツの振興に関する施策の基本事項を定めることにより、スポーツの推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施し、全ての市民の心身の健康及びスポーツを通じたコミュニティの活性化を目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) スポーツ 勝敗又は記録を競う運動だけでなく、趣味又は健康を目的とする運動、野外活動、レクリエーションなどの心身の健康を意識して体を動かす活動をいう。
- (2) 市民 市の区域内に居住する者のほか、市の区域内に存する事業所等に勤務する者及び市の区域内に存する学校に通学する者をいう。
- (3) スポーツ団体 市の区域内において、スポーツ又はその振興に関する活動を行うことを主目的とする法人その他団体をいう。
- (4) 事業者 市の区域内において、事業活動を行う全てのもの(スポーツ団体を除く。)をいう。
- (5) スポーツ活動 スポーツの実施、指導、観戦、スポーツイベントの運営など、スポーツを「する」「みる」「ささえる」活動等をいう。

(基本理念)

第3条 スポーツを通して幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人の権利であることに鑑み、スポーツの推進は、次に掲げる事項を基本理念として行わなければならない。

- (1) スポーツは、全ての市民が生涯にわたって自主的かつ自律的に、その適性、年齢、健康状態及び目的に応じてスポーツに親しむことができるよう推進されなければならない。
- (2) スポーツは、成長の過程にある子どもの体力及び運動能力を向上させるだけでなく、その人格形成や豊かな人間性を育む基礎となるため、市、学校、スポーツ団体、事業者、

家庭及び地域の相互の連携を図りながら推進されなければならない。

(3) スポーツは、世代・地域を越えた交流を生み、コミュニティの活性化を促進するものとなるよう、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことができる環境づくり及びスポーツ参画人口の拡大を図りながら推進されなければならない。

(4) スポーツは、障がい者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障がいの種類、程度及び特性に応じ必要な配慮をしつつ推進されなければならない。

(市の責務)

第4条 市は、前条に規定する基本理念にのっとり、国、県、市民、スポーツ団体、事業者その他関係団体と連携を図りつつ、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に実施する責務を有する。

(市民の役割)

第5条 市民は、自主的かつ主体的にスポーツ活動に取り組み、自らの健康及び体力の保持増進に努めるものとする。

2 市民は、スポーツがコミュニティにおいて果たす役割について理解を深めるとともに、自らがスポーツ活動の担い手であることを認識し、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで、スポーツ活動への積極的な参画に努めるものとする。

(スポーツ団体の役割)

第6条 スポーツ団体は、第3条に規定する基本理念にのっとり、市民がスポーツに親しみ、技能を向上させる機会の提供など、市民のスポーツに対する関心と理解を深め、市民のスポーツ参加の推進に努めるものとする。

2 スポーツ団体は、自主的なスポーツ活動を通して、市民のスポーツに関する権利利益の保護、心身の健康の保持増進及びスポーツに関する施策への協力に努めるものとする。

(事業者の役割)

第7条 事業者は、自らがスポーツ活動を行いやすい環境の整備に努めるとともに、地域の一員としてスポーツ振興及びスポーツに関する施策への協力に努めるものとする。

(推進計画)

第8条 教育委員会は、第3条に規定する基本理念の実現に向け、スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第10条第1項の規定に基づき、スポーツ施策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画を定めるものとする。

2 教育委員会は、前項の計画の策定に当たっては、市民の意見を反映できるよう必要な措置を講ずるものとする。

(生涯スポーツの推進)

第9条 市は、子どもから高齢者まで全ての市民が生涯にわたって、適性、年齢、健康状態及び目的に応じたスポーツに継続的に親しみ、心身の健康の保持増進及び健康寿命の延伸を実現できるよう、機会の提供、環境の整備その他必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

(子どもの体力向上及びスポーツ活動の充実)

第10条 市は、次代を担う子どもの心身の健全な発達及び体力の向上を図るため、学校体育の充実をはじめ、スポーツ教室の実施その他必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

2 市は、子どもが生涯にわたりスポーツに親しみ、充実したスポーツ活動を行えるよう、知識及び技能の習得に対する支援、環境の整備その他必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

(障がい者スポーツの推進)

第11条 市は、障がい者が積極的にスポーツ活動に参加することができるよう、その障がいの種類、程度及び特性に応じたスポーツ活動の機会の提供、スポーツ活動に携わる人材の育成その他必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

(地域の活性化)

第12条 市は、地域におけるあらゆる世代の市民の交流が促進され、地域の活性化及び連帯感の醸成を図るため、地域スポーツ活動への支援その他必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

2 市は、各種スポーツ大会又は競技会の誘致、スポーツイベント又はプロスポーツの開催など、スポーツを通してあらゆる地域資源及び観光資源を最大限活用した地域の活性化に努めるものとする。

(スポーツ選手の育成)

第13条 市は、スポーツ選手の競技力の向上及び優秀な選手の育成・確保を図るため、事業者、スポーツ団体等と連携して、専門的かつ計画的な選手の育成に必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

(指導者の確保及び養成)

第14条 市は、スポーツの指導者その他スポーツの推進に寄与する人材の養成及び活用のため、事業者、スポーツ団体等と連携して、講習会及び人材確保のための施策その他必要な施策を講ずるものとする。

(スポーツ施設の整備)

第15条 市は、市民がスポーツに親しむことができる場の充実を図るため、スポーツ施設の整備、維持管理、バリアフリー化、利用促進その他必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

2 市は、スポーツ活動の場の充実を図るため、学校その他の施設をその目的に支障のない限りにおいて使用することができるよう必要な施策を講ずるものとする。

(顕彰)

第16条 市は、スポーツの競技会において特に優秀な成績を収めた者その他スポーツの推進に特に功績があったと認められる者の顕彰を行うものとする。

附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

【三豊市スポーツ推進審議会条例】

平成 23 年 12 月 28 日

条例第 35 号

三豊市スポーツ振興審議会条例（平成 18 年三豊市条例第 226 号）の全部を改正する。

（設置）

第 1 条 スポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号。以下「法」という。）第 31 条の規定に基づき、三豊市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（所掌事務）

第 2 条 審議会は、三豊市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に依りて、スポーツの推進に関する次の事項について調査審議し、及びこれらの事項に関し教育委員会に建議する。

- （1） 法第 10 条第 1 項に規定する地方スポーツ推進計画に関すること。
- （2） 法第 35 条の規定により補助金の交付について意見を述べること。
- （3） スポーツの施設及び設備の整備に関すること。
- （4） スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
- （5） スポーツ事業の実施及び奨励に関すること。
- （6） スポーツ団体の育成に関すること。
- （7） スポーツによる事故の防止に関すること。
- （8） 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

（組織）

第 3 条 審議会は、10 人以内の委員をもって組織する。

2 審議会の委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

- （1） 学識経験を有する者
- （2） 関係行政機関の職員
- （3） スポーツ団体の代表者
- （4） 公募に応じた市民

3 委員は、非常勤とする。

（委員の任期）

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再委嘱することができる。

（会長及び副会長）

第 5 条 審議会に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、審議会を代表し、議事その他の会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第 6 条 審議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

（議事）

第7条 審議会は、会長が招集する。ただし、半数以上の委員から請求があるときは、会長は審議会を招集しなければならない。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開き、及び議決することができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(報酬及び費用弁償)

第8条 審議会の委員の報酬及び費用弁償は、三豊市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(平成18年三豊市条例第55号)の規定による。

(庶務)

第9条 審議会の庶務は、教育委員会事務局生涯学習課教育委員会事務局スポーツ振興課において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営その他必要な事項は、審議会が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に改正前の三豊市スポーツ振興審議会条例(以下「改正前の条例」という。)第3条第2項の規定により任命された三豊市スポーツ振興審議会(以下「旧審議会」という。)の委員である者は、この条例の施行の日に、第3条第2項の規定により、審議会の委員として委嘱されたものとみなす。この場合において、その委嘱されたものとみなされる者の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、同日における旧審議会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

3 この条例の施行の際現に改正前の条例第5条第1項の規定により選任された会長又は副会長である者は、それぞれ、この条例の施行の日に、第5条第1項の規定により審議会の会長又は副会長として選任されたものとみなす。

(三豊市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

4 三豊市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

(三豊市武道館条例の一部改正)

5 三豊市武道館条例(平成18年三豊市条例第237号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則(平成31年条例第5号)

この条例は、平成31年4月1日から施行する。

【三豊市スポーツ推進審議会 委員名簿】

No.	所属団体等	役職等	氏名	備考
1	四国学院大学	副学長	漆原 光徳	学識経験を有する者
2	三豊市小中学校校長会	会長	久保田 員生	関係行政機関の職員
3	三豊市幼稚園長会	会長	松岡 瑞穂	関係行政機関の職員
4	三豊市保育所長会	会長	藤田 佐枝	関係行政機関の職員
5	香川県障害者スポーツ協会	事務局次長	中西 勝利	スポーツ団体の代表者
6	三豊市スポーツ協会	会長	渡邊 究	スポーツ団体の代表者
7	三豊市スポーツ推進委員会	委員長	佐藤 節子	スポーツ団体の代表者
8	三豊市スポーツ少年団	本部長	近藤 武	スポーツ団体の代表者
9	三豊市文化・スポーツ振興事業団	事務局長	正田 尚記	スポーツ団体の代表者

【第2期三豊市スポーツ推進計画の策定経過】

年月日	会議名等	概要
令和6年 8月8日	第1回三豊市スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期計画の総括について ・第2期計画策定までのスケジュールについて ・「運動・スポーツに関する市民意識調査」アンケートの内容について
令和6年9月	運動・スポーツに関する市民意識調査の実施	<p>【調査票配布数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16歳以上の市民（1,989名） ・市内小学5・6年生（1,039名） ・市内中学3年生（532名）
令和6年 11月27日	第2回三豊市スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートの集計・分析結果について ・第2期三豊市スポーツ推進計画（案）について ・パブリックコメントについて
令和6年 12月23日～ 令和7年 1月27日	パブリックコメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「第2期三豊市スポーツ推進計画（案）」に対する意見募集（広報紙、市ホームページ、市公式LINEによる周知）
令和7年 2月18日	パブリックコメントの結果公表	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページへの掲載
	第3回三豊市スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの結果について ・「第2期三豊市スポーツ推進計画（案）」について ・教育委員会へ答申



**三豊市教育委員会スポーツ振興課
〒767-8585**

三豊市高瀬町下勝間2373番地1

Tel 0875-73-3138

Fax 0875-73-3140

E-mail sports@city.mitoyo.lg.jp
